SAMSUNG

ユーザー マニュアル

QBC (QB13C QB24C QB43C QB50C QB55C QB65C QB75C QB85C)
QBC-T (QB13C-T QB24C-T)
QHC (QH43C QH50C QH55C QH65C QH75C QH98C)
QMC (QM32C QM43C QM50C QM55C QM65C QM75C QM85C QM98C)
SHC (SH37C)

色と外観は製品によって異なる場合があり、本マニュアルの内容は性能の向上のために予告なく変更されることがあります。

QBC、QBC-T モデルの一日あたりの推奨使用時間は 16 時間未満です。

本製品の 1 日 の使用時間が 16 時間を超える場合、保証の対象外となることがあります。

© Samsung
このマニュアルの著作権は、Samsung が保有しています。このマニュアルの一部または全部について、Samsung の許可なく使用または複製することはできません。Samsung 以外の商標は、各所有者に帰属するものとします。

目次

ご使用になる前に

安全のために 5
安全に関する記号 5
電気に関する注意事項 6
設置の際の注意事項 7
ご使用の際の注意事項 9
パネル取扱時の注意事項 11
お手入れに関する注意事項 12

保管とメンテナンス 13

準備

内容物の確認 14

スタンド バーの使用（対応モデル：QB13C / QB13C-T） 15

各部 16
盗難防止用ロック 20

ポート 21

コントロール メニュー 29

管理者メニュー（対応モデル：QB13C-T / QB24C-T） 30

リモコン 31
IR ステレオ ケーブル（別売り）を使用した接続 33

製品の設置前に（設置ガイド） 34
傾斜角度と回転 34
換気 34

ウォール マウントを設置する 35
ウォール マウントを設置する前の準備 35
ウォール マウントを設置する 35
ウォール マウント キットの仕様（VESA） 36

タッチスクリーン モニターの使用（対応モデル: QB13C-T / QB24C-T）

タッチスクリーン モニター 37
製品を使用する前に以下をお読みください 37
要件 38

タッチスクリーン モニターの接続 39
PC との接続 39
ラップトップまたはタブレット PC との接続 40

タッチスクリーン モニターの設定 40
調整 41

画面の制御 43
タッチスクリーンでのジェスチャー入力 43
注記 44

入力信号デバイスの接続と使用

接続の前に 45
接続前のチェックポイント 45

PC との接続 45
HDMI ケーブルを使用した接続 45
HDMI-DVI ケーブルを使用した接続 46

ビデオ機器との接続 46
HDMI ケーブルを使用した接続 47
HDMI-DVI ケーブルを使用した接続 47

目次

音声システムおよびビデオ デバイスへの HDMI 接続 **48**

オーディオ システムに接続する **48**

LAN ケーブルの接続 **48**

入力ソースを変更する **49**
入力ソース 49

複数のディスプレイの制御

ケーブル接続 **50**
RS232C ケーブル 50
LAN ケーブル 51
接続 53
制御コード 54

MDC の使用 **61**
MDC プログラムのインストール / アンインストール 61

ホーム画面

お気に入り **62**

機能 **63**
MagicInfo 64
Schedule 71
Web browser 72
Custom Home 75
Screen Mirroring 76
Workspace 77
SMARTVIEW+ 78
APPS 79

設定 **80**
ネットワーク 80
クローン製品 81
ID 設定 82
画像分割 83
オン/オフタイマー 85
ティッカー 87

メニュー

映像 **88**

オンスクリーン表示 **92**

サウンド **94**

ネットワーク **96**
ネットワーク設定（有線） 97
ネットワーク設定（ワイヤレス） 99
WPS を使用 101

システム **105**

サポート **117**

トラブルシューティング ガイド

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせいただく前に行っていただきたいこと **119**
製品のテスト 119
解像度と周波数の確認 119
症状別　確認事項。 120

目次

仕様

全般 126

プリセット タイミング モード 129

付録

サムスン製品に関するお問合せ 132

有料サービスに関する責任（お客様の負担） 133
製品に異常がない場合 133
お客様の過失によって製品が損傷した場合 133
その他 133

残像の焼き付き防止 134
残像の焼き付きとは? 134
推奨される防止策 134

ライセンス 135

第 1 章
ご使用になる前に

安全のために

以下の安全に関する注意事項は、怪我や器物の破損を避けるためのものです。以下をお読みになり、製品を正しく使用してください。

安全に関する記号

記号	名前	意味
	警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
	注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。
	禁止	行なわないでください。
	指示	指示に従ってください。

注意			
感電する危険があります。開けないでください。			
注意: 感電の危険をなくすため、カバー（または背面）を外さないでください。内部には、ユーザーが対応可能な部品はありません。修理はすべて正規の修理業者にご依頼ください。			
	この記号は、内部が高電圧であることを示しています。この製品の内部部品に触れると危険です。		AC 電圧:この記号が示す定格電圧は AC 電圧です。
	この記号は、操作とメンテナンスに関する重要な文書がこの製品に付属していることを示しています。		DC 電圧:この記号が示す定格電圧は DC 電圧です。
	クラス II 製品:この記号は、アースを取る必要がないことを表しています。電源のリード線を持つ製品にこの記号の表示がない場合、製品を保護アース（グランド）に確実に接続する必要があります。		注意。操作指示書の参照:この記号は、安全に関する詳細情報に関して、ユーザー マニュアルを参照するようにユーザーに指示するためのものです。

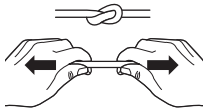
電気に関する注意事項

以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

警告

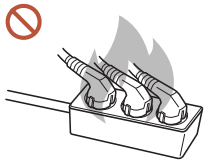
濡れた手で電源プラグに触れないでください。

感電の原因となることがあります。



電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。電源ケーブルの上に重たい物を載せたままにしないでください。

ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



複数の製品をひとつのコンセントに接続しないでください。

電源ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。

電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりは、乾いた布で取り除いてください。

火災の原因となることがあります。

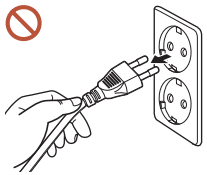
電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください。（アース線のない機器は除く）

感電またはケガの原因となることがあります。

破損した電源プラグまたはがたつきのあるコンセントを使用しないでください。

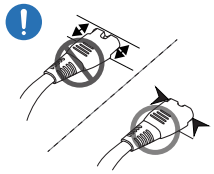
感電または火災の原因となることがあります。

注意



電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

感電または火災の原因となることがあります。



電源プラグはポートにしっかりと差し込んでください。

電源プラグをポートにしっかりと差し込んでいないと、プラグが予期せず抜けたり、過電圧によるオーバーヒートで事故につながったりする恐れがあります。

Samsung が提供する付属の電源ケーブルだけを使用してください。別の製品の電源ケーブルは使用しないでください。

感電または火災の原因となることがあります。

電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

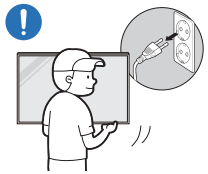
製品に問題が発生した場合は、電源ケーブルを抜いて製品の電源を完全にオフにしてください。遠隔の電源ボタンだけでは、製品の電源を完全にオフにすることはできませんのでご注意ください。

製品の使用中に電源ケーブルを抜かないでください。

感電により製品が破損することがあります。

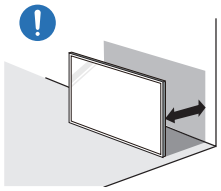
設置の際の注意事項

警告



製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。

コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



製品を設置する際には、換気を良くするように壁との間に距離を取ってください。

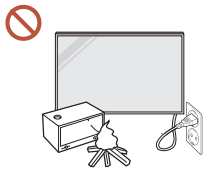
内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

製品を本棚やクローゼットなどの換気の悪い場所に設置しないでください。

内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

梱包に使用されているビニール袋などでお子様が窒息しないように注意してください。

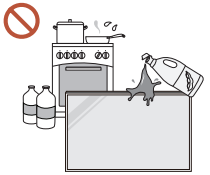


電源ケーブル（DC 電源）および製品本体を熱源の近くに設置しないでください。

（ろうそく、防虫剤、たばこ、スプレー、ヒーター、直射日光の当たる場所など）

製品を設置する際には、転倒しないようにしっかりと固定してください。

製品がしっかりと固定されておらず、お子様が誤って触れてしまうと、製品が倒れ、製品の損傷やお子様の怪我の原因となることがあります。



製品をキッチンやキッチン カウンターの近くに設置しないでください。

食用油やオイル蒸気を使用すると、製品の破損や変形の原因となることがあります。

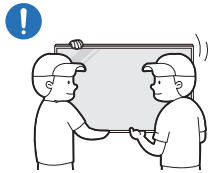
製品を壁に設置する場合は、専門の取付業者にご依頼ください。

無資格で取り付けを行うと、ケガの原因となることがあります。認可されているキャビネットを必ず使用してください。

異常な周辺環境に製品を設置すると、品質に深刻な問題が起こることがあります。このため、製品を設置する祭には、必ず事前にサムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

（細塵が発生する場所、化学物質を使用する場所、極めて高温または低温の場所、湿気や水気の多い場所、車両、空港、駅などの輸送設備での継続的な使用など）

注意



製品を移動させるときは落下に十分ご注意ください。

製品が落下し、怪我や製品の損傷の原因となることがあります。

製品の前面を下に向けて置かないでください。

画面が破損することがあります。

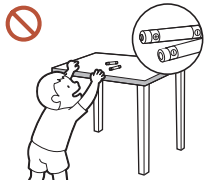
直射日光に長期間さらすと、ディスプレイ表面の変色の原因となることがあります。

ご使用の際の注意事項

警告

製品から異音、焦げ臭い臭い、または煙が発生している場合は、直ちに電源プラグを抜いて サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

感電または火災の原因となることがあります。

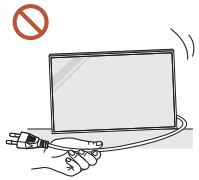


リモコンの電池と細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。これらをお子様が飲み込まないように注意してください。

お子様が電池を口の中に入れたときには、すぐに医師の診察を受けてください。

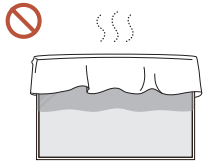
製品が落下したり外観が破損したりした場合は、電源スイッチをオフにして電源ケーブルを抜いてください。サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

そのまま使用し続けると、感電や火災の原因となることがあります。



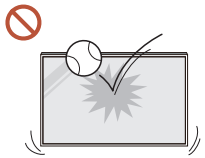
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



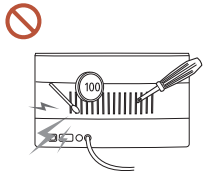
テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

内部温度が上昇し火災が発生することがあります。



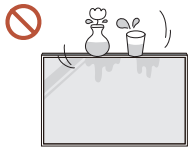
製品に衝撃を与えないでください。

- ディスプレイが破損することがあります。
- 感電または火災の原因となることがあります。



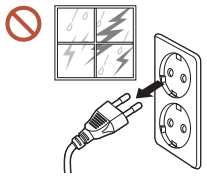
金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を、通気口や入出力ポートなどから製品内に入れないでください。

- 異物が製品内に入った場合は、電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

- 水などの異物が製品内に入った場合は、電源ケーブルを抜いてください。サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。

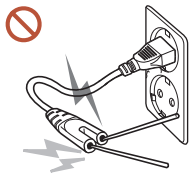
感電または火災の原因となることがあります。

重い物や、お子様のお気に入りの玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。

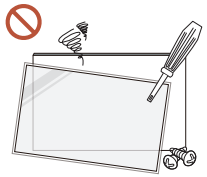
製品にしがみついたり、製品の上に乗ったりしないでください。

- 製品が落下し、怪我や死亡の原因となることがあります。
- お子様が製品にしがみついたり、製品の上に乗ったりしないように十分に注意してください。



電源プラグをコンセントに接続している間に、箸などの伝導物質を残りのコンセントに差し込まないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いた直後に電源プラグのピンに触れないでください。

感電の原因となることがあります。



製品内部は高電圧になっています。製品の分解、修理または改造は絶対に行わないでください。

- 修理が必要な場合は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください。
- 感電または火災の原因となることがあります。

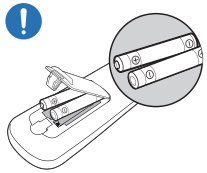
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに部屋を換気してください。

火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。

加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

感電または火災の原因となることがあります。

注意



電池のプラス極とマイナス極を正しく取り付けてください。

極性を誤ると、電池の破裂や液漏れが起こり、周囲の汚染や損壊、火災、怪我の原因となります。

製品の上に重い物を置かないでください。

製品の故障やケガの原因となることがあります。

休暇などの理由で製品を長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

ほこりの堆積と温度上昇により、火災、感電または漏電が発生することがあります。

製品に適した解像度および周波数を使用してください。

視力低下の原因となることがあります。

バッテリ（および充電式バッテリ）は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。お客様は使用済みバッテリまたは充電式バッテリをリサイクルのために返送する必要があります。

お客様は、使用済みの充電式バッテリを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリおよび充電式バッテリを販売している店舗に返送することができます。

本製品を 1 時間使用した後は、少なくとも 5 分間休憩してください。

静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

製品を長期間使用しない場合は、節電モードにするか、スクリーン セーバーをオンにしてください。

可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

爆発または火災の原因となることがあります。

指定された標準の電池のみを使用し、新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。

電池が破損したり、液漏れにより火災、けがまたは故障の原因となることがあります。

ディスプレイを至近距離で長時間見続けないでください。

視力低下の原因となることがあります。

製品の動作中に持ち上げたり、移動させたりしないでください。

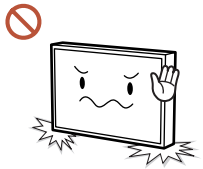
電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。

ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用する際には、音量を大きくしすぎたり、長時間使用したりしないでください。

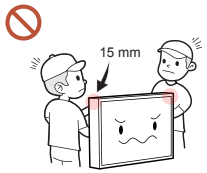
耳が聞こえにくくなることがあります。

パネル取扱時の注意事項

色と外観はモデルによって異なります。



製品を図のように立てないでください。パネルは壊れやすいため、損傷することがあります。



製品前面から 15 mm 以内の部分を持ったり、握らないでください。

お手入れに関する注意事項

警告

製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。

- 製品の表面が損傷したり、ラベルが剥がれたりすることがあります。
- 感電または火災の原因となることがあります。

注意

清掃の際には、電源プラグを必ず抜き、微細な繊維やコットン フランネルなどの柔らかく乾いた布で優しく拭いてください。

製品の表面が損傷したり、ラベルが剥がれたりすることがあります。

製品の表面およびディスプレイは傷つきやすいため、微細な繊維やコットン フランネルなどの柔らかく乾いた布を使用してください。

製品の表面やディスプレイは、異物で簡単に傷つくことがあります。

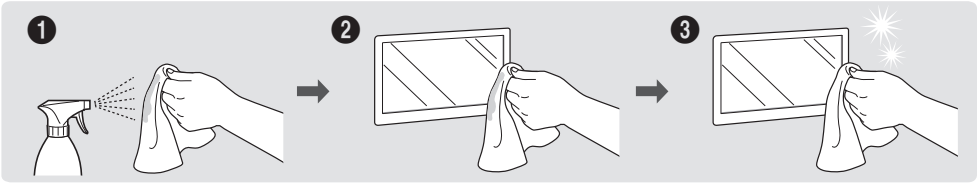
アルコール、溶剤または界面活性剤（ワックス、ベンゼン、シンナー、防虫剤、消臭剤、潤滑剤、クリーナーなど）を含む化学薬品を使用しないでください。

製品の外装の変色やひび割れの原因となったり、パネルの表面やラベルが剥がれる原因となったりすることがあります。

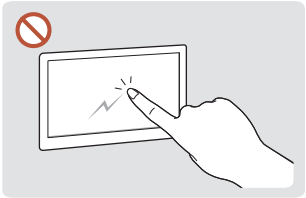
保管とメンテナンス

外装とディスプレイの清掃

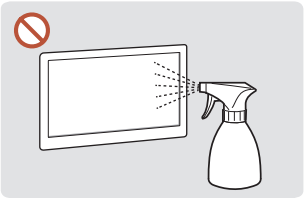
濡らした柔らかい布で拭いた後に、乾いた布で拭いてください。



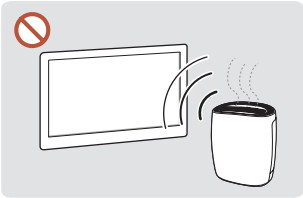
事前注意



爪や尖った物で画面をひっかかないようにしてください。ひっかき傷が残ったり、製品が損傷したりすることがあります。



製品の各部に水を直接かけないでください。水が製品の内部に入ると、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



強い光沢のある製品の場合、近くで UV 加湿器を使用すると製品表面に白いしみができることがあります。

- 画面に貼り付けてあるラベルを剥がす際に、きれいに剥がせないことがあります。剥がし残りを取り除いてから画面をご覧ください。
- 製品を強く押したり、こすったりしないでください。製品が損傷することがあります。
- 化学薬品で画面を拭かないでください。製品の故障の原因となることがあります。
- 本製品内部の清掃が必要な場合は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください（別途作業費がかかります）。
- フロント パネルに触れる際には、素手ではなく、きれいな手袋を装着することをお勧めします。

第 2 章
準備

内容物の確認

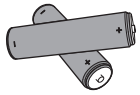
- 内容物が不足している場合は、製品の購入先にお問い合わせください。
- 付属品の外観は図とは異なることがあります。
- 製品にスタンドは付属していません。スタンドを取り付ける場合、別途購入してください。
- D-SUB（9 ピン）型 RS232C ケーブルを使用して別のモニターと接続する場合に、RS232C アダプタをご使用になれます。

クイック セットアップ ガイド

保証書
（一部の地域では利用できません）

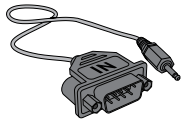
規制ガイド

電源コード

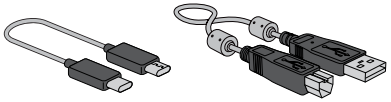


電池（AAA x 2）
（一部の地域では利用できません）

リモコン

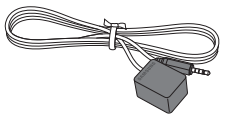


RS232C アダプタ
（SH37C モデルはサポートされていません。）

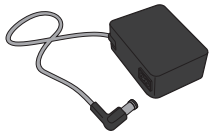


QB13C-T　　QB24C-T

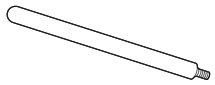
TOUCH OUT ケーブル
（対応モデル: QB13C-T / QB24C-T）



外部 IR ケーブル
（対応モデル：SH37C）

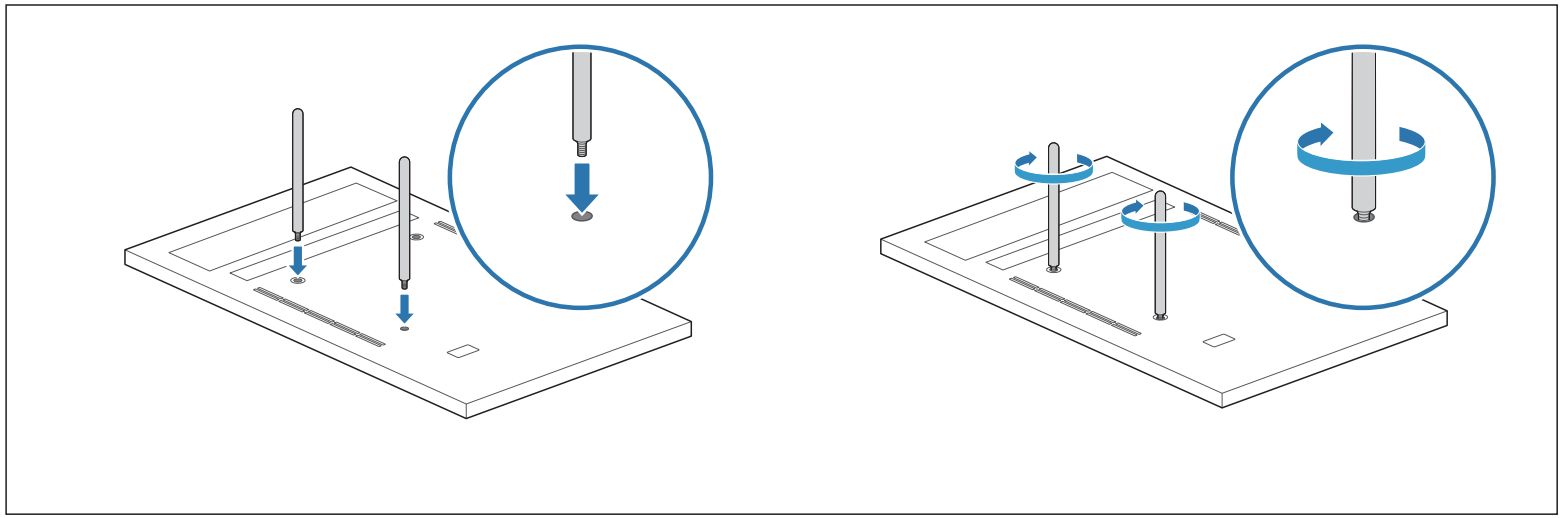


AC/DC アダプタ
（対応モデル：QB13C / QB13C-T）



スタンド バー x 2
（対応モデル：QB13C / QB13C-T）

スタンド バーの使用（対応モデル：QB13C / QB13C-T）

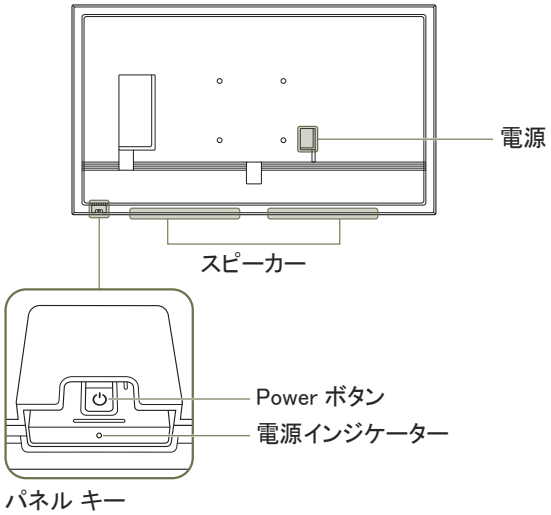


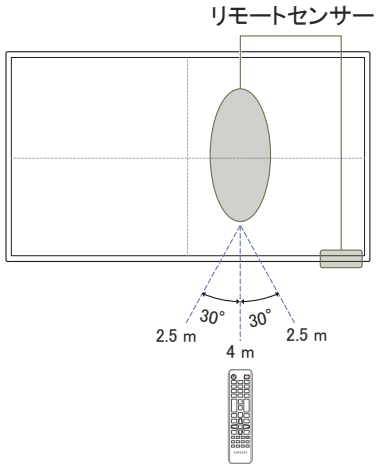
本製品の表面を下にして、保護布またはクッションの上に置いてください。

バーを製品のスロットに差し込み、回してしっかり固定します。

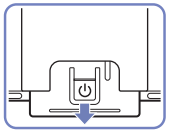
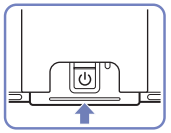
各部

QM32C / QB43C / QH43C / QM43C / QB50C / QH50C / QM50C / QB55C / QH55C / QM55C / QB65C / QH65C / QM65C / QB75C / QH75C / QM75C / QB85C / QM85C / QH98C / QM98C





部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

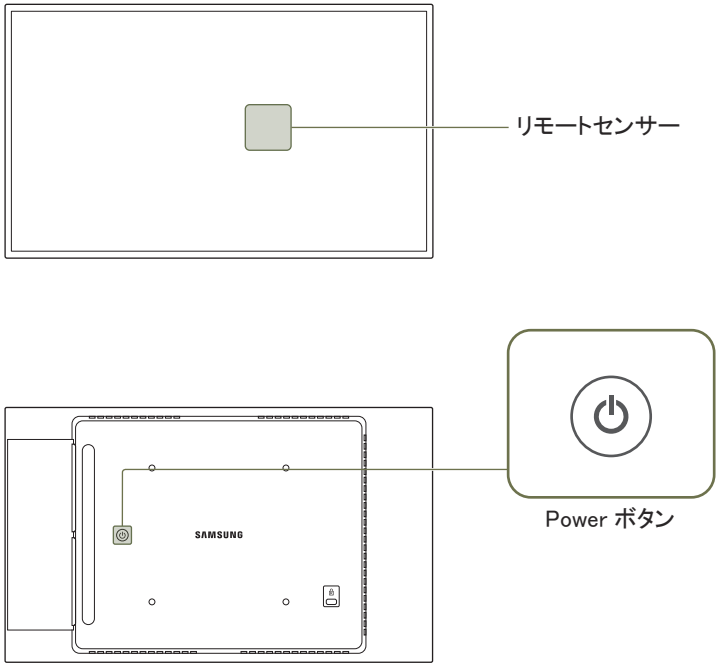
各部	説明	
リモートセンサー	本製品の前面にあるセンサーにリモコンを向けながらリモコンのボタンを押すと、対応する機能が実行されます。 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。	
		リモート センサーは、スライド式のパネル キーを引き下げた状態で使用します。
パネル キー		パネル キーを使用するには、製品下部にあるスライド式のパネル キーが引っ込んでいることを確認してください。
Power ボタン	製品のオン/オフを切り替えます。	

画面のリモート センサー: リモコンは、製品から 2.5～4 m、左右に 30° の範囲内で使用します。

下部のリモート センサー: リモコンは、製品から 7～10 m、左右に 30° の範囲内で使用します。

IR レシーバーの性能を向上させるには、外部 IR ケーブル（別売り）を IR IN ポートに接続します。

QB13C / QB13C-T



部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

各部	説明
リモートセンサー	本製品の前面にあるセンサーにリモコンを向けながらリモコンのボタンを押すと、対応する機能が実行されます。 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。
Power ボタン	製品のオン/オフを切り替えます。

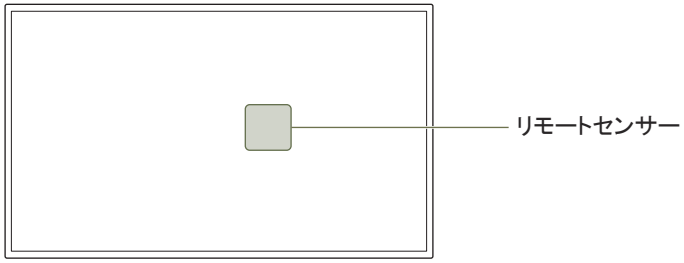
リモコンは、製品から 2.5～4 m、左右に 30° の範囲内で使用します。

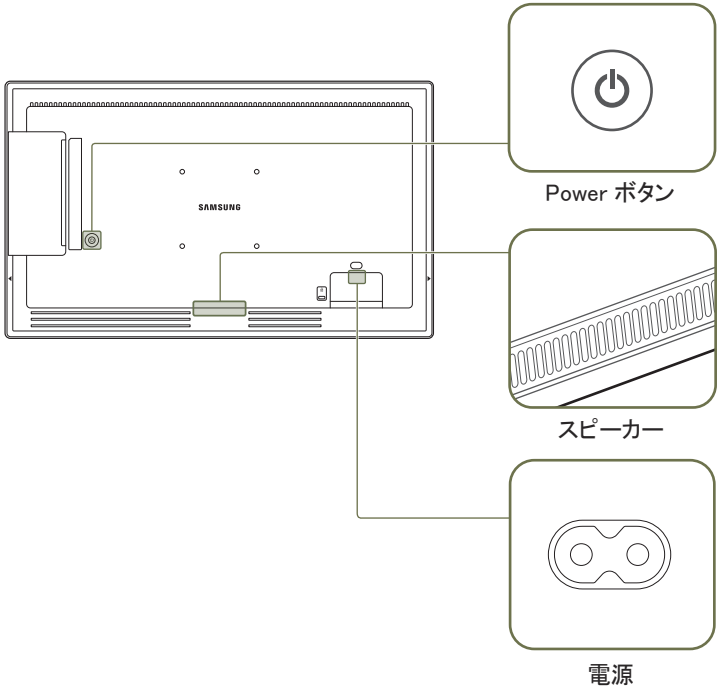
使用済み電池は、お子様の手の届かないところに保管してリサイクルしてください。

新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。両方の電池を同時に交換してください。

リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておいてください。

QB24C / QB24C-T





部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

各部	説明
リモートセンサー	本製品の前面にあるセンサーにリモコンを向けながらリモコンのボタンを押すと、対応する機能が実行されます。 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。
Power ボタン	製品のオン/オフを切り替えます。

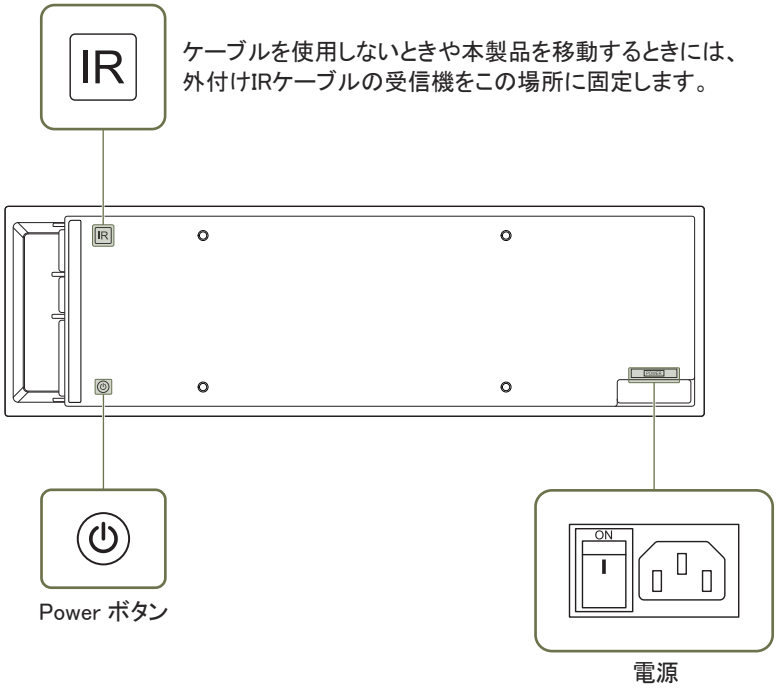
リモコンは、製品から 2.5～4 m、左右に 30° の範囲内で使用します。

使用済み電池は、お子様の手の届かないところに保管してリサイクルしてください。

新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。両方の電池を同時に交換してください。

リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておいてください。

SH37C



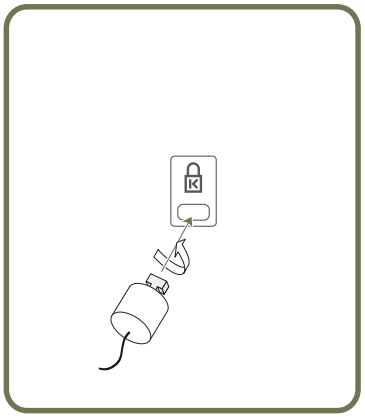
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

各部	説明
Power ボタン	製品のオン/オフを切り替えます。

盗難防止用ロック

- 盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。
- ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
- 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。
- 対応モデル: QB13C、QB24C

盗難防止用ロック装置のロック方法



1 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。

2 ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。

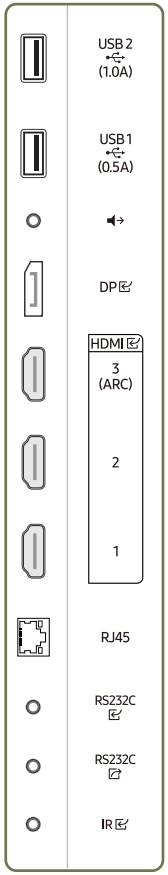
3 ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。

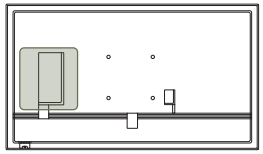
4 ロック装置をロックします。
- 盗難防止用ロック装置は、別売です。
- 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
- 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

ポート

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。
仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

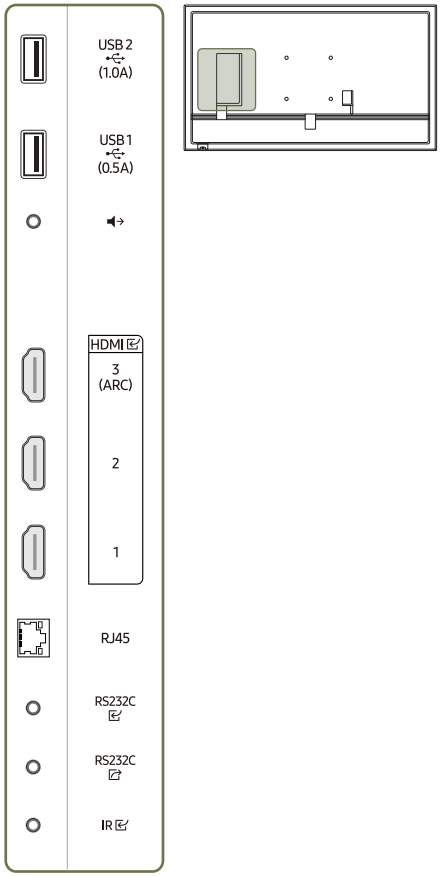
QH43C / QM43C / QH50C / QM50C / QH55C / QM55C / QH65C / QM65C / QH75C / QM75C / QM85C / QH98C / QM98C





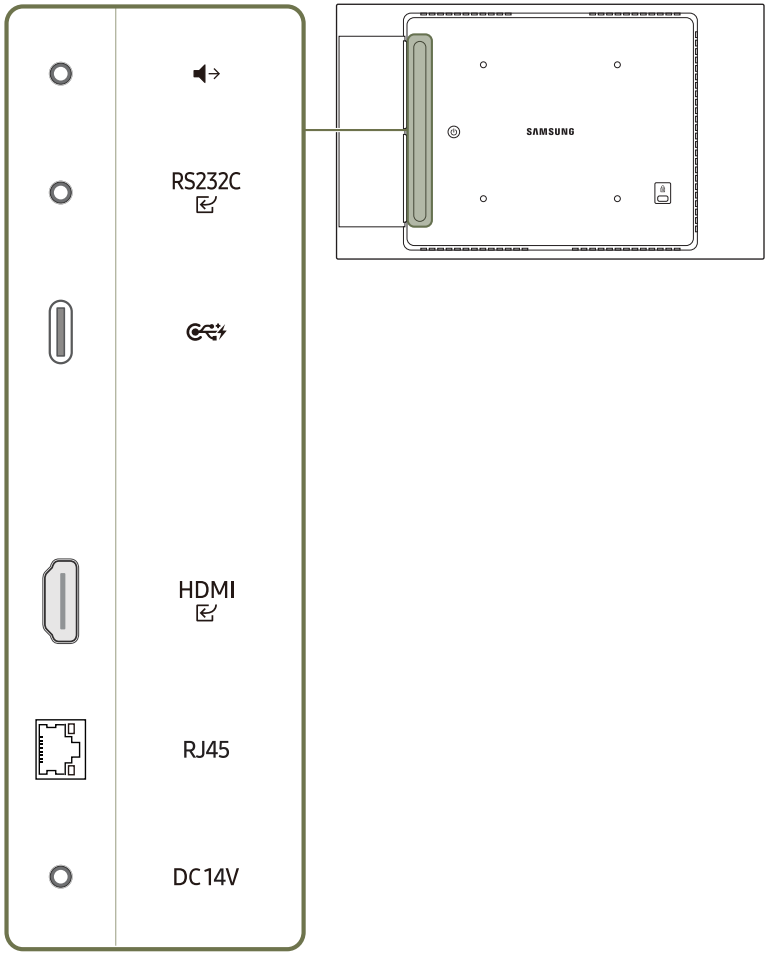
ポート	説明
USB 2 (1.0A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 1.0A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
USB 1 (0.5A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 0.5A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。
DP	DP ケーブルを使用して PC と接続します。
HDMI 3 (ARC)	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
HDMI 2	
HDMI 1	
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
IR	リモコンからの信号を受信するために外部 IR ケーブルを接続します。

QB43C / QB50C / QB55C / QB65C / QB75C / QB85C



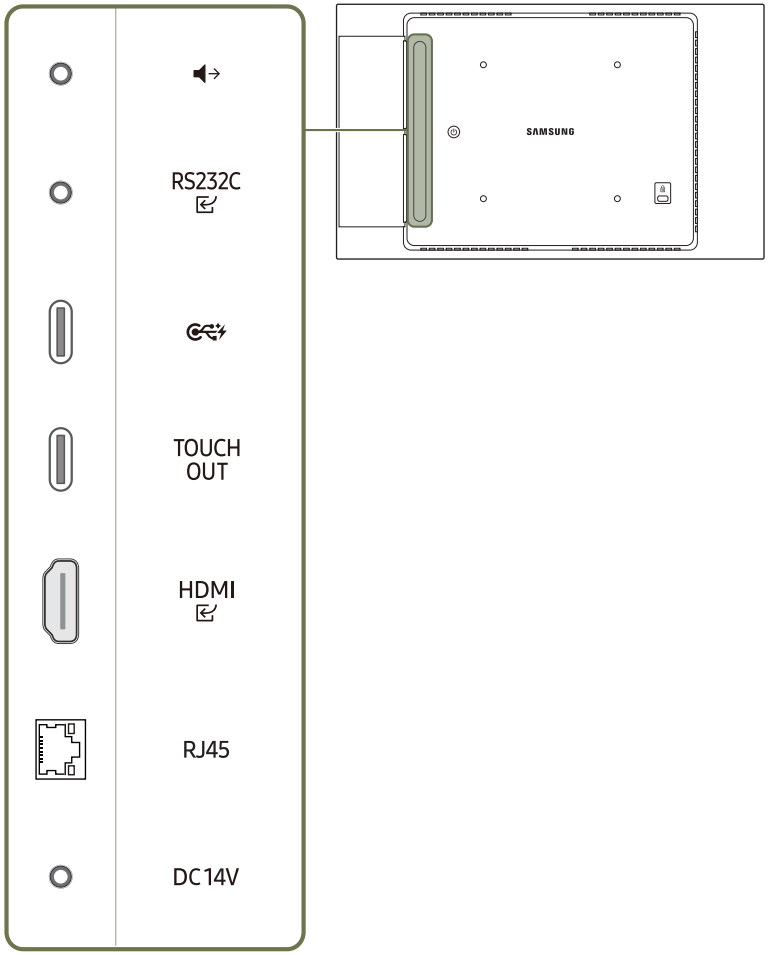
ポート	説明
USB 2 (1.0A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 1.0A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
USB 1 (0.5A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 0.5A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。
HDMI 3 (ARC)	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
HDMI 2	
HDMI 1	
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
IR	リモコンからの信号を受信するために外部 IR ケーブルを接続します。

QB13C



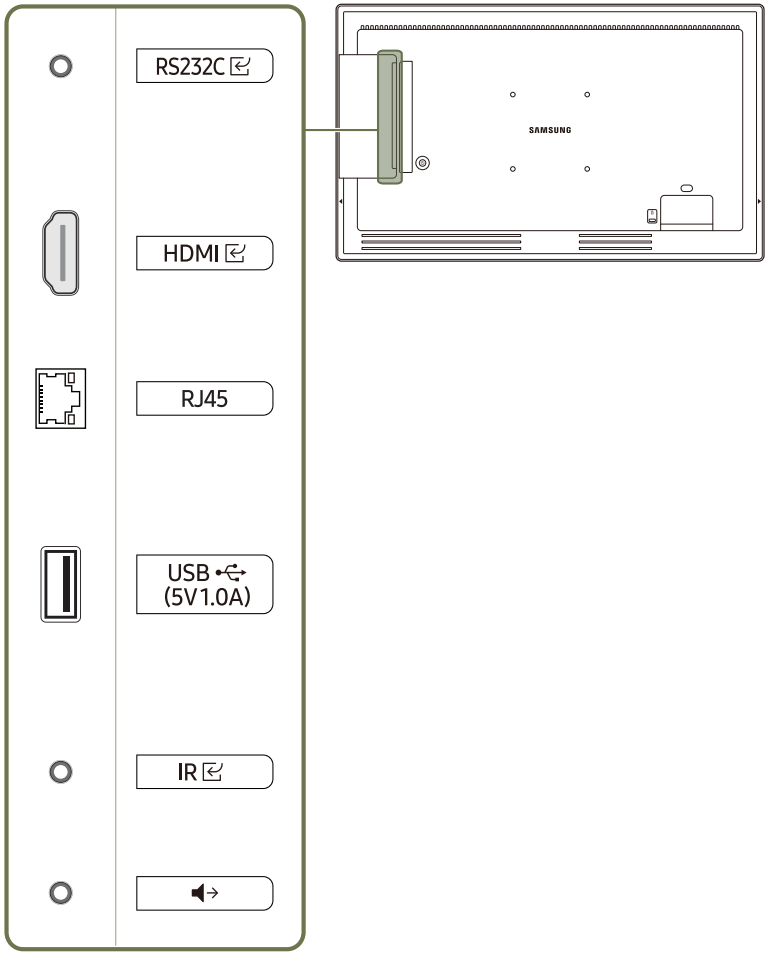
ポート	説明
	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品のUSBポートは、最大1.0Aの定電流に対応しています。最大値を超えると、USBポートが動作しない場合があります。 このポートは、厚さが 8.6mm 未満の USB メモリ、ケーブル、USB-A – USB-C アダプタ デバイスと互換性があります。
HDMI	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
DC 14V	AC/DC アダプタを接続します。

QB13C-T



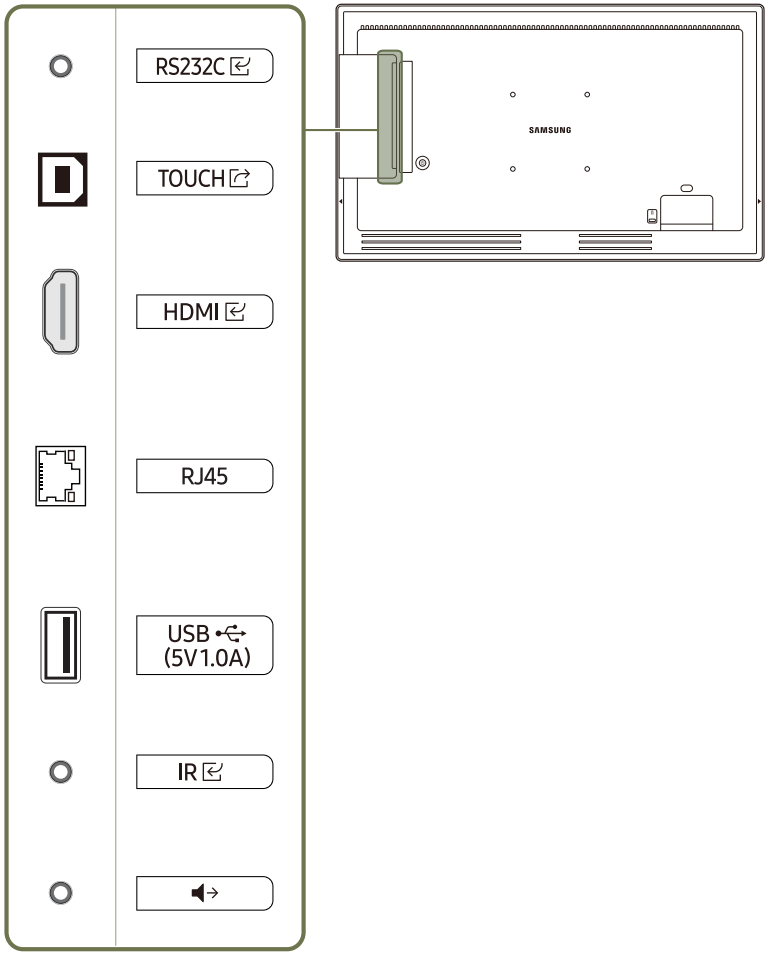
ポート	説明
🔈→	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品のUSBポートは、最大1.0Aの定電流に対応しています。最大値を超えると、USBポートが動作しない場合があります。 このポートは、厚さが 8.6mm 未満の USB メモリ、ケーブル、USB-A – USB-C アダプタ デバイスと互換性があります。
TOUCH OUT	TOUCH OUT ケーブルで PC に接続し、タッチ機能を有効にします。
HDMI	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
DC 14V	AC/DC アダプタを接続します。

QB24C



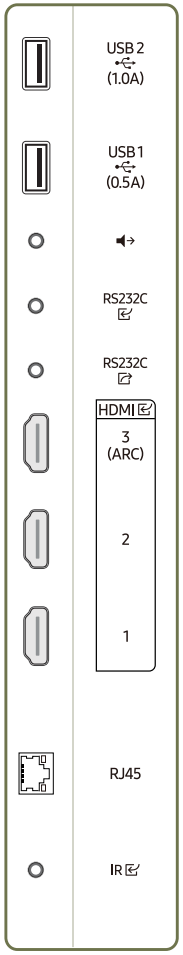
ポート	説明
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
HDMI	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
USB (5V1.0A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 1.0A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
IR	リモコンからの信号を受信するために外部 IR ケーブルを接続します。
	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。

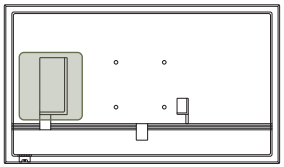
QB24C-T



ポート	説明
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
TOUCH	TOUCH OUT ケーブルで PC に接続し、タッチ機能を有効にします。
HDMI	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
USB (5V1.0A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 1.0A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
IR	リモコンからの信号を受信するために外部 IR ケーブルを接続します。
	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。

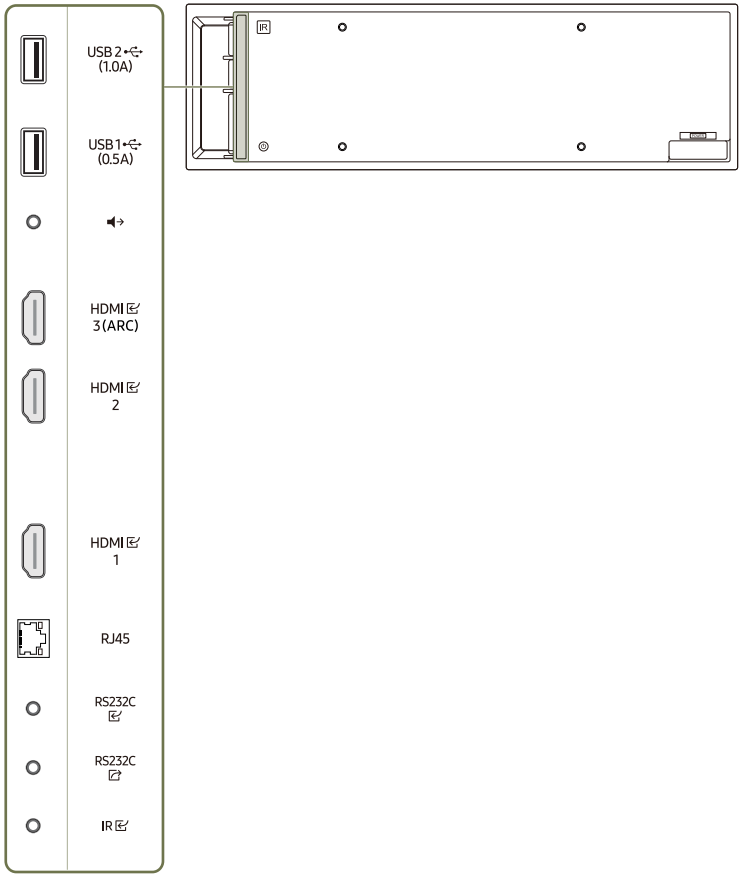
QM32C





ポート	説明
USB 2 (1.0A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 1.0A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
USB 1 (0.5A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 0.5A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
HDMI 3 (ARC)	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
HDMI 2	
HDMI 1	
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
IR	リモコンからの信号を受信するために外部 IR ケーブルを接続します。

SH37C



ポート	説明
USB 2 (1.0A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 1.0A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
USB 1 (0.5A)	USB メモリ デバイスに接続します。 本製品の USB ポートの最大定電流は 0.5A です。最大値を超えた場合は、USB ポートが機能しないことがあります。
	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。
HDMI 3 (ARC)	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
HDMI 2	
HDMI 1	
RJ45	LAN ケーブルで MDC とインターネットに接続します。(100 Mbps) 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
RS232C	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。
IR	リモコンからの信号を受信するために外部 IR ケーブルを接続します。

コントロール メニュー

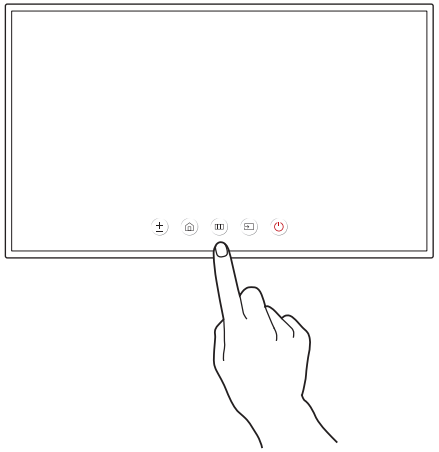
- 電源ボタン(⏻)は、モデルに応じて製品の下部または背面にあります。
- 本製品の電源が入っている状態で電源ボタンを押すと、コントロール メニューが表示されます。

項目	説明
電源オフ	製品の電源をオフにします。 • コントロール メニュー画面が表示されている状態で、電源ボタンを短く押してカーソルを**電源オフ** ⏻に移動し、電源ボタンを長押しして製品の電源をオフにします。
入力ソース	入力ソースを選択します。 • コントロール メニュー画面が表示されている状態で、電源ボタンを短く押してカーソルを**入力ソース** に移動し、電源ボタンを長押しして入力ソース画面を表示します。 • 入力ソース画面が表示されている状態で、電源ボタンを長押しして目的の入力ソースに切り替えます。

- 電源ボタンは**電源オフ**と**入力ソース**にのみ使用できます。
- コントロール メニュー画面を終了するには、電源ボタンを押さずに 3 秒以上待ちます。

管理者メニュー(対応モデル: QB13C-T / QB24C-T)

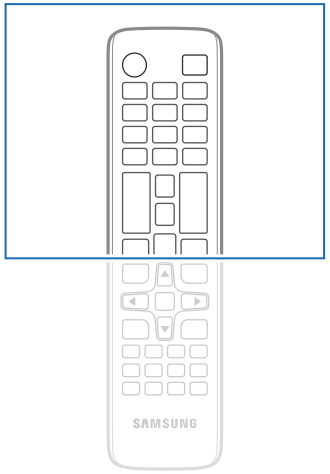
- 製品をオンにする際に画面を長押しすると、管理者メニューが表示されます。
- タッチスクリーンでの操作ができない場合は、リモコンを使って**システム** → **タッチ コントロール** → **タッチ コントロール**と進み、OSD メニューから**オン**を選択します。次に、**操作する機器**に進み、**Samsung SMART Signage**また**自動**を選択します。
- 管理者メニューが表示されない場合は、リモコンを使って**システム** → **タッチ コントロール** → **管理者メニュー ロック**と進み、OSD メニューから**オフ**を選択します。
- ソース機器を接続している場合は、管理者メニューが正常に動作しないことがあります。



ボタン	説明
音量	**音量**を調整します。 • 管理者メニューから **音量** を選択します。
ホーム	**ホーム** モードに移行します。 • 表示される管理者メニューから **ホーム** を選択します。
メニュー	OSD メニューを表示します。 設定を変更するにはメニュー項目を選択します。 • 管理者メニューから **メニュー** を選択します。
入力ソース	入力ソースを選択します。 表示されるリストから入力ソースを選択します。 • 管理者メニューから **入力ソース** を選択します。
電源	製品の電源をオフにします。 • 表示される管理者メニューから **電源** を選択します。

リモコン

- 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。
- 以下の図で説明のないボタンは本製品では使用できません。
- FREEZE 機能は **入力ソース** のみ利用可能です。



- 製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。

製品の電源をオンにします。

製品の電源をオフにします。

数字ボタン

PIN の入力や日付の入力などに使用します。

画面を停止します。

画面のみオフにします。もう一度押すと、画面が再度オンになります。

音量を調整します。

音声を消します。

- 消音の解除: MUTE を再度押すか、音量コントロール (+ VOL –) ボタンを押します。

入力ソースを変更します。

オンスクリーン メニューの表示/非表示を切り換えるか、前のメニューに戻ります。

このホットキーは **MagicInfo** を起動する場合に使用します。

- ホットキーは、ネットワーク ボックスを接続している場合に使用できます。ネットワーク ボックスは別途購入してください。
- この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

ホーム画面へのショートカット ボタン（**MagicInfo**）です。

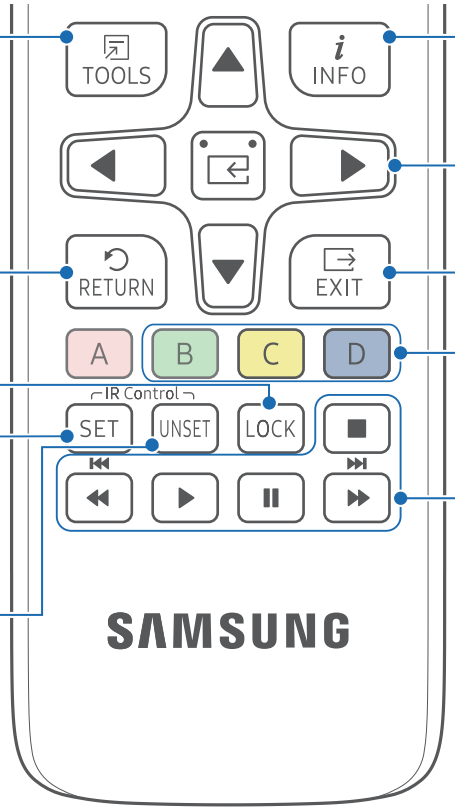
コンテンツの再生中に押すと、よく使用する機能を素早く選択できます。

前のメニューに戻ります。

セーフロック機能を設定します。

SET ボタンを押し、次に数字ボタンを使用して製品 ID を入力します。リモコンを使用して製品を制御します。

SET ボタンを使用して設定されている値をキャンセルし、接続されているすべての製品をリモコンを使用して制御します。



現在の入力信号についての情報を表示します。

上、下、左または右のメニューに移動するか、オプションの設定を調整します。

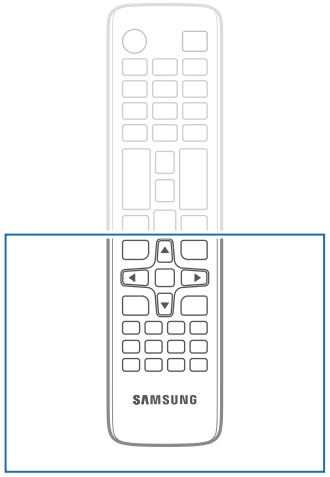
選択したメニューを確定します。

現在のメニューを終了します。

接続している外部機器から選択します。

モデルによっては、すべてのポート タイプをサポートしないものがあります。

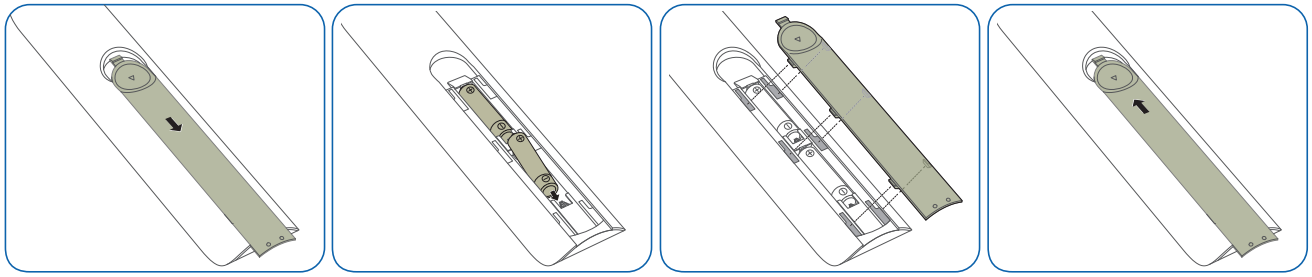
これらのボタンは特定の機能に使用します。製品画面に表示される指示に応じてこれらのボタンを使用してください。



製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。

リモコンの電池交換方法 (AAA x 2)

リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておいてください。



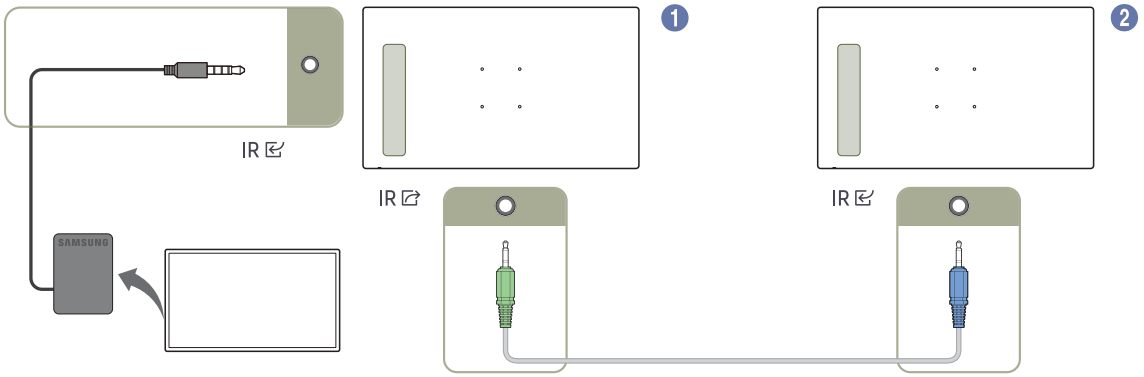
IR ステレオ ケーブル（別売り）を使用した接続

必ず本製品の電源をオフにして外部 IR ケーブルを接続してください。次に、製品の電源をオンにしてください。

リモコンを使用して複数のモニタ製品を制御する方法

- 本製品の IR ポートと他のディスプレイ製品の IR ポートを専用のステレオ ケーブルで接続してください。
- ディスプレイ製品 1 で指定したリモコンから送信された命令が、ディスプレイ製品 1 とディスプレイ製品 2 で受信されます。

外観は製品のモデルによって異なる場合があります。



製品の設置前に（設置ガイド）

ケガを予防するため、設置指示にしたがって本機器をしっかりと床または壁に取り付けてください。

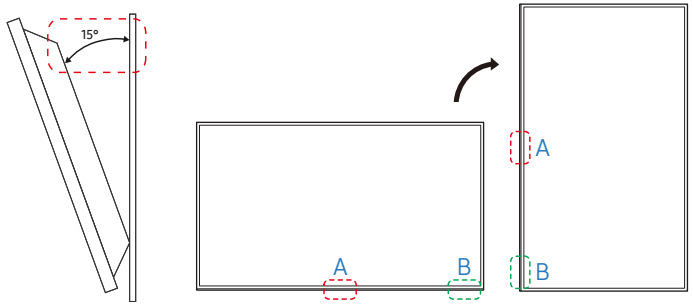
- 壁に取り付ける場合は必ず、認定設置会社に依頼してください。
- 依頼せずに設置すると落下の原因となり、ケガにつながります。
- 必ず指定された壁設置を行ってください。

傾斜角度と回転

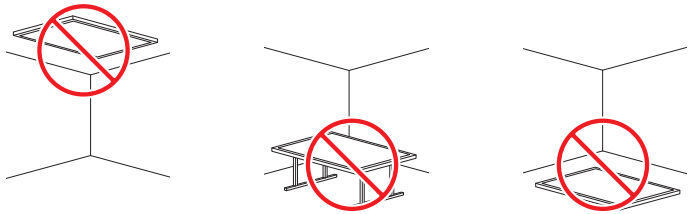
詳細は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

- 製品は、垂直壁面から最大 15° の角度まで傾斜させることができます。
- 製品を縦向きで使用するには、電源インジケーター（A または B）が下図の位置にくるまで製品を時計回りに回転させます。

  QB13C、QB24C、QB13C-T、QB24C-T および SH37C モデルに電源インジケーターは搭載されていません。



このモデルは、天井、床、テーブルの上で使用しないでください。



換気

詳細は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

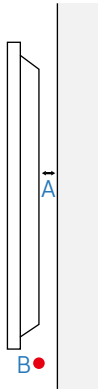
垂直壁面への設置

A 7.5 mm 以上（対応モデル：QM32C、QB43C、QH43C、QM43C、QB50C、QH50C、QM50C、QB55C、QH55C、QM55C、QB65C、QH65C、QM65C、QB75C、QH75C、QM75C、QB85C、QM85C、QH98C、QM98C）

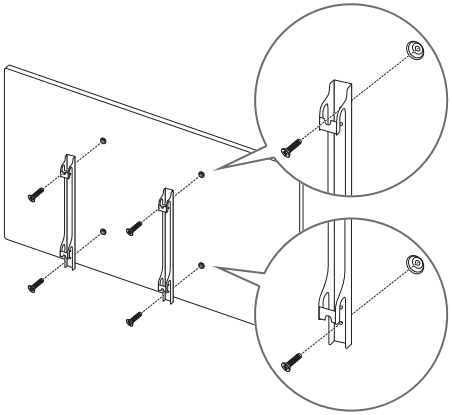
15 mm 以上（対応モデル：QB13C、QB24C、QB13C-T、QB24C-T）

40 mm 以上（対応モデル：SH37C）

B 周囲温度: 35 C未満



ウォール マウントを設置する



ウォール マウントを設置する前の準備

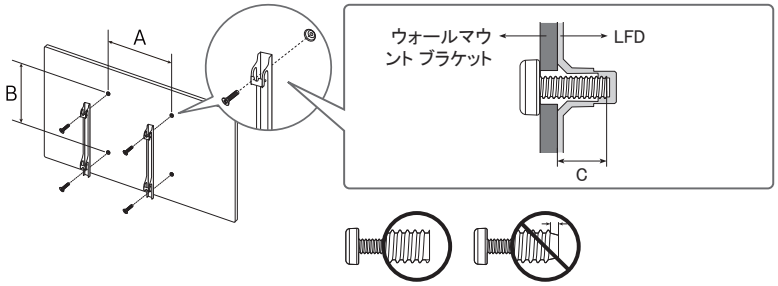
Samsung 製以外のウォール マウントを設置する場合は、ウォール マウント製造元から提供される設置マニュアルをご覧ください。

ウォール マウントを設置する

- 本製品は、ウォール マウント キット（別売り）を使用して壁に設置することができます。
- イラストは参考用です。ウォール マウントの設置に関する詳細は、ウォール マウントに付属のマニュアルを参照してください。
- ウォール マウント ブラケットを設置する際には、技術者に連絡してサポートを受けることをお勧めします。
- Samsung はお客様自身によるウォール マウント設置の結果発生した本製品の損傷および人身への被害について一切の責任を負いません。

ウォール マウント キットの仕様 (VESA)

床に対して垂直になるように、ウォール マウントをしっかりとした壁に取り付けます。本製品を他の壁の場所に設置する場合は、最寄りの代理店にお問い合わせください。
本製品を傾斜のある壁に設置すると、落下して大怪我につながる場合があります。



- Samsung 製ウォール マウント キットには、詳細な設置マニュアルと、組み立てに必要な各部品が同梱されています。
- 標準以上の長さのネジ、および VESA 規格のネジ仕様に適合しないネジはご使用にならないでください。長すぎるネジは、本製品の内部を傷つける恐れがあります。
- VESA 規格のネジ仕様に適合していないウォール マウントの場合、ウォール マウントの仕様によってネジの長さが異なることがあります。
- ネジはきつく締めすぎないようにしてください。本製品の損傷や落下につながり、ケガを招く恐れがあります。Samsung はこれらの事故に関して一切責任を負いません。
- VESA 規格に適合しないウォール マウントや指定外のウォール マウントをご使用の場合、および製品の設置説明書に従わなかった場合に生じた製品の損傷や人身に対する被害について Samsung は責任を負いません。
- 15 度以上の傾斜で本製品を取り付けないようにしてください。
- 本製品を壁に取り付ける際には、必ず 2 人以上で行ってください。(82 インチ以上のモデルの場合は、4 人以上で行ってください。)
- ウォール マウント キットの標準寸法は下表のとおりです。

モデル名	VESA 規格のネジ穴仕様 (A * B) [ミリ]	C(mm)	標準ネジ	個数
QB13C / QB13C-T	100 x 100	5 - 7	M4	4
QB24C / QB24C-T	100 x 100	8 - 9		
QM32C	100 x 100	10 - 12		
SH37C	400 x 200	31 - 32	M8	
QB43C / QH43C / QM43C	200 x 200	12 - 14		
QB50C / QH50C / QM50C / QB55C / QH55C / QM55C				
QB65C / QH65C / QM65C	400 x 300			
QB75C / QH75C / QM75C	400 x 400			
QB85C / QM85C	600 x 400			
QH98C / QM98C		16 - 18		

本製品の電源が入っている状態でウォール マウント キットを設置しないでください。感電による被害につながる恐れがあります。

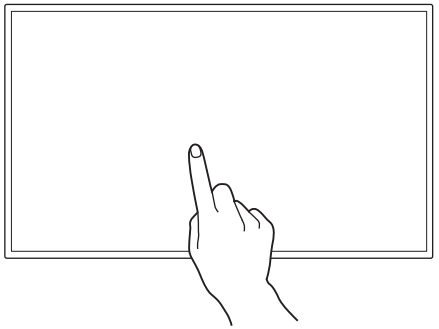
第 3 章
タッチスクリーン モニターの使用（対応モデル: QB13C-T / QB24C-T）

タッチスクリーン モニター

キーボードやマウスなどの入力デバイスを使用する代わりに画面をタップして PC を制御します。タッチ画面はユーザーの体から流れるわずかな電流（静電容量）を検知することによって機能します。画面をタップするときは指先の腹の部分を使ってください。

本製品に接続された PC のタッチスクリーンを操作するには、OSD メニューから**システム** → **タッチ コントロール** → **操作する機器** → **接続された入力ソース機器**または**自動**を選択します。

本製品のタッチ コントロールを使用するには、リモコンを使用して OSD メニューから **システム** → **タッチ コントロール** → **操作する機器** に移動し、**Samsung SMART Signage** または **自動** を選択します。



製品を使用する前に以下をお読みください

- 電気を帯びた物体が画面に接触しないよう十分に注意してください。静電気があると画面が正しく機能しないことがあります。
- タッチ画面を指で強く押さないでください。尖った物を使って画面をタップしないでください。画面が破損したり傷つくことがあります。
- 手袋をつけたまま、あるいは汚れた指または爪やボールペンなどの尖った物を使って画面をタップしないでください。画面が正しく機能しなくなることがあります。
- 画面に水分が付着しないよう十分に注意してください。タッチ センサーが正しく機能しなくなることがあります。
- 画面上に静止画を長時間表示し続けると残像（画面の劣化）や変色が生じることがあります。使用しないときは画面のスイッチをオフにしてください。

要件

互換性のあるオペレーティング システム

<table>
<tr><th colspan="3">OS</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>Windows</td><td colspan="2">Win10 / Win8.1 / Win8 / Win7 / Vista</td><td>一部のオペレーティング システムは、マルチタッチ機能に対応していません。
(例: Win7 Home Basic、Win7 Starter、Vista)</td></tr>
<tr><td>Mac OSX</td><td colspan="2">10.7～10.15 以降</td><td>タッチ入力には、別途ドライバのインストールが必要です。(UPDD ドライバ)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">Linux</td><td>Ubuntu</td><td>10.04 / 12.10 / 14.04 / 18.04 / 以降</td><td rowspan="5">Linux: タッチ機能は、カーネル バージョン 3.0 以降で利用できます。
マルチタッチ機能を使用する、またはディスプレイの向きを変更するには、別途ドライバのインストールが必要です。
• タッチ機能は一部の OS で使用できない場合があります (Linux ディストリビューションに依存します)
• Android/Chrome ではタッチ機能が制限される場合があります</td></tr>
<tr><td>Fedora</td><td>15 / 16 / 19 / 20 / 以降</td></tr>
<tr><td>OpenSUSE</td><td>11.4 / 12.1 / 12.2 / 12.3 / 以降</td></tr>
<tr><td>CentOS</td><td>6.6 / 以降</td></tr>
<tr><td>Mint</td><td>14.1 / 以降</td></tr>
</table>

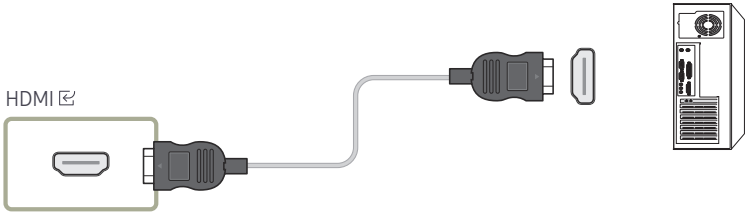
タッチスクリーン モニターの接続

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

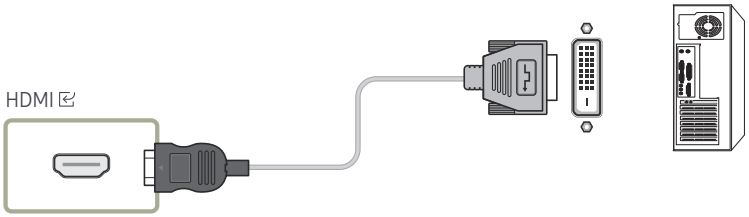
PC との接続

1 PC と本製品を HDMI または HDMI-DVI ケーブルで接続してください。

HDMI ケーブルを使用してデバイスを接続する場合



HDMI-DVI ケーブルを使用してデバイスを接続する場合



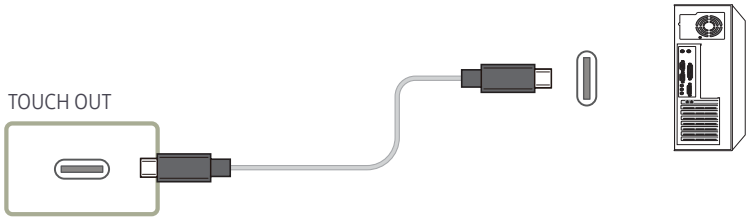
2 電源ケーブルを製品からコンセントに接続します。

3 電源が接続されると、製品は接続されている入力ソースを自動的に検出して切り替えを行います。

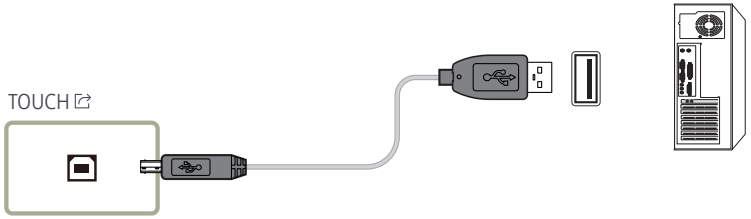
画面に何も映らない場合は、製品をオフにしてから再びオンにしてください。

4 TOUCH OUT ケーブルを使って製品の TOUCH OUT/TOUCH ポートと PC の USB ポートを接続します。

QB13C-T



QB24C-T



ラップトップまたはタブレット PC との接続

ラップトップやタブレット PC もデスクトップ PC と同じ方法で製品に接続できます。

デバイスの接続後にタッチスクリーン操作ができなくなった場合

- TOUCH OUT ケーブルを接続する前に、必ず HDMI または HDMI-DVI ケーブルを接続してください。
- ケーブルを正しく接続してもタッチスクリーンの操作ができない場合は、TOUCH OUT ケーブルを一旦外して、再度接続してください。

タッチスクリーン モニターの設定

製品のタッチ機能を Windows で正しく使用するには、**タブレット PC 設定**に移動し、製品を調整します。

タッチスクリーン モニターを接続してから以下の設定を行います。

同時に接続できるタッチスクリーン モニターの最大数は、オペレーティング システムとグラフィックカードの設定によって異なります。

コントロール パネルで**タブレット PC 設定**が見つからない場合は、**コントロール パネルの検索**から**タブレット PC 設定**を検索します。

マルチスクリーン設定で使用する場合は、QB13C-T / QB24C-T をメイン ディスプレイとして設定済みであることを確認してください。

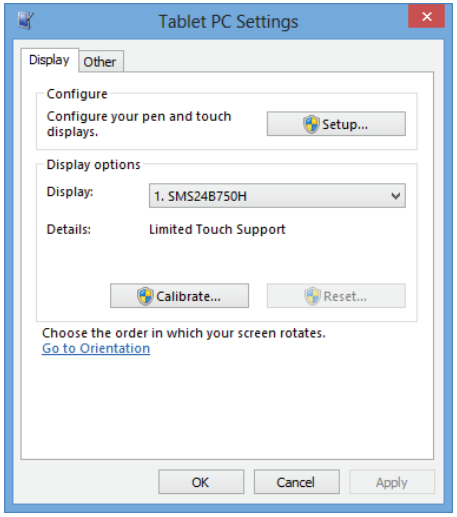
調整

以下の説明は Windows 8 の場合です。Windows 7 と Windows 8 は同一の方法を使用します。

OSD メニューから **画像サイズ** を変更した場合、画像の設定を調整する必要がある場合があります。

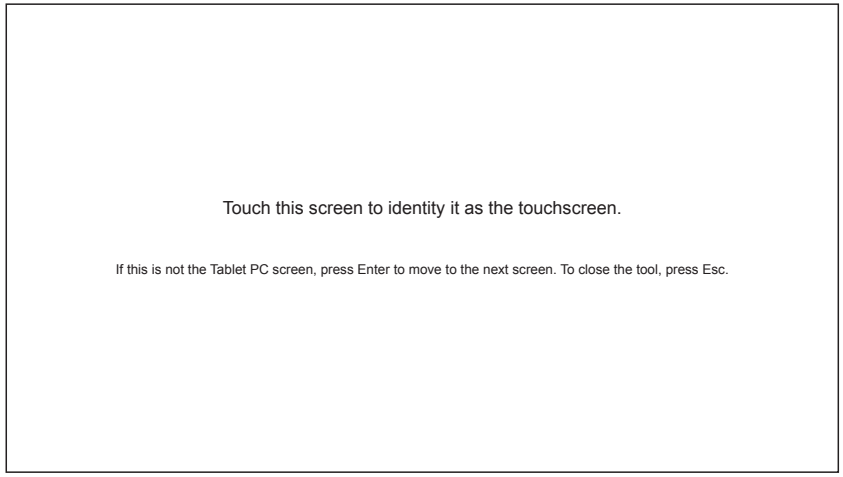
キャリブレーション中にエラーが発生した場合は、**タブレット PC 設定**に移動します。**ディスプレイ** タブで、**リセット**をタップして、再度キャリブレーションを行います。

1 [**ディスプレイ**] タブで、[**構成**] の [**セットアップ**] を選択します。

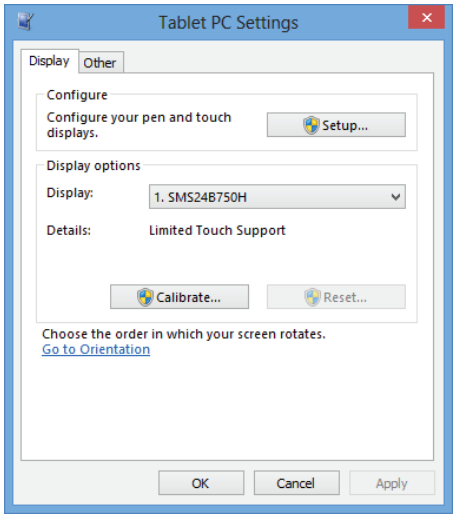


2 製品に表示されるページを指でタップします。

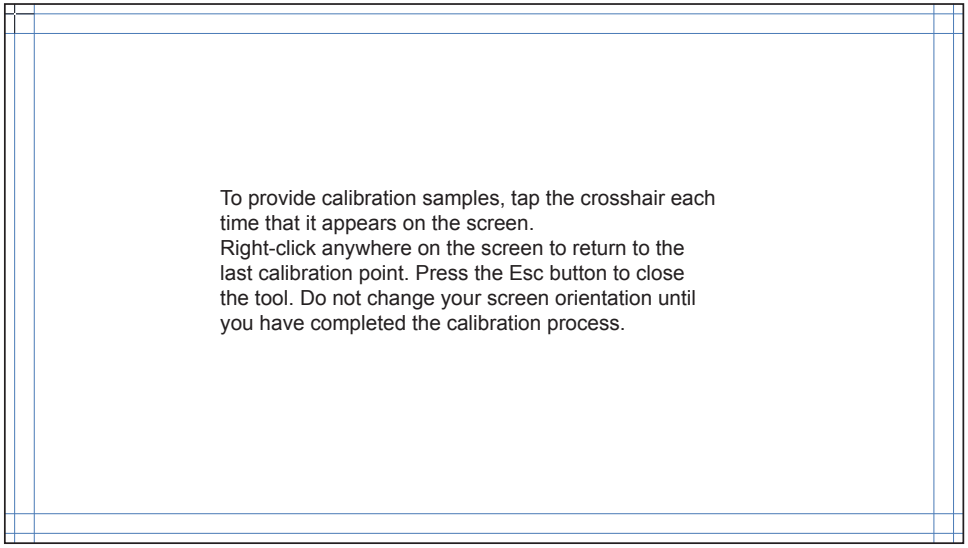
デュアル モニター モード: 製品に以下のページが表示されない場合は、[Enter] キーを押すとページが表示されます。



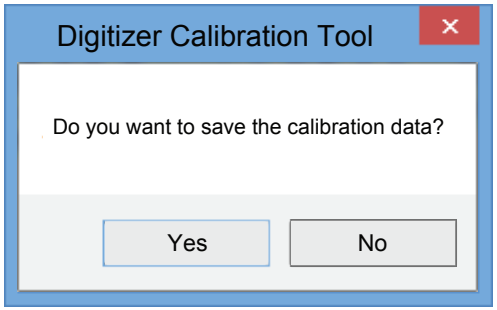
3 [**表示オプション**] の [**ディスプレイ**] から本製品を選択します。次に、[**調整**] を選択します。



4 図のように表示される画面の指示に従って調整を実行します。

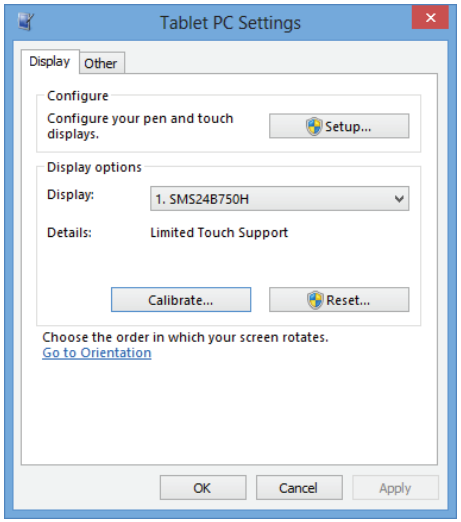


5 調整が完了すると、「**調整データを保存しますか?**」とメッセージが表示されます。**Yes** を選択します。



6 これでタッチスクリーン モニターの調整が完了します。

[**リセット**] を選択すると調整データは削除されます。



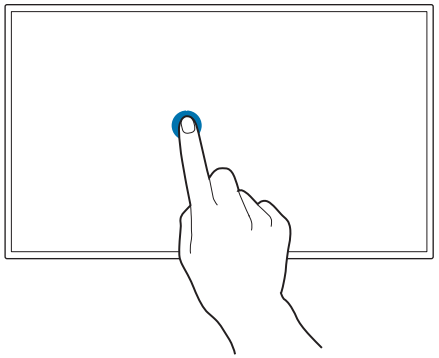
画面の制御

タッチスクリーンでのジェスチャー入力

タッチスクリーン ジェスチャーはマウス入力のように使用できます。

タッチスクリーンのジェスチャー入力を受け取るデバイスは、**システム** → **タッチ コントロール** → **操作する機器**で設定できます。

タップ

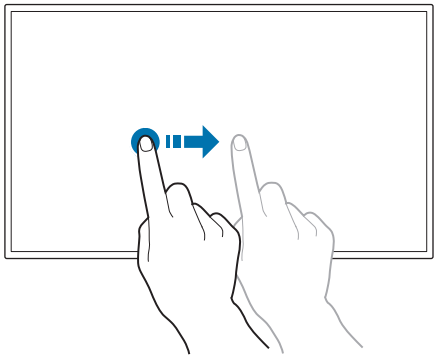


画面を軽くタップします。

機能やメニュー項目を選択するときにこのジェスチャーを使用します。

マウスのクリックに相当します。

ドラッグ

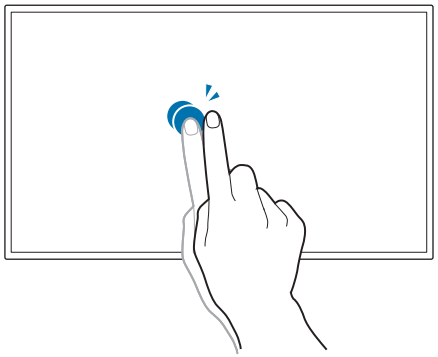


画面を軽くタッチして任意の方向にドラッグします。

ウェブページ、マップまたは写真上で任意の方向に移動するときにこのジェスチャーを使用します。

マウスのドラッグに相当します。

ダブル タップ

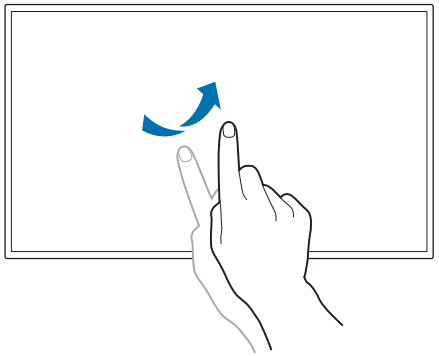


画面を二度タップします。

選択したプログラムを実行するときにこのジェスチャーを使用します。

マウスのダブルクリックに相当します。

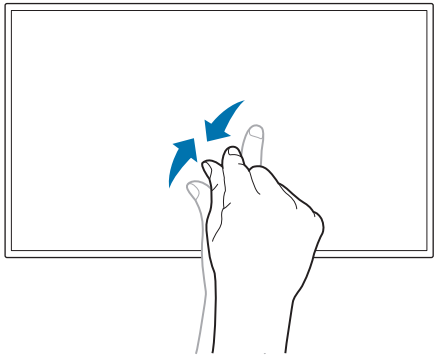
フリック



図のように画面上で指をはじくように動かします。

前または次の画像やウェブページに移動するときにこのジェスチャーを使用します。

拡大/縮小



図のように画面上で指を広げたり閉じたりします。

ウェブページ、マップまたは写真を拡大または縮小するときにこのジェスチャーを使用します。

注記

- タッチ入力の精度を上げるには、フォントまたはアイコンを拡大します。
- タッチスクリーン操作モードで正確なクリックや入力が必要な場合はリモコンを使用することをお勧めします。

第 4 章
入力信号デバイスの接続と使用

接続の前に

接続前のチェックポイント

- 接続するソース機器のユーザー ガイドを参照してください。
  ソース機器の利用可能なポートの数や場所は、モデルによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。
  接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。
- HDMIケーブルの接続には、認証ケーブルを使用することをお勧めします。

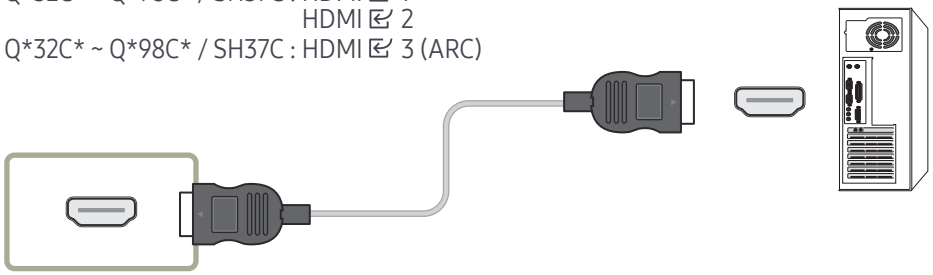
PC との接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
  ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- 本製品には、PC を複数の方法で接続することができます。
  お使いの PC に適した接続方法を選んでください。

HDMI ケーブルを使用した接続

- 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
- ＊: A ~ Z

QB13C / QB24C / QB13C-T / QB24C-T : HDMI
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 1
HDMI 2
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 3 (ARC)



HDMI-DVI ケーブルを使用した接続

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

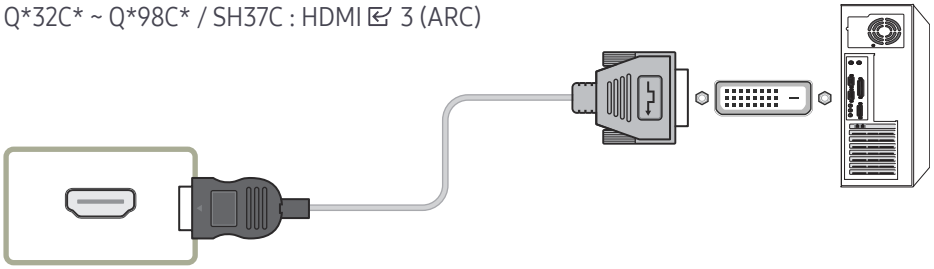
オーディオは、オーディオ入力ポートに対応しているモデルでのみ利用できます。

本製品とコンピュータを HDMI-DVI ケーブルで接続した場合、コンピュータからのビデオと音声を有効にするには、以下のように設定を行ってください。

- **設定** → **サウンド** → **HDMI サウンド** を **PC(DVI)** に設定します。
  - **サウンド**設定は、モデルによってはサポートされない場合があります。
- **設定** → **システム** → **一般情報** → **HDMI ホット プラグ** を **オフ** に設定します。

＊: A ~ Z

QB13C / QB24C / QB13C-T / QB24C-T : HDMI 1
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 1
HDMI 2
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 3 (ARC)



ビデオ機器との接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
  ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- ケーブルを使用して、ビデオ デバイスを本製品に接続することができます。

リモコンの SOURCE ボタンを押して、ソースを変更します。

HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用する

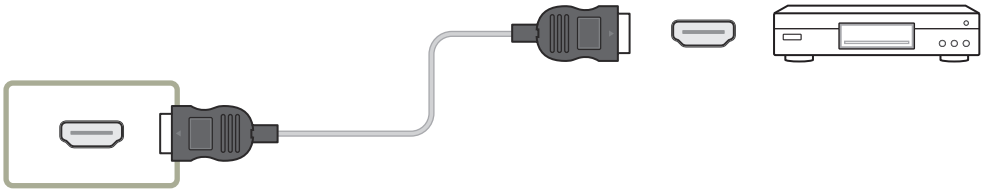
- HDMI ケーブルはデジタル ビデオ信号やデジタル オーディオ信号をサポートします。また、オーディオ ケーブルを必要としません。
- 古いバージョンの HDMI モードを使用する外部機器を製品に接続している場合は、映像が正常に表示されなかったり（または全く表示されない）、音声が機能しないことがあります。このような問題が起きた場合は、外部機器のメーカーに HDMI バージョンについて問い合わせ、バージョンが古い場合は最新のものを要求してください。
- HDMI ケーブルは 14 mm 以下のものを使用してください。
- 認定 HDMI ケーブルを購入してください。認定外の HDMI ケーブルを使用すると、映像が表示されなかったり接続エラーが起こることがあります。
- 標準ハイスピード HDMI ケーブル、またはイーサネット対応 HDMI ケーブルをお勧めします。
  本製品では HDMI を通したイーサネット機能はサポートしていません。

HDMI ケーブルを使用した接続

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

＊: A ~ Z

QB13C / QB24C / QB13C-T / QB24C-T : HDMI
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 1
HDMI 2
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 3 (ARC)



HDMI-DVI ケーブルを使用した接続

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

- 製品が HDMI-DVI ケーブルでビデオ デバイスに接続されている場合、オーディオは有効になりません。これを解決するには、製品とビデオ デバイスのオーディオ ポートにオーディオ ケーブルを追加します。
- 本製品とビデオ デバイスを HDMI-DVI ケーブルで接続した場合、ビデオ デバイスからのビデオと音声を有効にするには、以下のように設定を行ってください。
  DVI-HDMI アダプタを使用すれば、本製品の DVI ポート を HDMI ポートとして使用できます。
  - **設定** → **サウンド** → **HDMI サウンド** を **AV(HDMI)** に設定します。
    - **サウンド**設定は、モデルによってはサポートされない場合があります。
  - **設定** → **システム** → **一般情報** → **HDMI ホット プラグ** を **オン** に設定します。

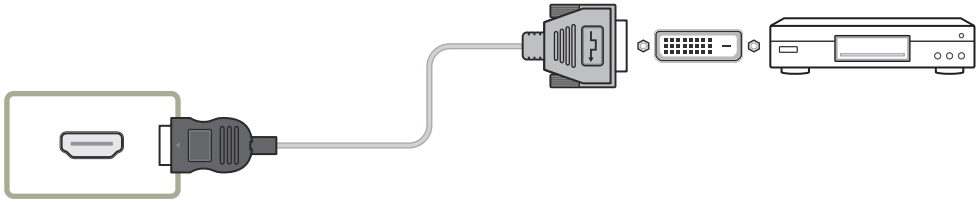
サポートされる解像度には、1080p (50/60Hz)、720p (50/60Hz)、480p および 576p が含まれます。

UHD 対応モデルは UHD 30 Hz まで対応しています。

必ず同じ色のコネクタ同士を接続してください。(白と白、赤と赤など)

＊: A ~ Z

QB13C / QB24C / QB13C-T / QB24C-T : HDMI
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 1
HDMI 2
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 3 (ARC)

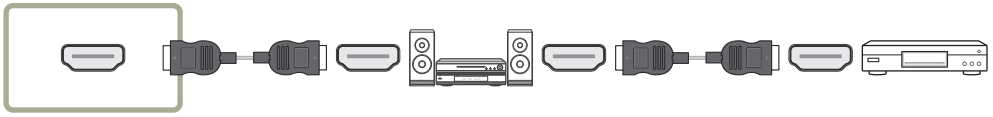


音声システムおよびビデオ デバイスへの HDMI 接続

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
サウンド バー HDMI ポートおよび HDMI-DVI ケーブルを使用して本製品にビデオ デバイスを接続した場合は、以下のように設定を行ってください。
設定 → **システム** → **一般情報** → **HDMI ホット プラグ** を **オフ** に設定します。

＊: A ~ Z

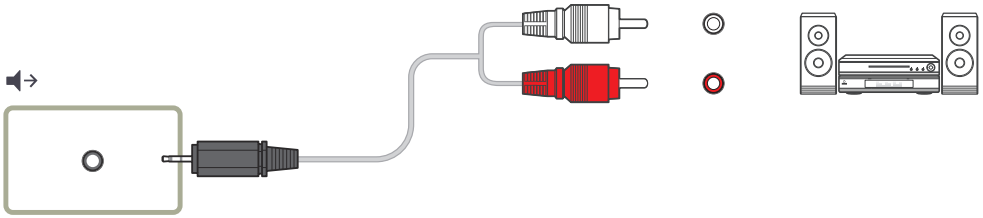
QB13C / QB24C / QB13C-T / QB24C-T : HDMI
Q*32C* ~ Q*98C* / SH37C : HDMI 3 (ARC)



オーディオ システムに接続する

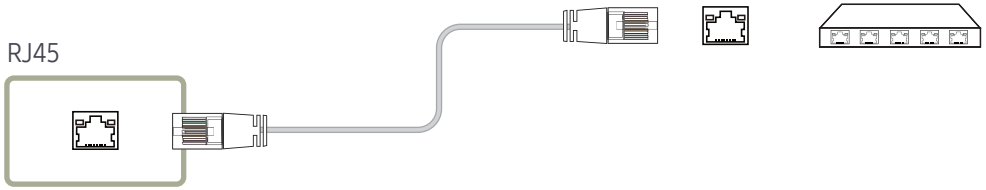
接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

必ず同じ色のコネクタ同士を接続してください。(白と白、赤と赤など)



LAN ケーブルの接続

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

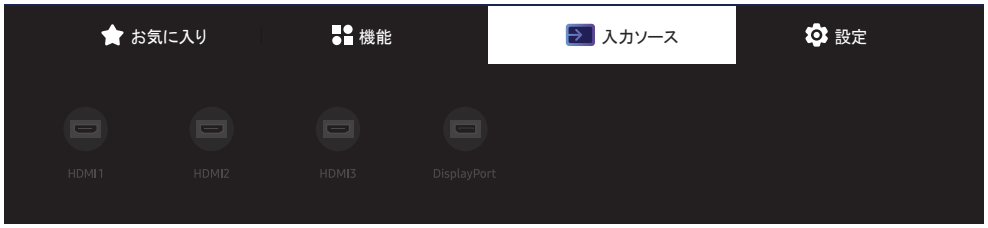


- 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。(100 Mbps)
  *Shielded Twisted Pair

入力ソースを変更する

入力ソース

→ 入力ソース



表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

入力ソース で入力信号を選択して、入力信号デバイス名を変更することができます。

本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。外部入力から入力信号を選択して、選択した入力信号デバイスの画面を表示します。

リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

変換したい入力信号デバイスに誤った入力信号を選択すると、画面に正しく表示されない場合があります。

編集

→ 入力ソース → ▼ → 編集 →

接続された外部機器の名前とタイプを編集します。

- このリストには以下のようなソース機器が表示されます。リストに表示されるソース機器は、選択されたソースによって異なります。
  HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / ディスプレイ ポート / ケーブル ボックス / ゲーム コンソール / PC / Blu-ray プレーヤー / ホーム シアター システム

  使用可能なソース機器は製品により異なる場合があります。

第 5 章
複数のディスプレイの制御

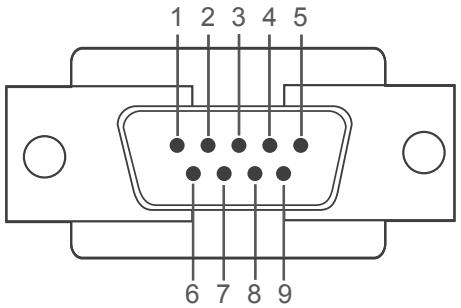
PC に接続されている複数のディスプレイ装置を同時に制御します。

ケーブル接続

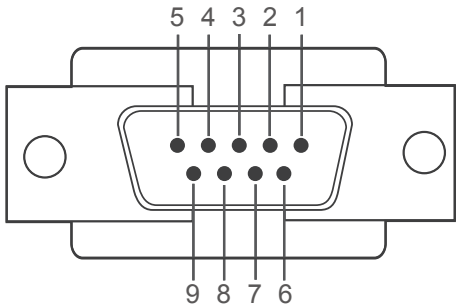
RS232C ケーブル

インターフェイス	RS232C (9 ピン)
ピン	TxD (No.2)、RxD (No.3)、GND (No.5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15 m (シールド タイプのみ)

- ピン配置



<オス型>

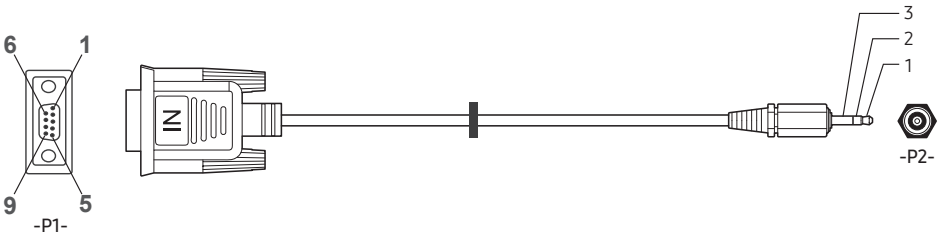


<メス型>

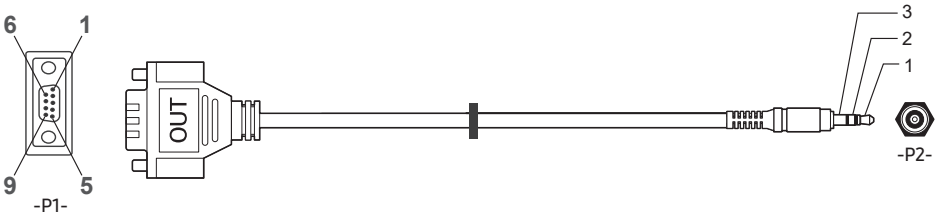
ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	DTR (Data Terminal Ready)
5	信号グラウンド

ピン	信号
6	DSR (Data Set Ready)
7	送信リクエスト
8	送信準備完了
9	リング インジケータ

- RS232C ケーブル
  コネクタ : ステレオ ケーブルを接続する 9 ピン D-Sub



-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
オス型	Rx	2	←→	1	Tx	ステレオ
	Tx	3	←→	2	Rx	プラグ
	Gnd	5	←→	3	Gnd	(3.5ø)

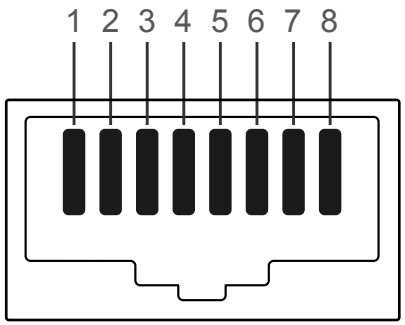


-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
メス型	Rx	3	←→	1	Tx	ステレオ
	Tx	2	←→	2	Rx	プラグ
	Gnd	5	←→	3	Gnd	(3.5ø)

この機能はモデルによって異なる場合があります。

LAN ケーブル

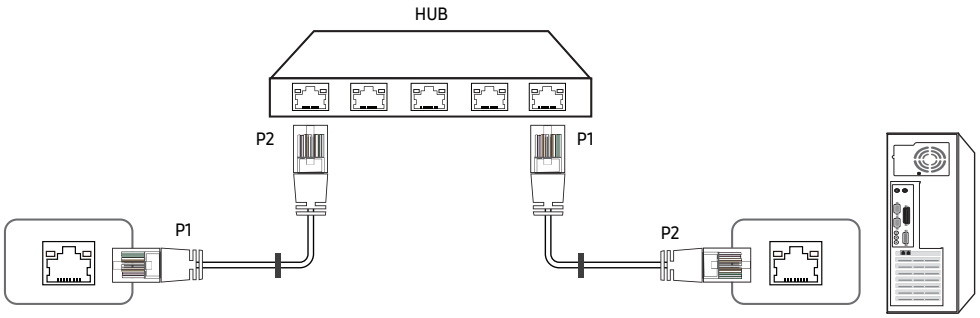
- ピン配置



ピン番号	標準色	信号
1	白色と橙色	TX+
2	橙色	TX-
3	白色と緑色	RX+
4	青色	NC
5	白色と青色	NC
6	緑色	RX-
7	白色と茶色	NC
8	茶色	NC

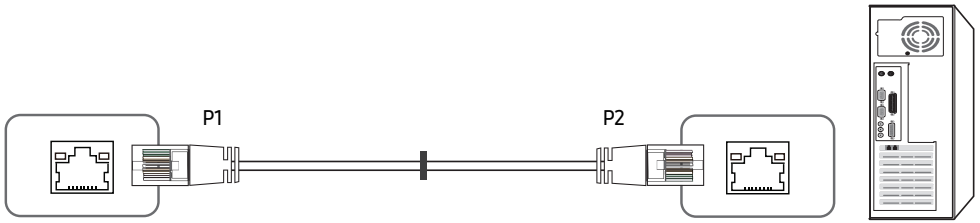
- コネクタ : RJ45

ダイレクト LAN ケーブル（PC から HUB へ）



信号	P1		P2	信号
TX+	1	←→	1	TX+
TX−	2	←→	2	TX−
RX+	3	←→	3	RX+
RX−	6	←→	6	RX−

クロス LAN ケーブル（PC から LFD へ）



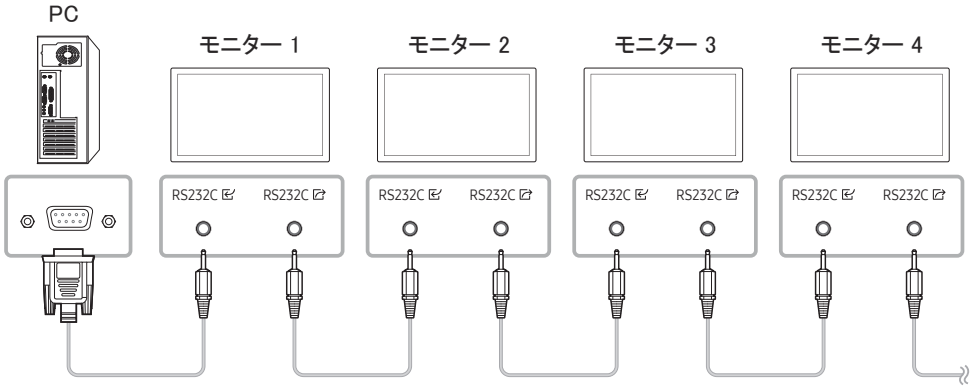
信号	P1		P2	信号
TX+	1	←→	3	RX+
TX−	2	←→	6	RX−
RX+	3	←→	1	TX+
RX−	6	←→	2	TX−

接続

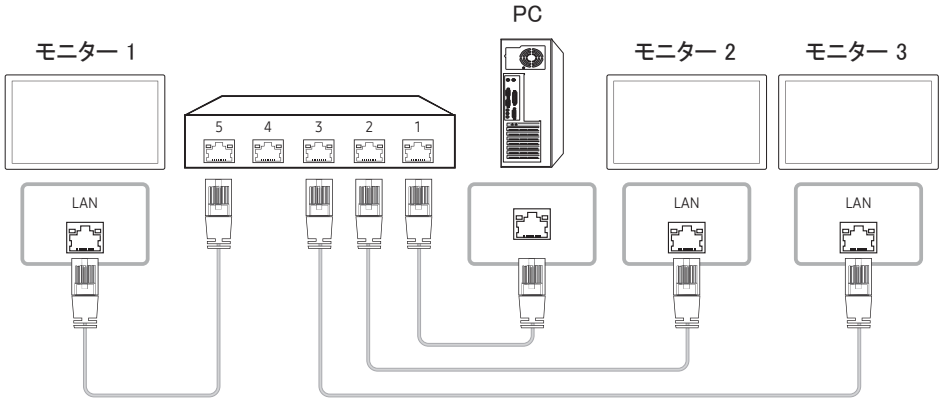
各アダプタを製品の適切な RS232C ⇦ ポートに接続してください。

接続用部品は、モデルによって異なる場合があります。

- 接続 1

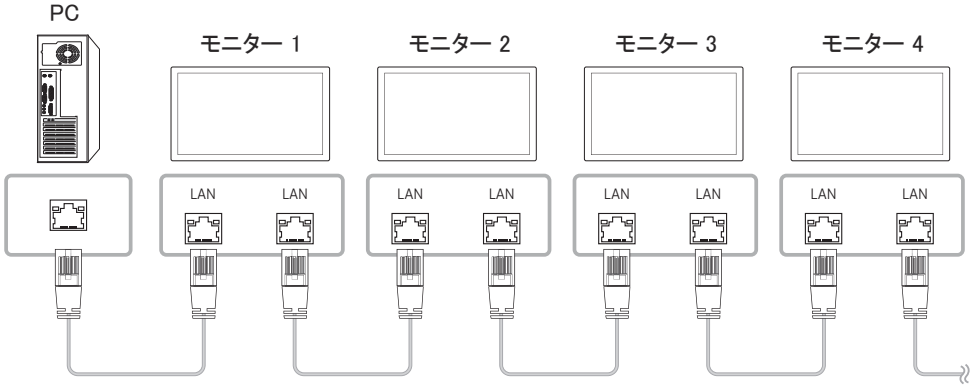


- 接続 2



- 接続 3

このオプションは、LAN ポートを搭載したモデルでのみ利用できます。



制御コード

制御状態の表示（制御コマンド取得）

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		0	

制御（制御コマンドのセット）

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		1	値	

コマンド

番号	コマンド タイプ	コマンド	値の範囲
1	電源制御	0x11	0~1
2	音量制御	0x12	0~100
3	入力信号制御	0x14	–
4	画面サイズ制御	0x19	0~255
5	ビデオ ウォール モード制御	0x5C	0~1
6	安全ロック	0x5D	0~1
7	ビデオ ウォール オン	0x84	0~1
8	ビデオ ウォール ユーザー制御	0x89	–

- 実行されるすべての通信は、16 進数です。チェックサムの計算は、ヘッダを除くすべての値を合計して行います。以下に示すようにチェックサムの合計が 2 桁を超える場合は (11+FF+01+01=112)、最初の桁を消します。

例: 電源 On & ID=0

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	チェックサム
0xAA	0x11		1	″Power″	

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	12
0xAA	0x11		1	1	

- シリアルケーブルで接続されたすべてのデバイスを ID に関わらず同時に制御するには、ID を ″0xFE″ に設定してコマンドを送信します。コマンドはデバイスごとに実行されますが、ACK は返されません。

電源制御

- 機能
  製品の電源オン / オフは、PC を使用して行うことができます。
- 電源状態の表示 (Get Power ON / OFF Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x11		0	

- 電源 オン / オフの設定 (Set Power ON / OFF)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

"Power": 製品に設定する電源コード。

1: 電源オン

0: 電源オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x11	"Power"	

"Power": 製品に設定する電源コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x11	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード。

音量制御

- 機能
  製品の音量は、PC を使用して調整することができます。
- 音量状態の表示 (Get Volume Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x12		0	

- 音量の設定 (Set Volume)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x12		1	"Volume"	

"Volume": 製品に設定する音量値コード。(0-100)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x12	"Volume"	

"Volume": 製品に設定する音量値コード。(0-100)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x12	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード。

入力信号制御

- 機能
  製品の入力ソースは、PC を使用して変更することができます。
- 入力信号状態の表示 (Get Input Source Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x14		0	

- 入力信号の設定 (Set Input Source)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x14		1	"Input Source"	

"Input Source": 製品に設定する入力ソース コード。

0x18	DVI
0x0C	入力信号
0x20	MagicInfo
0x1F	DVI_video
0x21	HDMI1
0x22	HDMI1_PC
0x23	HDMI2
0x24	HDMI2_PC
0x25	DisplayPort

DVI_video、HDMI1_PC および HDMI2_PC は、Set コマンドと共に使用できません。これらの入力信号は、"Get" コマンドにのみ応答します。

MagicInfo は、MagicInfo 機能を備えるモデルでのみ使用することができます。

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x14	"Input Source"	

"Input Source": 製品に設定する入力ソース コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x14	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード。

画面サイズ制御

- 機能
  製品の画面サイズは、PC を使用して変更することができます。
- 画面サイズの表示 (Get Screen Size Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x19		0	

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x19	"Screen Size"	

「Screen Size" : 製品の画面サイズ (範囲: 0 – 255、単位 : インチ)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x19	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

画面分割モード制御

- 機能
  画像分割 モードは、PC を使用して製品上で有効にすることができます。
  この制御は、**画像分割** が有効になっている製品でのみ使用できます。
- 画面分割モードの表示 (Get Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5C		0	

- 画面分割の設定 (Set Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5C		1	"Video Wall Mode"	

"Video Wall Mode": Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード

1: **フル**

0: **ナチュラルモード**

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5C	"Video Wall Mode"	

"Video Wall Mode": Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5C	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

安全ロック

- 機能
  PC を使用して、製品の **安全ロックをオン** 機能のオン/オフを切り替えることができます。
  この制御は、電源のオン、オフに関わらずいつでも使用することができます。
- 安全ロック状態の表示 (Get Safety Lock Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5D		0	

- 安全ロックの有効化または無効化 (Set Safety Lock Enable / Disable)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5D		1	"Safety Lock"	

"Safety Lock": 製品に設定する安全ロック コード

1:オン

0:オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5D	"Safety Lock"	

"Safety Lock": 製品に設定する安全ロック コード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x5D	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

ビデオ ウォール オン

- 機能
  PC を使用して製品のビデオ ウォール機能のオン/オフを切り替えます。
  この制御は、**画像分割** が有効になっている製品でのみ使用できます。
- ビデオ ウォールのオン/オフ状態の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x84		0	

- ビデオ ウォールのオン/オフの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x84		1	V.Wall_On	

- V.Wall_On: 製品に設定するビデオ ウォール コード

1: ビデオ ウォール オン

0: ビデオ ウォール オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x84	V.Wall_On	

V.Wall_On : 同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x84	ERR	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

ビデオ ウォール ユーザー制御

- 機能
  PC を使用して製品のビデオ ウォール機能のオン/オフを切り替えます。
  この制御は、**画像分割** が有効になっている製品でのみ使用できます。
- ビデオ ウォールの状態の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x89		0	

- ビデオ ウォールの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	値1	値2	チェックサム
0xAA	0x89		2	Wall_Div	Wall_SNo	

Wall_SNo: 製品に設定されている製品番号コード

10x10 ビデオ ウォール モデル : (1 ~ 100)	
設定番号	データ
1	0x01
2	0x02
...	...
99	0x63
100	0x64

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	値2	チェックサム
0xAA	0xFF		4	'A'	0x89	Wall_Div	Wall_SNo	

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x89	ERR	

"ERR": 発生したエラーを示すコード。

Wall_Div: 製品に設定されているビデオ ウォールの分割コード

10x10 ビデオ ウォール モデル															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
オフ	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00
1	0x11	0x12	0x13	0x14	0x15	0x16	0x17	0x18	0x19	0x1A	0x1B	0x1C	0x1D	0x1E	0x1F
2	0x21	0x22	0x23	0x24	0x25	0x26	0x27	0x28	0x29	0x2A	0x2B	0x2C	0x2D	0x2E	0x2F
3	0x31	0x32	0x33	0x34	0x35	0x36	0x37	0x38	0x39	0x3A	0x3B	0x3C	0x3D	0x3E	0x3F
4	0x41	0x42	0x43	0x44	0x45	0x46	0x47	0x48	0x49	0x4A	0x4B	0x4C	0x4D	0x4E	0x4F
5	0x51	0x52	0x53	0x54	0x55	0x56	0x57	0x58	0x59	0x5A	0x5B	0x5C	0x5D	0x5E	0x5F
6	0x61	0x62	0x63	0x64	0x65	0x66	0x67	0x68	0x69	0x6A	0x6B	0x6C	0x6D	0x6E	0x6F
7	0x71	0x72	0x73	0x74	0x75	0x76	0x77	0x78	0x79	0x7A	0x7B	0x7C	0x7D	0x7E	N/A
8	0x81	0x82	0x83	0x84	0x85	0x86	0x87	0x88	0x89	0x8A	0x8B	0x8C	N/A	N/A	N/A
9	0x91	0x92	0x93	0x94	0x95	0x96	0x97	0x98	0x99	0x9A	0x9B	N/A	N/A	N/A	N/A
10	0xA1	0xA2	0xA3	0xA4	0xA5	0xA6	0xA7	0xA8	0xA9	0xAA	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
11	0xB1	0xB2	0xB3	0xB4	0xB5	0xB6	0xB7	0xB8	0xB9	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
12	0xC1	0xC2	0xC3	0xC4	0xC5	0xC6	0xC7	0xC8	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
13	0xD1	0xD2	0xD3	0xD4	0xD5	0xD6	0xD7	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
14	0xE1	0xE2	0xE3	0xE4	0xE5	0xE6	0xE7	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
15	0xF1	0xF2	0xF3	0xF4	0xF5	0xF6	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

MDC の使用

MDC (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

MDC プログラムの使用方法の詳細については、プログラムのインストール後、ヘルプを参照してください。MDC プログラムは Web サイトからダウンロードできます。(http://www.samsung.com/business)

- 画面左上の On または Off ボタンを押した場合、製品のステータス チェックには 1 分ほどかかります。他のコマンドを実行するには、1 分経ってからお試しください。
- 複数の機器を接続して複数のディスプレイを制御する方法についての詳細は、53 ページを参照してください。

MDC プログラムのインストール / アンインストール

- インストールおよびアンインストール手順は、OS によって異なる場合があります。

設置の際の注意事項

- MDC のインストールは、グラフィック カード、マザー ボードおよびネットワークの状態によって異なります。

1 MDC Unified のインストール プログラムをクリックします。

2 [Next]をクリックします。

3 [Welcome to the InstallShield Wizard for MDC_Unified] 画面が表示された場合は、[Next] をクリックします。

4 表示される [License Agreement] ウィンドウで、[I accept the terms in the license agreement] を選択して [Next] をクリックします。

5 表示される [Customer Information] ウィンドウで、すべての情報フィールドに入力して [Next] をクリックします。

6 表示される [Destination Folder] ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを選択してから [Next] をクリックします。

- ディレクトリ パスを指定しない場合には、プログラムはデフォルトのディレクトリ パスにインストールされます。

7 表示される [Ready to Install the Program] ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを確認してから [Install] をクリックします。

8 インストールの進捗状況が表示されます。

9 表示される [InstallShield Wizard Complete] ウィンドウで [Finish] をクリックします。

- [Launch the program] を選択して [Finish] をクリックすると、MDC プログラムが直ちに実行されます。

10 インストール後には、デスクトップ上に [MDC Unified] ショートカット アイコンが作成されます。

- MDC の実行アイコンは、PC システムや製品の仕様によって表示されないことがあります。
- 実行アイコンが表示されない場合には、F5 を押してください。

アンインストール

1 [**スタート**] メニューの [**設定**] → [**コントロール パネル**] を選択して、[**プログラムの追加と削除**] をダブルクリックします。

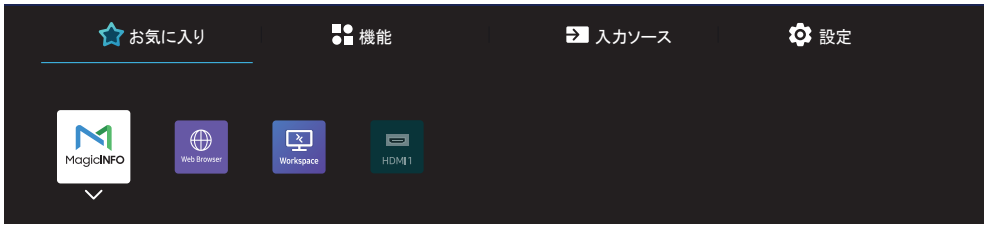
2 リストから [MDC Unified] を選択して、[**変更/削除R**] をクリックします。

第 6 章
ホーム画面

リモコンの ⌂ ボタンを使ってアクセスします。

お気に入り

⌂ → **お気に入り**



表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

よく使用する機能を **入力ソース** または **機能** から **お気に入り** に追加します。

▼ を押して**お気に入り に追加**を選択し、⏎ を押します。

お気に入り で項目を削除するか順番を変更します。

▼ を押して **移動** または **削除** を選択し、⏎ を押します。**移動** を選択した場合は、項目を左右に移動できます。

機能

⌂ → **機能**

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

各種機能を利用できます。

よく使用する機能を **お気に入り** に追加します。

▼ を押して**お気に入り に追加**を選択し、⏎ を押します。

各アプリのオプションを設定することもできます。

MagicInfo

⌂ → **機能** → MagicInfo → ⇦

スケジュール付きのチャンネル、テンプレート、ファイルなどのさまざまなコンテンツを再生します。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

この機能を使用する前に、必ず **現在時刻設定** を設定してください。

番号	説明
1	内部メモリまたは外部メモリを選択します。
2	サーバー上で設定されているコンテンツ、テンプレート、およびスケジュールを再生します。 • サーバーと接続しているか（承認されているか）は、**プレーヤー** 画面で確認できます。ネットワーク チャンネルの実行中にサーバーとの接続を確認するには、リモコンの INFO を押します。 1 **プレーヤー** 画面の **ネットワーク チャンネル** を選択します。**ネットワーク チャンネル** に登録されているチャンネルがない場合は、**チャンネルがありません。** というメッセージが表示されます。 2 **ネットワーク チャンネル** が起動します。
3	サーバー上に保存されているコンテンツを再生します。
4	内部メモリをの **マイ テンプレート** フォルダに保存されているテンプレートを再生します。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
5	目的のコンテンツ リストを検索するための条件となるコンテンツ タイプを選択します。
6	別の **プレーヤー** オプションを設定します。

コンテンツの表示

1 内部メモリまたは外部メモリを選択します。選択したメモリに保存されているファイルが表示されます。

2 目的のファイルを選択します。コンテンツが画面に表示されます。（互換性があるファイル形式の詳細については、「プレイヤーと互換性のあるファイル形式」のセクションをお読みください。）

コンテンツ実行時

リモコンの操作ボタン

リモコンのボタンを押すと、プレイリストのコンテンツを再生、一時停止、またはスキップできます。

ボタン	機能
TOOLS	メニュー バーを表示します。
INFO	コンテンツの一般情報を表示します。
▶	次のファイルまたはページに移動します。
◀	前のファイルまたはページに移動します。
⏎ / ▶ / ⏸	スライド ショーまたはビデオ コンテンツを再生または停止します。
■	コンテンツの表示を停止し、**プレーヤー** 画面に移動します。
◀◀	ビデオ コンテンツの巻き戻しを行います。
▶▶	ビデオ コンテンツの早送りを行います。

- Internal Memory または USB に画像ファイルが 1 つしかない場合、スライド ショーは再生されません。
- USB 内のフォルダ名が長すぎる場合、フォルダを選択できません。
- **コンテンツの向き** の**ポートレイト** オプションは、解像度が 3840 × 2160 を超えるコンテンツには使用できません。
- 解像度が 3840 × 2160 を超えるビデオの **コンテンツ サイズ** は、**全画面** のみをサポートします。

利用可能なメニュー

設定を変更するには、コンテンツの再生中にリモコンの TOOLS ボタンを押します。

メニュー	説明
再生リスト	現在再生中のコンテンツ項目のリストを表示します。
Web 要素のズーム	50 / 100 / 200 / 300
サウンド モード	再生中のコンテンツの音声設定をカスタマイズします。
すべてリピート / **1 曲をリピート**	繰り返しモードを設定します。
BGM	コンテンツの再生中に流す BGM を設定します。
リセット	BGM をリセットします。
一時停止	BGM を一時停止します。
前へ	リスト内の前の BGM を再生します。
次へ	リスト内の次の BGM を再生します。

- **リセット**、**一時停止**、**前へ**、**次へ** は BGM が設定されている場合にのみ表示されます。
- この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

プレーヤー と互換性のあるファイル形式

- サポートされるファイル システムには FAT32 および NTFS があります。
- 垂直および水平解像度が最大解像度を超えているファイルは再生できません。ファイルの垂直および水平解像度を確認してください。
- サポートされているビデオおよびオーディオ コーデックの種類とバージョンを確認してください。
- サポートされているファイルのバージョンを確認してください。
  - PowerPoint は、バージョン 97 から 2013 をサポートしています

USB と **内部メモリ** 間でファイルを転送するには、**オプション** → **送信** をクリックします。**OK** メッセージが表示されるまで、50 秒ほどお待ちください。

- テンプレート ファイルの場所
  - **内部メモリ** → USB転送 : USB → MagicinfoSlide フォルダの配下
  - USB → **内部メモリ** 転送 : **内部メモリ** → マイ テンプレート フォルダの配下
- その他のファイルの場所 (テンプレート以外)
  - **内部メモリ** → USB転送 : USB → MagicinfoSlide フォルダの配下
  - USB → **内部メモリ** 転送 : ルート フォルダの配下

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

ネットワーク スケジュール マルチフレーム

再生の制限事項

- FHD 動画ファイルは 1 ～ 3 つを同時に再生できます。また、UHD 動画ファイルおよび FHD 動画ファイルは同時に 1 つのみ再生可能です。縦再生モードでは、FHD 動画ファイルを 3 つ同時に再生できます。また、UHD 動画ファイルは同時に 1 つのみ再生可能です。
- **Microsoft Office** ファイル (PPT および Word ファイル) と **PDF** ファイルの場合、同時に使用できるファイル タイプは 1 つのみです。
- LFD(*.LFD)ファイルはサポートされていません。
- 解像度が 3840 × 2160 を超えるコンテンツはサポートされません。

音声出力の制限事項

- 複数の音声出力を使用することはできません。
- 再生の優先順位: ネットワーク BGM → ローカル BGM → ユーザーが選択したメイン フレームのビデオ ファイル
  - ネットワーク BGM: この設定は、サーバー スケジュール作成時に行うことができます。
  - ローカル BGM: BGM 設定は、**プレーヤー** 再生中に TOOLS ボタンを押すと表示されるツールを使って行います。
  - ユーザーが選択したメイン フレーム: メイン フレーム設定は、サーバー スケジュール作成時に行うことができます。

テンプレート ファイル(*.LFD)

制限事項

- USB 記憶装置にContentsおよびSchedules フォルダが発行されていることを確認します。
  - 適切に発行されたコンテンツは、USB デバイスに Published Content として表示されます。
  - USB デバイスに発行したコンテンツ (Published Content) を **内部メモリ** にコピーする場合、**内部メモリ** には Published Content のコンテンツのみ表示されます。Contents および Schedules フォルダは、**内部メモリ** の配下には表示されません。

再生の制限事項

- 最大で 2 つのビデオ (**ビデオ**) ファイルを再生できます。
- **Microsoft Office** ファイル (PPT および Word ファイル) と **PDF** ファイルの場合、同時に使用できるファイル タイプは 1 つのみです。
- 複数の動画ファイルを同時に再生する場合、表示エリアがお互いに重なっていないか確認してください。

音声出力の制限事項

- 複数の音声出力を使用することはできません。
- 再生の優先順位: ネットワーク BGM → ローカル BGM → ユーザーが選択したメイン フレームのビデオ ファイル

サポートされるビデオ コーデック（QHC / QMC モデル）

<table>
<tr><th>ファイル形式</th><th>コンテナ</th><th>ビデオ コーデック</th><th>解像度</th><th>フレーム レート
(fps)</th><th>ビット レート
(Mbps)</th><th>オーディオ コーデック</th></tr>
<tr><td rowspan="15">*.avi
*.mkv
*.asf
*.wmv
*.mp4
*.mov
*.3gp
*.vro
*.mpg
*.mpeg
*.ts
*.tp
*.trp
*.flv
*.vob
*.svi
*.m2ts
*.mts</td><td rowspan="15">AVI
MKV
ASF
MP4
3GP
MOV
FLV
VRO
VOB
PS
TS</td><td rowspan="2">H.264 BP/MP/HP</td><td>3840 x 2160</td><td>60</td><td rowspan="2">80</td><td rowspan="15">Dolby Digital
LPCM
ADPCM(IMA, MS)
AAC
HE-AAC
WMA
Dolby Digital+
MPEG(MP3)
MPEG-H
AC-4
OPUS
G.711(A-Law, μ-Law)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080</td><td rowspan="2">120</td></tr>
<tr><td>HEVC (H.265 - Main)</td><td rowspan="2">3840 x 2160</td><td>100</td></tr>
<tr><td>Motion JPEG</td><td>30</td><td>30</td></tr>
<tr><td>MPEG-4 SP/ASP</td><td rowspan="8">1920 x 1080</td><td rowspan="4">120</td><td rowspan="3">70</td></tr>
<tr><td>Windows Media Video 9 (VC-1)</td></tr>
<tr><td>MPEG-2</td></tr>
<tr><td>MPEG-1</td><td>60</td></tr>
<tr><td>Microsoft MPEG-4 version 1/2/3</td><td rowspan="4">30</td><td rowspan="4">20</td></tr>
<tr><td>Windows Media Video 7 (WMV1) / Video 8 (WMV2)</td></tr>
<tr><td>H.263 Sorenson</td></tr>
<tr><td>VP6</td></tr>
<tr><td>AV1</td><td rowspan="2">3840 x 2160</td><td>120</td><td rowspan="3">80</td></tr>
<tr><td rowspan="4">*.webm</td><td rowspan="4">WebM</td><td rowspan="2">VP9 (Profile 0/2)</td><td>60</td><td rowspan="4">Vorbis</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1920 x 1080</td><td>120</td></tr>
<tr><td>VP8</td><td>60</td><td>70</td></tr>
<tr><td>AV1</td><td>3840 x 2160</td><td>120</td><td>80</td></tr>
<tr><td>*.rmvb</td><td>RMVB</td><td>RV8/9/10 (RV30/40)</td><td>1920 x 1080</td><td>60</td><td>70</td><td>RealAudio 6</td></tr>
</table>

サポートされるビデオ コーデック（QBC / QBC-T / QM32C / SHC モデル）

<table>
<tr><th>ファイル形式</th><th>コンテナ</th><th>ビデオ コーデック</th><th>解像度</th><th>フレーム レート
(fps)</th><th>ビット レート
(Mbps)</th><th>オーディオ コーデック</th></tr>
<tr><td rowspan="10">*.avi
*.mkv
*.asf
*.wmv
*.mp4
*.mov
*.3gp
*.vro
*.mpg
*.mpeg
*.ts
*.tp
*.trp
*.flv
*.vob
*.svi
*.m2ts
*.mts</td><td rowspan="10">AVI
MKV
ASF
MP4
3GP
MOV
FLV
VRO
VOB
PS
TS</td><td>H.264 BP/MP/HP</td><td>3840 x 2160</td><td>30</td><td>80</td><td rowspan="10">Dolby Digital
LPCM
ADPCM(IMA, MS)
AAC
HE-AAC
WMA
Dolby Digital+
MPEG(MP3)
MPEG-H
AC-4
OPUS
G.711(A-Law, μ-Law)</td></tr>
<tr><td>HEVC (H.265 - Main, Main10)</td><td>3840 x 2160</td><td rowspan="2">60</td><td>100</td></tr>
<tr><td>Motion JPEG</td><td rowspan="6">1920 x 1080</td><td>30</td></tr>
<tr><td>MPEG-4 SP/ASP</td><td rowspan="6">120</td><td>70</td></tr>
<tr><td>Windows Media Video 9 (VC-1)</td><td>70</td></tr>
<tr><td>MPEG-2</td><td>70</td></tr>
<tr><td>MPEG-1</td><td>60</td></tr>
<tr><td>H.263 Sorenson</td><td>70</td></tr>
<tr><td>AV1</td><td rowspan="2">3840 x 2160</td><td rowspan="2">60</td><td>40</td></tr>
<tr><td rowspan="3">*.webm</td><td rowspan="3">WebM</td><td>VP9 (Profile 0/2)</td><td>80</td><td rowspan="3">Vorbis</td></tr>
<tr><td>VP8</td><td>1920 x 1080</td><td>120</td><td>70</td></tr>
<tr><td>AV1</td><td>3840 x 2160</td><td>60</td><td>40</td></tr>
<tr><td>*.rmvb</td><td>RMVB</td><td>RV8/9/10 (RV30/40)</td><td>1920 x 1080</td><td>120</td><td>70</td><td>RealAudio 6</td></tr>
</table>

その他の制限事項

- コンテンツに問題があると、コーデックが正しく機能しないことがあります。
- コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。
- TVの対応レーティングを超える標準のビットレート / フレーム レートを使用している場合、サウンドまたは動画が動作しないことがあります。
- インデックス テーブルにエラーがある場合、シーク(ジャンプ)機能は動作しません。
- ネットワーク接続を通じて動画を再生する場合、データ転送速度により動画がなめらかに再生されないことがあります。
- USB / デジタル カメラ デバイスによっては、TV に対応していないものがあります。
- HEVC コーデックは MKV / MP4 / TS コンテナでのみ使用できます。
- MVC コーデックは部分的にサポートされます。

ビデオ デコーダ

- H.264 UHD は レベル 5.1まで、H.264 FHD はレベル 4.2 まで対応しています(テレビは FMO / ASO / RS に対応していません)。
- HEVC UHD はレベル 5.2 まで、HEVC FHD はレベル 4.1 まで対応します。
- HEVC 8K はレベル 6.1 まで対応します。
- VC1 AP L4 には対応していません。
- GMC 2 以上には対応していません。
- 1 つのビデオ ファイルを再生中の場合は、以下の条件ではシームレス モードはサポートされません。
  - 互換性のないコーデック (MVC、VP3、MJPEG) ↔ 互換性のないコーデック
  - 互換性のないコーデック ↔ 互換性のあるコーデック
  - 解像度がモニターの解像度と異なります。
  - 周波数がモニターの周波数と異なります。

オーディオ デコーダ

- WMA は最大 10 Pro 5.1 チャンネル、M2 プロファイルに対応しています。
- WMA1、WMA Lossless / 音声には対応していません。
- QCELP、AMR NB/WB には対応していません。
- Vorbis は最大 5.1 チャンネルに対応しています。
- Dolby Digital+ は最大 5.1 チャンネルに対応しています。
- 対応サンプル レートは、8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、および 48 kHz で、コーデックによって異なります。

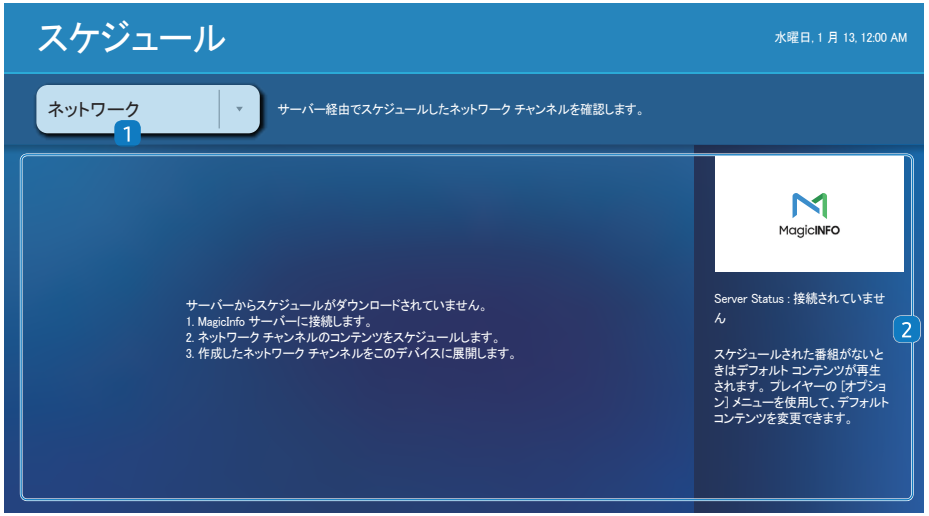
画像

- 互換性がある画像ファイル形式:JPEG、PNG、BMP
  - 32 ビット、24 ビットおよび 8 ビットの BMP ファイルを使用できます。
- サポートされている最大解像度:7680 x 4320(JPEG)、4096 x 4096(PNG, BMP)
  - 1 つの LFD ファイルで 10 ファイルを再生時 – 5120 × 5120
- 対応最大ファイル サイズ:20MB
- サポートされる **スライドショー効果**:9 のエフェクト
  (**フェード 1**、**フェード 2**、**ブラインド**、**スパイラル**、**チェッカー**、**リニア**、**ストリップ**、**ワイプ**、**ランダム**)

Power Point	PDF	WORD
• 互換性がある文書ファイル形式 – 拡張子 : ppt, pptx, pps, ppsx – バージョン : Office 97 ~ Office 2019 • サポートされていない機能 – アニメーション効果 – 3D オブジェクト（2D で表示されます） – ヘッダーおよびフッター（一部のサブ項目はサポートされていません） – Word Art – アライメント グループ アライメント エラーが発生することがあります – Office 2007 SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。 – オブジェクト挿入 – 半角文字 – 文字間隔 – チャート – 縦書き 一部のサブ項目はサポートされていません。	• 互換性がある文書ファイル形式 – 拡張子 : pdf • サポートされていない機能 – 1 ピクセル未満のコンテンツは、パフォーマンス低下問題の原因となるためサポートされません。 – マスク イメージおよびタイル イメージのコンテンツは、シェーディング パターン デバイスの性能に応じて限定的にサポートされています。 – 3D Shadow Effect はサポートされません。 – 一部の文字はサポートされません （特殊文字は正しく表示されないことがあります）	• 互換性がある文書ファイル形式 – 拡張子 : .doc, .docx – バージョン : Office 97 ~ Office 2019 • サポートされていない機能 – ページの背景効果 – 一部の段落スタイル – Word Art – アライメント グループ アライメント エラーが発生することがあります – 3D オブジェクト（2D で表示されます） – Office 2007 SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。 – チャート – 半角文字 – 文字間隔 – 縦書き 一部のサブ項目はサポートされていません。

Schedule

⌂ → **機能** → Schedule → ⏎



表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

選択した記憶装置からインポートされるスケジュールを確認できます。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

番号	説明
1	スケジュールの保存場所を選択します。
2	コンテンツの再生スケジュールを作成/編集/削除/表示します。

Web browser

⌂ → **機能** → Web browser → ⏎

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ネットワークに接続すると、コンピュータからインターネットにアクセスする場合と同様に、製品からインターネットにアクセスできます。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

設定

⌂ → **機能** → Web Browser → ▼ → **設定** → ⏎

更新間隔

Web ブラウザーの表示がホーム ページに戻るまでの時間を設定します。

- **オフ** / **5 分** / **10 分** / **15 分** / **30 分**

ズーム

Web ブラウザーの表示内容更新時に適用するズーム スケールを設定します。

- **50%** / **75%** / **100%** / **125%** / **150%** / **200%** / **300%**

ホーム ページ

Web ブラウザーの表示内容更新時に表示する Web サイトを設定します。

- **Samsung ディスプレイ** / **カスタム**

カスタム

ホーム ページとして設定する URL を入力します。

- **URL を入力してください**

ホーム ページ が **カスタム** に設定されている場合にのみ使用できます。

詳細設定

一般情報	
タブとツールバーの自動非表示	ブラウザのタブ、メニューまたはツールバーはしばらく使用しなかった場合、自動的に消えます。それらをもう一度表示するには、ポインターを動かすか画面上部を選択します。 • 使用する / 使用しない
タッチ モードでカーソルを非表示	タッチ操作の邪魔にならないように、カーソルを非表示にします。 • 使用する / 使用しない
ポップアップ ブロッカー	ポップアップ ウィンドウをブロックして、ブラウジングをより快適にします。 • 使用する / 使用しない
プロキシ サーバー	Web Browser のプロキシ サーバーを構成します。 • 使用する / 使用しない
リセット設定	カスタマイズしたすべての Web ブラウザーの設定をデフォルト値にリセットします。履歴は影響を受けません。

検索エンジン
URL/キーワード入力フィールドにキーワードを入力すると、Web ブラウザーの検索結果ページが表示されます。使用する検索エンジンを選択します。 • Google / Bing

プライバシー & セキュリティ	
追跡の拒否	閲覧者を追跡しないよう Web サイトに要請します。 • 使用する / 使用しない
履歴の削除	すべての閲覧履歴を削除します。
JavaScript	すべてのサイトで JavaScript を実行可能にし、より快適なブラウジングを実現します。 • 使用する / 使用しない
閲覧データの削除	クッキー、キャッシュされた画像およびデータなど、すべての閲覧データを削除します。履歴は影響を受けません。
サードパーティのクッキーのブロック	サードパーティの Web サイトでクッキー データの保存と読み取りが行われないようにブロックします。一部のサイトで機能が動作しないことがあります。 • 使用する / 使用しない

エンコード	
エンコード	Web ページのエンコード方式を選択します。現在の設定は「自動」です。 • 自動 / 手動 (現在 : Unicode)

情報
Web ブラウザの現在のバージョンを表示します。

Web Browser機能を使用する前にお読みください

Web Browser機能を使用する前に、以下の情報をお読みください。

- ファイルのダウンロードはサポートされていません。
- Web Browser機能では、特定の企業が運営するWebサイトを含む、特定のWebサイトにアクセスできない場合があります。
- 本製品では、Flashビデオの再生はできません。
- オンライン購入のEコマースはサポートされていません。
- ActiveXはサポートされていません。
- サポートされているフォントの数は限られています。記号や文字によっては、正しく表示されない場合があります。
- Webページの読み込み中は、リモートコマンドへの応答とその結果としての画面表示が遅れることがあります。
- 対象システムの状態によっては、Webページの読み込みが遅延したり、完全に中断したりすることがあります。
- コピーおよび貼り付け操作はサポートされていません。
- メールや簡易メールを作成するときは、フォントサイズや色の選択などの特定の機能が利用できない場合があります。
- 保存できるログファイルのサイズには制限があります。
- 同時に開くことができるウィンドウの数には制限があります。
- Webの閲覧速度は、ネットワーク環境によって異なります。
- 閲覧履歴は最新のものから順に保存され、古いものから順に上書きされます。
- サポートされているビデオ/オーディオコーデックのタイプによっては、特定のHTML5ビデオおよびオーディオファイルを再生できない場合があります。
- PCに最適化されたストリーミングサービスプロバイダーのビデオソースは、当社独自のWeb Browserブラウザで正しく再生されない場合があります。

Custom Home

⌂ → **機能** → Custom Home → ⇦

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

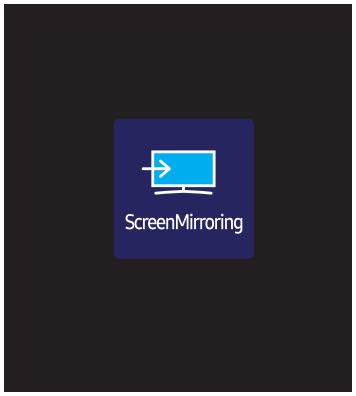
6 桁の PIN 番号を入力します。PIN 番号を変更するには、**PIN の変更** 機能を使用します。

Custom Home モードで実行する項目を選択します。Home キーを押すと、この画面に戻ります。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

Screen Mirroring

⌂ → **機能** → Screen Mirroring → ⇦



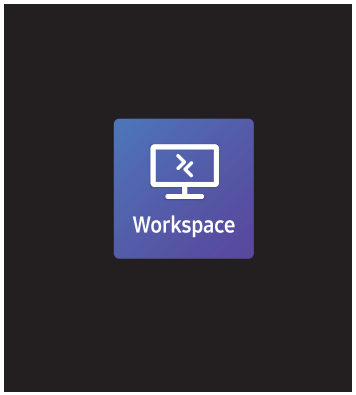
表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画面上に表示される手順に従って、PC 設定を調整し、製品を PC にワイヤレス接続します。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

Workspace

⌂ → **機能** → Workspace → ⇦



表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

製品がネットワークに接続されていることを確認します。

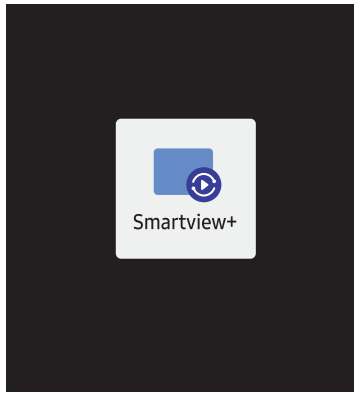
この機能を開始する前に、必ずキーボードとマウスを接続してください。

この機能でリモート PC と作業リソースにアクセスします。

- **Window PC**
  リモート PC: この機能により、製品をリモート PC またはクラウド サーバーに接続することができます。
  画面共有: お使いの Windows PC の画面を、お持ちのデバイスに共有します。
  Mac OS/Windows 7 Pro 以降で動作する PC またはクラウド サーバーのみがサポートされています。
- **Mac**
  リモートログイン: リモートログインで Mac に接続。
- **Samsung DeX**: お使いのデバイスから Samsung のモバイル デバイスに接続します。
- **Microsoft 365**: Microsoft 365 のオンライン版とのコラボレーションが可能です。
- **VMware Horizon**: Horizon アカウントで VMware インフラストラクチャを運用している会社に対して、**VMware Horizon** へのアクセスを提供します。

SMARTVIEW+

⌂ → **機能** → SMARTVIEW+ → ⇦



表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

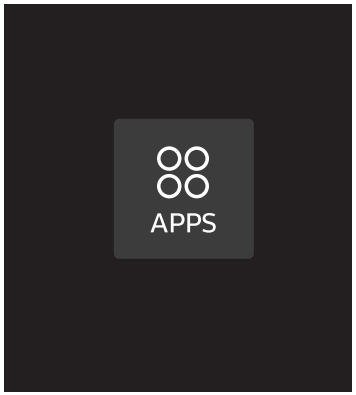
- SMARTVIEW+ では、複数のコンテンツ項目を表示することができます。
- この機能を開始するには、スマートビュー+ を選択し、コンテンツの選択で追加するコンテンツを選択するか、スマートビュー+ の上部にあるプリセットで目的の組み合わせを選択します。または、お持ちのモバイル デバイスに画面共有を実行します。
- PC の画面を共有するには、画面に表示されるアドレスを Web ブラウザー (Chrome、Edge、Firefox、Safari など) に入力します。
- モバイルまたはタブレット デバイスの画面を共有するには、Samsung Signage Mobile アプリを Samsung Apps、Google Play ストアまたは Apple App Store からダウンロードしてインストールし、画面に表示される数字を入力します。
- 最大 10 のクライアントを接続でき、最大 6 のデバイス画面を同時に共有できます。
- PC の場合、管理者として接続することで画面共有を直接制御できます。

この機能の使用の詳細については、画面の指示を参照してください。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

APPS

→ 機能 → APPS →



アプリを管理して更新します。APPS メニューを使用するには、利用条件に同意していただく必要があります。
アプリが正常に動作しない場合は、アプリの詳細情報を確認して再インストールしてください。

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

設定

ネットワーク

→ **設定** → **ネットワーク** →

現在のネットワークとインターネット接続を確認します。

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

クローン製品

⌂ → **設定** → **クローン製品** → ⇦

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

製品内の設定を外部記憶装置にエクスポートします。外部記憶装置から設定をインポートすることも可能です。

このオプションは複数の製品に同じ設定を割り当てたいときに便利です。

外部記憶装置内に複製ファイルがない場合

1 外部記憶装置を接続して、次に **クローン製品** 機能を実行します。

2 **外部ストレージ機器にクローン ファイルが見つかりません。この機能の設定を外部ストレージ機器にエクスポートしますか?** メッセージが表示されます。

3 **エクスポート** を選択し、設定をエクスポートします。

外部記憶装置内に複製ファイルがある場合

1 外部記憶装置を接続して、次に **クローン製品** 機能を実行します。

2 **クローン ファイルが見つかりません。オプションを選択してください。** メッセージが表示されます。

外部ストレージからインポート または **外部ストレージにエクスポート** 機能を実行します。

– **外部ストレージからインポート**: 外部記憶装置に保存されている設定を製品にコピーします。

設定が完了すると、製品は自動的に再起動されます。

– **外部ストレージにエクスポート**: 製品内の設定を外部記憶装置にコピーします。

ID 設定

⌂ → 設定 → ID 設定 → ⏎

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

セットに ID を割り当てます。

機器 ID

各製品の一意の ID 番号を設定します。

▲/▼ を押して数字を選択し、⏎ を押します。

リモコンの数字ボタンを使用して番号を入力します。

機器 ID の自動設定

この機能により RS232C ケーブルで接続したデバイスに自動的に ID 番号が割り当てられます。

この機能は RS-232C デイジー チェーンの中の最初のデバイスでのみ利用できます。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

PC 接続ケーブル

ディスプレイと PC との接続に使用するケーブルの種類を選択します。

- RS232C ケーブル
  RS232C ケーブルを通じて MDC と接続します。
- RJ-45 (LAN)/Wi-Fi ネットワーク または RJ-45 (LAN) ケーブル
  RJ45 ケーブルを通じて MDC と接続します。

  使用可能な機能はモデルによって異なる場合があります。

画像分割

⌂ → **設定** → **画像分割**→ ⇦

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画像分割のために接続された複数のディスプレイのレイアウトをカスタマイズします。

さらに、全体の映像の一部を表示するか、または接続された複数のディスプレイそれぞれに同じ映像をリピートします。

複数の画像を表示するには、MDC ヘルプまたは MagicInfo ユーザー ガイドを参照してください。モデルによっては、MagicInfo 機能をサポートしないものがあります。

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

画像分割

画像分割 を有効または無効にできます。

画像分割を行う場合は、**オン** を選択します。

- **オフ** / **オン**

水平方向 x 垂直方向

この機能によりビデオウォール ディスプレイがビデオウォール行列設定に基づいて自動的に分割されます。

ビデオウォール行列を入力します。

ビデオウォール ディスプレイが設定した行列に基づいて分割されます。ディスプレイ デバイスの縦または横の台数は、それぞれ 1～15 の範囲で設定できます。

ビデオウォール ディスプレイは最大で 225 の画面に分割できます。

水平方向 x 垂直方向 オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

画面の位置

分割画面を再配列するには、**画面の位置** 機能を使って行列内の各製品について数の調整を行います。

画面の位置 を選択すると、ビデオウォールを形成している製品に割り当てられている数に応じてビデオウォール行列が表示されます。

製品を再配列するには、リモコンの方向ボタンを使って製品を別の希望の番号まで移動します。 ボタンを押します。

- **画面の位置** を使用すれば、画面を最大 225 個(15 x 15)に分割できます。
- **画面の位置** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。
- この機能を使用するときは、**水平方向 x 垂直方向** を設定してください。

フォーマット

ビデオウォール ディスプレイに映像を表示する方法を選択します。

- **フルモード**: マージンを取らずに映像を全画面で表示します。
- **ナチュラルモード**: サイズの拡大や縮小を行わずに元の縦横比で映像を表示します。

- **フォーマット** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

オン/オフタイマー

⌂ → **設定** → **オン/オフタイマー** → ⏎

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

この機能を使用する前に、必ず **現在時刻設定** を設定してください。

オンタイマー

オンタイマー を設定すると、選択した日時に自動的に製品がオンになります。

指定した音量または入力ソースで製品がオンになります。

オンタイマー: 7 つのオプションの 1 つを選択してオン タイマーを設定します。現在時刻を先に設定してから使用してください。

(**オンタイマー 1** ~ **オンタイマー 7**)

MagicInfo モードでは、**オンタイマー** を内部メモリ/USB メモリ オプションで使用できますが、内部メモリを使用することをお勧めします。

バッテリー駆動の USB デバイスを使用すると認識に時間がかかる場合があるため、**オンタイマー** 機能の正しい動作は保証できません。

- **設定**: **使用しない**、**1 回**、**毎日**、**月～金**、**月～土**、**土～日** または **手動** を選択します。**手動** を選択した場合は、製品をオンにする日付を **オンタイマー** 選択できます。
  - 選択された日付はチェックマークで示されます。
- **時刻**: 時刻（時および分）を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。
- **音量**（内蔵スピーカー搭載モデル用）: 音量レベルを設定します。上下の矢印ボタンを使用して音量を変更します。
- **入力ソース**: 入力ソースを選択します。
- **コンテンツ** (**MagicInfo** モードで **入力ソース** が **内部/USB** に設定されている場合): 製品の電源をオンにしたら、USBデバイスまたは内部メモリから、再生するファイル（音楽、写真、ビデオなど）をすぐに選択します。

オフタイマー

7 つのオプションの 1 つを選択してオフ タイマー (**オフタイマー**) を設定します。(**オフタイマー 1** ~ **オフタイマー 7**)

- **設定**: **使用しない**、**1 回**、**毎日**、**月～金**、**月～土**、**土～日** または **手動** を選択します。**手動** を選択した場合は、製品をオフにする日付を **オフタイマー** 選択できます。
  - 選択された日付はチェックマークで示されます。
- **時刻**: 時刻（時および分）を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。

休日の管理

休日として指定されている期間は、タイマーが無効になります。

- **休日の追加**: 休日として追加したい期間を指定します。
  ▲/▼ ボタンを使用して追加する休日の開始日と終了日を選択し、**完了** ボタンをクリックします。

  期間が休日のリストに追加されます。
  - **開始日**: 休日の開始日を設定します。
  - **終了日**: 休日の終了日を設定します。
- **削除**: 休日のリストから選択した項目を削除します。
- **編集**: 休日項目を選択して、次に日付を変更します。
- **タイマーに適用**: 祝祭日に起動しない場合は **オンタイマー** と **オフタイマー** を設定します。
  - を押して、起動しない **オンタイマー** と **オフタイマー** 設定を選択します。
  - 選択した **オンタイマー** と **オフタイマー** が起動しなくなります。

ティッカー

→ **設定** → **ティッカー** →

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ビデオまたは画像の表示中にテキストを入力すると、テキストが画面に表示されます。

この機能を使用する前に、必ず **現在時刻設定** を設定してください。

- **オフ** / **オン**: **ティッカー** の使用の有無を設定します。
- **メッセージ**: 画面に表示するメッセージを入力します。
- **時刻**: **メッセージ** を表示する **開始時刻** と **終了時刻** を設定します。
- **フォント オプション**: メッセージのフォントと色を指定します。
- **位置**: **メッセージ** の表示位置を選択します。
- **スクロール**: **ティッカー** のスクロール効果のオン/オフを切り替えます。メッセージのスクロール **方向** と **速度** を指定します。
- **プレビュー**: **ティッカー** の設定をプレビューします。

第 7 章
メニュー

映像

2 番目	3 番目	説明
スマート キャリブレーション		お持ちのモバイル デバイスにインストールされている Smart Calibration アプリを使用して、ディスプレイの画質を調整します。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
バックライト / **明るさ** / **コントラスト** / **シャープネス**		本製品では画質調整のためのオプションがいくつか提供されています。 本製品の入力に接続されている各外部機器の設定を調整したり保存することができます。 映像の明るさを下げることにより、消費電力を抑えることができます。 **バックライト** と **コントラスト** を 100(max) に設定することで、ディスプレイの明るさを最大レベルまで調整できます。 ディスプレイ パネルの特性により、個々の製品の明るさレベルは異なる場合があります。
色温度		色温度が設定されます。値と温度が同時に上がるため、青色の比率が上がります。(範囲:2800K-16000K) **色調** が **オフ** になっているときに使用できます。
詳細設定		詳細な映像設定を構成し、好みに応じて映像を設定します。
	映像エンハンサー	色とシャープネスを高めて表示します。
	色の濃さ	色の彩度を調整します。値が 100 に近づくと、色の彩度が高くなります。(範囲:0~100)
	色合い	緑と赤の色合いレベルの比率を調整します。値を上げると、赤と緑色の彩度が高くなります。(範囲:0~50)

2 番目	3 番目	説明
詳細設定	**ホワイト バランス**	映像の色温度を調整し、白いオブジェクトをより明るく表示します。 • **2 ポイント** 2 つのセクションで赤、緑、青の光度レベルを調整して、ホワイト バランスを正確に最適化します。 • **20 ポイント設定** 赤、緑、青の明るさを調整することで、20 ポイント 間隔でホワイト バランスを制御します。 – **20 ポイント** 20 のセクションで赤、緑、青の光度レベルを調整して、ホワイト バランスを正確に最適化します。 外部機器によっては、本機能に対応していないものがあります。
	ガンマ	映像の中間域の明るさを調整します。 **ガンマ** 設定の **HLG**、**ST.2084**、および **BT.1886** は、入力ビデオの設定によって変更される場合があります。**HDR+ モード** 対応モデルの場合、**ガンマ** 設定の **HLG**、**ST.2084**、および **BT.1886** は、入力ビデオの設定と **HDR+ モード** の設定によって変更される場合があります。**HDR+ モード** が **オフ** に設定されている場合、入力ビデオによって **HLG**、**ST.2084**、および **BT.1886** の設定を使用できます。**S カーブ** を調整するには、**HDR+ モード** を **オフ** に設定します。 • **HLG** / **ST.2084** / **BT.1886** / **2.2** / **S カーブ** **HLG**、**ST.2084**、**BT.1886**、**S カーブ** の映像レベルを調整します。 **2.2** を選択した場合、レベル調整を行うことはできません。 使用可能な機能はポート タイプによって異なる場合があります。
	コントラスト エンハンサ	コントラストのバランスを自動的に調整して、明るい領域と暗い領域との間の極端な差異を抑えます。
	色深度 (黒)	諧調レベルを選択して画面の奥行きを調整します。
	鮮明	赤のレベルを上げ下げして、肌色を調整します。

2 番目	3 番目	説明
詳細設定	**色空間の設定**	色空間の設定を構成して、画面の色のスペクトルを改善できます。 • **色空間** 色空間を選択します。 **色の濃さ**、**赤**、**緑**、**青** および **リセット** を調整するには、**色空間** を **カスタム** に設定します。 • **色域** 色域を選択します。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
	入力信号の拡張	HDMI 接続の入力信号範囲を拡張します。 **入力信号の拡張** を **オン** に設定した場合、最大 3840 x 2160(60 Hz)の解像度を利用できます。 **入力信号の拡張** を **オフ** に設定した場合、最大 3840 x 2160(30 Hz)の解像度を利用できます。 接続用部品は、モデルによって異なる場合があります。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
	動画画面の明るさ調節	動画表示中に画面の明るさを下げて消費電力を抑えます。
映像オプション	**色調**	表示したい最適な色温度を選択します。 本製品の入力ポートに接続されている各外部機器の設定は変更できます。 使用できるオプションは製品により異なる場合があります。
	デジタル クリーン ビュー	気になるちらつきなどが生じないように映像のノイズを軽減します。
	HDMI 階調レベル	黒のレベルを調整して、HDMI 映像の明るさとコントラストを最適化します。 HDMI ポートに接続されている外部デバイスからの入力信号が RGB444 の場合にのみ使用できます。
	フィルム モード	古いビデオソースからのフレーム移行をスムーズに行ってください。この機能は、入力信号が、テレビ、AV、コンポーネント (480i、1080i) または HDMI (1080i) の場合にのみ使用できます。

2 番目	3 番目	説明
映像オプション	**ローカル ディミング**	最適なコントラストにするため、個別の画面上の領域の明るさレベルを調整します。 **ダイナミック バックライト** 搭載のモデルはサポートされません。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
	ダイナミック バックライト	バックライトは、現在の条件下で最適なコントラストを得られるように自動調整されます。 **ローカル ディミング** 搭載のモデルはサポートされません。
映像の設定を適用		機器に接続されているすべての外部機器、または現在のソースのみに対して映像の設定を適用します。
映像サイズの設定		画面に表示する映像のサイズとアスペクト比を選択します。 外部機器やアプリケーションによっては、本機能に対応していないものがあります。
	画像サイズ	現在の入力ソースによって、表示される画面調整オプションは異なります。 使用可能な機能はモデルまたは入力信号によって異なる場合があります。 長期にわたる **4:3** フォーマットのご使用は避けてください。 画面の左右または上下に表示される境界線によって、残像（画面の焼き付き）が起こる場合があり、これは保証外となります。
	画面に合わせる	画像位置を調整します。選択すると、プログラム全体の画像が表示されます。画像の一部が切り取られることはありません。
	ズームと位置	画像のズームと位置を調整します。この機能は、**画像サイズ** が **カスタム** に設定されている場合にのみ使用できます。 元の位置に画像表示を戻す場合は、**ズームと位置** 画面で **リセット** を選択します。画像が、デフォルトの位置に表示されるように設定されます。
映像のリセット		すべての映像の設定を工場出荷時の設定に戻します。

オンスクリーン表示

2 番目	3 番目	説明
画面の向き	**オンスクリーン メニューの向き**	オンスクリーン メニューを横向きまたは縦向きで表示するかどうかを選択します。 • **自動** / **ランドスケープ** / **ポートレイト** Auto を選択した場合、オンスクリーン ディスプレイ メニューの向きは、モニターの向きに応じて横向きまたは縦向きモードに自動的に変更されます。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
	入力ソース コンテンツの向き	製品の画面の向きを変更します。 Auto を選択した場合、ソース コンテンツの向きは、モニターの向きに応じて横向きまたは縦向きモードに自動的に変更されます。
	アスペクト比	回転した画面を全画面またはオリジナルのどちらかに設定します。 **入力ソース コンテンツの向き** を **ポートレイト** に設定している場合にのみ使用できます。
画像保護	**スクリーンセーバー**	デバイス画面上の画像が静止したまま 2 時間以上が経過したときに、スクリーンセーバーを有効にします。
	画像焼き付き保護	画面の焼き付きの可能性を抑えるため、本製品には **画像焼き付き保護** 画面焼き付き防止技術が導入されています。 **画像焼き付き保護** では、画面上の映像をわずかに動かします。 • **画素シフト** ピクセルを水平または垂直に少しだけ動かすことにより残像の発生を最小限に抑えます。 **水平**、**垂直** および **時刻** は、**画素シフト** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。 **画素シフト** 値は、モデルによって異なることがあります。 静止画像や **4:3** 出力の長時間の表示は残像の原因となることがあります。これは製品の欠陥によるものではありません。 • **タイマー** **画像焼き付き保護** にタイマーを設定できます。 指定した期間を過ぎると **画像焼き付き保護** 機能は自動的に停止します。 • **すぐに表示** スクリーン セーバーを選択して、素早く表示されるように設定します。

2 番目	3 番目	説明
メッセージ表示	ソース情報	入力ソースが変更されたときにソース OSD を表示するかどうかを選択します。
	信号メッセージなし	信号が検出されないとき無信号 OSD を表示するかどうかを選択します。 ソース機器が接続されていないときには、ケーブルが接続されていません とメッセージが表示されます。
	MDC メッセージ	本製品が MDC で制御されたとき MDC OSD を表示するかどうかを選択します。
	回転のメッセージ	ディスプレイ装置を適切ではない角度に回転させると、警告メッセージを受信します。
言語		メニューの言語を設定します。 言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。ご使用の PC のその他の機能には適用されません。
オンスクリーン表示をリセット		このオプションは、オンスクリーン表示 の現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

サウンド

2 番目	3 番目	説明
サウンド モード		ユーザーの好みに合った音声モードを選択します。 この機能は、**サウンド出力** が **外部** または **受信機 (HDMI)** に設定されている場合は無効になります。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
バランス		音声バランスが最適になるようにスピーカーの音量レベルを調整します。 この機能は、**サウンド出力** が **外部** または **受信機 (HDMI)** に設定されている場合は無効になります。 使用可能な機能はモデルによって異なる場合があります。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
イコライザ		イコライザーを調整して音量とピッチをカスタマイズし、音声出力の深みを増します。 **サウンド モード** が **標準** に設定されている場合にのみ使用できます。 この機能は、**サウンド出力** が **外部** または **受信機 (HDMI)** に設定されている場合は無効になります。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
デジタル出力オーディオ形式		デジタル オーディオ出力形式を選択します。**パススルー** を選択した場合、入力オーディオは処理なしで受信機に送信されます。このオプションは、ソースが HDMI であり、受信機が HDMI eARC または ARC 経由で接続されている場合にのみサポートされます。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

2 番目	3 番目	説明
サウンド出力		音声出力のためスピーカーを選択します。 **サウンド出力** を **外部** または **受信機 (HDMI)** に設定した場合、内部スピーカーはオフになります。この設定では外部スピーカーからのみ音声が聞こえます。 **サウンド出力** オプションが **内部** に設定されている AUDIO OUT ポート経由で接続している場合、音声は内部および外部スピーカー両方で使用できます。接続用部品は、製品によって異なる場合があります。 **受信機 (HDMI)** オプションを選択するには、製品を AV 受信機の HDMI(ARC) ポートに接続し、Anynet+ (HDMI-CEC) を **オン** に設定します。 映像信号がない場合、本製品のスピーカーと外部スピーカーは両方とも消音状態になります。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
自動音量調節		ビデオ ソースまたはコンテンツを切り替えたときに音量レベルを自動的に調整するので、音量レベルは変わりません。 接続しているソース機器の音量制御を使用するには、**自動音量調節** を **オフ** に設定します。 この機能は、**サウンド出力** が **外部** または **受信機 (HDMI)** に設定されている場合は無効になります。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
サウンドのリセット		すべての音声設定を工場出荷時の設定に戻します。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

ネットワーク

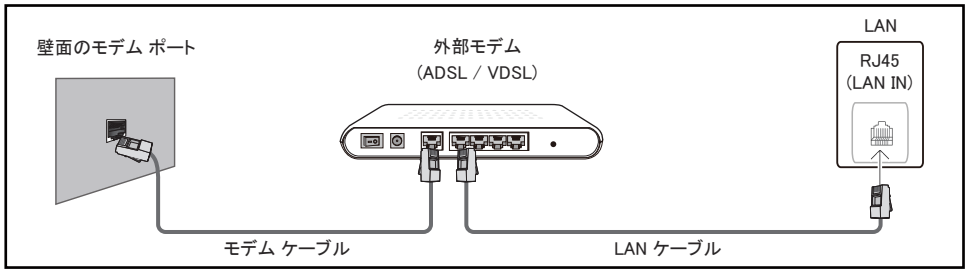
2 番目	3 番目	説明
ネットワーク ステータス		現在のネットワークおよびインターネットの状態を確認できます。
ネットワーク設定を開く		ネットワーク設定を構成することで、利用可能なネットワークに接続できます。
	ネットワークの種類	ネットワークの種類メニューは、有線モデルでは使用できないことがあります。

ネットワーク設定（有線）

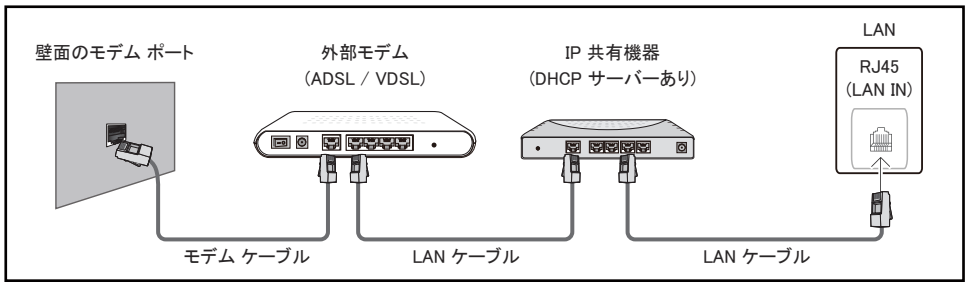
有線ネットワークに接続する

ケーブル経由で本製品を LAN に接続する方法として、以下の 3 つの方法があります。

- LAN ケーブルを使用して本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムとを接続し、本製品を LAN に接続します。
  下図を参照してください。



- 本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムに接続されている IP 共有機とを接続し、本製品を LAN に接続します。接続には LAN ケーブルをご使用ください。下図を参照してください。



- ご使用のネットワーク構成によっては、LAN ケーブルを使用して直接本製品の背面にある LAN ポートと壁にあるネットワーク接続用の差し込み口とを接続し、本製品を LAN に接続することができます。
  下図を参照してください。壁にあるネットワーク接続用の差し込み口は、ご自宅のモデムまたはルーターに接続されています。

動的ネットワークをご使用の場合は、DHCP（動的ホスト設定プロトコル）に対応している ADSL モデムやルーターを使用してください。DHCP に対応しているモデムやルーターをご使用の場合、本製品がインターネットに接続するために必要な**IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および DNS 値は自動的に取得されるため、手動で入力する必要がありません。ホームネットワークのほとんどは動的ネットワークです。

ネットワークによっては固定 IP アドレスを必要とするものもあります。ネットワークで固定 IP アドレスが必要な場合、ネットワーク接続をセットアップする際に、ご利用の製品の **IP 設定** に **IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および DNS の値を手動で入力する必要があります。**IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および DNS 値は、ご契約のインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせの上、入手してください。

Windows コンピュータをご使用の場合、コンピュータからこれらの設定値を入手することもできます。

- ご使用のネットワークが固定 IP アドレスを必要とする場合、DHCP 対応の ADSL モデムを使用することも可能です。
- DHCP 対応の ADSL モデムでは固定 IP アドレスもご使用になれます。

ソフトウェア アップグレードの実行など、インターネット サービスに使用するネットワーク接続を設定します。

自動 ネットワーク設定を開く(有線)

LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。

必ず LAN ケーブルを先に接続してください。

自動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **有線** に設定します。

有線モデルの場合、**ネットワーク ステータス** メニューを選択してください。

2 ネットワーク テスト画面が表示されるので、ネットワーク接続を確認します。

接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

接続プロセスが失敗するときは、LAN ポートの接続を確認してください。

自動プロセスでネットワーク接続の値を検出できない場合、または接続を手動で設定する場合、次のセクション (ネットワーク設定を開く の手動設定 (有線)) に進みます。

手動 ネットワーク設定を開く(有線)

作業環境によっては静的 IP アドレスが使用されていることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者に **IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**および DNS サーバー アドレスを問い合わせてください。それらの値を手動で入力します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。

2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。

3 ダイアログが表示されるので、Support タブをクリックします。

4 Support タブで Details ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

設定のパスは、インストールされている OS によって異なります。

手動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **有線** に設定します。

ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。**キャンセル** を押します。検証プロセスが停止します。

有線モデルの場合、**ネットワーク ステータス** メニューを選択してください。

2 ネットワーク接続画面の **IP 設定** を選択します。**IP 設定** 画面が表示されます。

3 上部のフィールドを選択して、⏎ を押し、次に **IP 設定** を **手動で入力** に設定します。**IP アドレス** のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。

IP 設定 を **手動で入力** に設定すると、**DNS 設定** が自動的に **手動で入力** に変更されます。

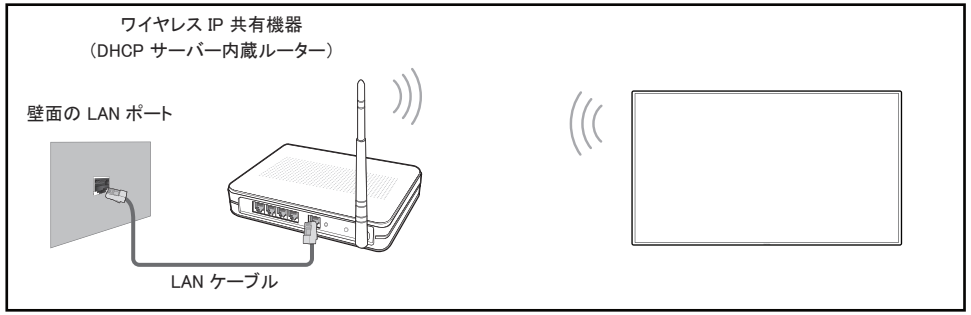
4 入力したら、ページ下部の **OK** を選択して、次に ⏎ を押します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

5 接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

ネットワーク設定（ワイヤレス）

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

ワイヤレス ネットワークに接続する



Samsung では、IEEE 802.11n のご使用をお勧めしています。ネットワーク接続を通じて動画を再生する場合、動画がなめらかに再生されないことがあります。

- 未使用のチャンネルをワイヤレス IP 共有機に割り当ててください。ワイヤレス IP 共有機に割り当てたチャンネルが別の周辺機器によって使用されている場合、競合による通信障害が生じます。
- 本製品が対応しているワイヤレス ネットワークのセキュリティ プロトコルは以下のとおりです。
  - 認証モード：WEP、WPAPSK、WPA2PSK
  - 暗号化タイプ：WEP、TKIP、AES

  Samsung 製品は Wi-Fi の認証規格に準拠し、High-throughput(Greenfield) 802.11n モードで動作するネットワークの WEP または TKIP のセキュリティの暗号化はサポートしません。
- ご使用のワイヤレス ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している場合、PBC（プッシュボタン）または PIN（個人暗証番号）を利用してネットワークに接続することができます。どちらの接続方式を利用しても、WPS は自動的に SSID と WPA キーを設定します。
- 接続方法：ワイヤレス ネットワーク接続をセットアップするには、以下の 3 つの方法があります。自動ネットワーク設定、手動ネットワーク設定、**WPS を使用**

自動ネットワーク設定（ワイヤレス）

ほとんどのワイヤレス ネットワークは、ネットワークにアクセスする装置を必要とするセキュリティ システムを選択肢として備え、アクセス キーまたはセキュリティ キーと呼ばれる暗号化セキュリティ コードを伝送します。このセキュリティ キーはパス フレーズに基づいていて、ワイヤレス ネットワークのセキュリティ設定の際に、一般に単語または一連の文字および特定の長さの数字を入力するように要求されます。この方法のネットワーク接続設定を使用し、かつワイヤレス ネットワークにセキュリティ キーが用いられている場合には、自動または手動設定プロセス中にパス フレーズを入力する必要があります。

自動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **無線（ワイヤレス）** に設定します。

2 **ネットワーク** 機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。

▲ / ▼ ボタンを押してネットワークのリストからネットワークを選択し、⏎ ボタンを押します。

- 目的のワイヤレス ルーターが表示されない場合は、**更新** を押して再度検索してください。
- 再試行後もルーターが見つからない場合は、**ネットワークの追加** を選択してください。

3 **（AP 名）のパスワードを入力してください。** 画面が表示されるのでステップ 4 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 6 に進んでください。

4 ルーターにセキュリティがある場合は、**（AP 名）のパスワードを入力してください。**（セキュリティ キーまたは PIN）を入力します。

5 入力したら、右矢印ボタンを使ってカーソルを **完了** に移動させ、⏎ を押します。ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

- ルーターとの接続は確立されますが、インターネットにはアクセスできません。この場合、ご契約のインターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。

6 接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

手動ネットワーク設定（ワイヤレス）

作業環境によっては静的 IP アドレスが使用されていることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者に **IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**および DNS サーバー アドレスを問い合わせてください。それらの値を手動で入力します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。

2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。

3 ダイアログが表示されるので、Support タブをクリックします。

4 Support タブで Details ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

手動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **無線（ワイヤレス）** に設定します。

2 **ネットワーク** 機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。

3 この一覧の中から、▲ または ▼ ボタンを使ってネットワークを選択し、次に ⏎ ボタンを 2 回押します。

- 目的のワイヤレス ルーターが表示されない場合は、**更新** を押して再度検索してください。
- 再試行後もルーターが見つからない場合は、**停止** ボタンを押してください。
  ネットワークの追加 ボタンが表示されます。

4 **（AP 名）のパスワードを入力してください。** 画面が表示されるのでステップ 5 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 7 に進んでください。

5 ルーターにセキュリティがある場合は、**（AP 名）のパスワードを入力してください。**（セキュリティ キーまたは PIN）を入力します。

6 入力したら、右矢印ボタンを使ってカーソルを **完了** に移動させ、⏎ を押します。ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

7 ネットワーク接続の試行中に **キャンセル** を選択します。これにより接続が停止します。

8 ネットワーク接続画面の **IP 設定** を選択します。**IP 設定** 画面が表示されます。

9 上部のフィールドを選択して、⏎ を押し、次に **IP 設定** を **手動で入力** に設定します。**IP アドレス** のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。

- **IP 設定** を **手動で入力** に設定すると、**DNS 設定** が自動的に **手動で入力** に変更されます。

10 入力したら、ページ下部の **OK** を選択して、次に ⏎ を押します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。

11 接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

WPS を使用

この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

WPS を使用 を使用したセットアップ方法

ルーターに **WPS を使用** ボタンがある場合は、次の手順を行います。

1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **無線 (ワイヤレス)** に設定します。

2 **WPS を使用** を選択して、 を押します。

3 2 分以内にワイヤレス ルーターの WPS または PBC ボタンを押してください。製品が自動的に必要なすべてのネットワーク設定値を収集しネットワークへの接続を行います。

- WPS PIN を使用する場合、**WPS PIN** を選択してください。
  ワイヤレス ルーターの設定に移動し、PIN を入力し、**OK** を選択します。

4 ネットワーク接続画面が表示され、ネットワーク設定が完了します。

2 番目	3 番目	説明
サーバー ネットワーク設定	サーバーに接続	MagicInfo サーバーに接続します。 TLS オプションを使用している場合、サーバーが https を使用するように設定され、データ転送が暗号化されます。(ポート番号 : 7002) TLS オプションを使用しない場合、サーバーの IP アドレスとポート番号を手動で入力します。ポート番号には 7001 を使用します。(ポート番号に 7001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせてポート番号を変更してください。) サーバー IP アドレスとポート番号を入力します。ポート番号には 7001 を使用します。(ポート番号に 7001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせてポート番号を変更してください。) MagicInfo Server のユーザー ガイドは、次の Web サイトを参照してください : http://www.samsung.com/business → Support → Resources → MagicInfo Web Manual。
	MagicINFO Server の確認	このオプションを有効にすると、MagicINFO Server URL のドメイン名が MagicINFO Server 証明書のドメイン名と異なる場合に、HTTPS 通信がブロックされます。
	MagicInfo モード	製品を使用する環境に応じて適切な MagicInfo モード を選択してください。 MagicInfo モード が Lite に設定されている場合、サポートされているコンテンツ タイプは制限を受ける場合があります。
	サーバー アクセス	MagicInfo サーバーへのアクセスを許可または拒否します。
	FTP モード	FTP 動作モードを指定します。
	プロキシ サーバー	プロキシ サーバーの接続およびその他の機能を設定します。 住所 / ポート / ID および パスワード は、プロキシ サーバー が オン になった時にのみ有効になります。

2 番目	3 番目	説明
サーバー ネットワーク設定	UEM 設定	Crestron を含むUEM (Unified Endpoint Management、統合エンドポイント管理) サーバーへの接続を設定します。 接続するサーバーのガイドに従って必要な情報を入力します。 接続が維持されている間、機器の情報は UEM サーバーに送信されます。設定をリセットすることで、接続を無効にして設定を削除できます。 • Crestron Crestron サーバー接続を設定し、保存 ボタンを押すことでサーバーに接続します。 – XiO XiO サーバーに接続します。デフォルトのオペレーティング サーバー URL が事前入力されます。 XiO と別の Crestron サーバー タイプに同時に接続する場合、まず XiO サーバーに接続し、次に別の Crestron サーバー タイプに接続します。 – Control System サーバー アドレス、ポート、IP ID により接続が設定された Control System サーバーに接続します。 自動検出 オプションにより、Crestron の自動発見機能が利用できます。 安全な接続、認証 ID、認証パスワード を設定することで、安全な接続 を利用できます。 証明書の確認 をオフに設定すると、安全な接続 の間、証明書の検証がスキップされます。 システム → セキュリティ → 証明書マネージャ → アプリ証明書 の順に選択することで、機器に証明書をインストールできます。 – VC-4 サーバー アドレス、ポート、IP ID、Room ID により接続が設定された VC-4 サーバーに接続します。 自動検出 オプションにより、Crestron の自動発見機能が利用できます。 安全な接続、認証 ID、認証パスワード を設定することで、安全な接続 を利用できます。 証明書の確認 をオフに設定すると、安全な接続 の間、証明書の検証がスキップされます。 システム → セキュリティ → 証明書マネージャ → アプリ証明書 の順に選択することで、機器に証明書をインストールできます。 – Fusion 出力接続 をオンに設定した場合、機器が Fusion サーバーからの接続を待機します。 出力接続 をオフに設定した場合、サーバー アドレス、ポート により接続が設定された Fusion サーバーに接続します。 出力接続 をオフに設定した場合のみ、安全な接続 を設定することで 安全な接続 を利用できます。 • UEM の状態 現在の UEM アプリ動作ステータスを表示でき、リセット ボタンを押すことで設定をリセットできます。

2 番目	3 番目	説明
埋め込みサーバー設定	Embedded Server	オンにすると、埋め込みサーバーが有効になります。オフにすると、登録されているサーバー情報が削除されます。 組み込みの Web サーバーをオンにして、PC / モバイル デバイスで Web ブラウザーを使用してデバイスを管理します。 Web サーバーが クライアント モードに設定されている場合、登録されているサーバー アドレスが、そのサーバーが登録されているかどうかと共に、Help ページの下部に表示されます。
	サーバーモード	本デバイスをローカルの Web サーバーとして使用する場合は、「サーバー」に設定します。すでに近くにサーバー デバイスがある場合は、「クライアント」に設定して、本デバイスをサーバーに接続してください。 組み込みの Web サーバーは、以下の 2 つのモードのいずれかに設定できます。 • サーバー – サーバー モードに設定すると、PC / モバイル デバイスから以下の URL にアクセスすることでデバイスを制御できます。 https://device-ip:4000 – 初回のアクセスでは、サーバーを使用する前に初期パスワードを設定する必要があります。 – "デバイスの登録" メニューを使用して、クライアント モードに設定されている他のデバイスを登録および制御します。 • クライアント – クライアント モードに設定すると、サポートされているサーバーにデバイスを登録できます。 – クライアント モードで Embedded Server 機能をオフにして再びオンにすると、すべての情報がリセットされ、デバイスをサーバーから再び登録する必要があります。 注意: すべてのデバイスと PC / モバイル デバイスが同じローカル ネットワークに接続されるようにします。
Wi-Fi		Wi-Fi を有効または無効にします。Wi-Fi 接続を必要とする機能を利用する場合は、このオプションをオンにします。 この機能はモデルによって異なる場合があります。
デバイス名		デバイス名を入力または選択します。 この名前はネットワーク上のネットワーク機器に表示されます。

システム

2 番目	3 番目	説明
アクセシビリティ	音声ガイドの設定	• **音声ガイド** **音声ガイド** のオン/オフを切り替えます。**音声ガイド** で使用される言語は、現在のメニュー言語と同じにものになります。 **音量**、**速度** および **音の高さ** は、**音声ガイド** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。 アベイラビリティは地域により異なる場合があります。 • **音量** **音声ガイド** の音量レベルを設定します。 • **速度** **音声ガイド** の速度を設定します。 • **音の高さ** **音声ガイド** のピッチを設定します。 • **背景音の音量** 音声ガイダンス時の背景音の音量を調整します。 この機能は、モデルまたは地域によっては異なる場合があります。
	ハイ コントラスト	メニューの背景色とフォント カラーのコントラストを高めます。このオプションを選択するとメニューは不透明になります。
	メニューとテキストのズーム	メニューおよびテキストを拡大します。
	SeeColors Mode	色覚異常のあるユーザーに色が鮮やかに表示されるようにします。この機能を有効にすると、使用条件に合わせて色をカスタマイズし、画面の色を鮮やかに表示できます。 一部のメニューは、SeeColors Mode の使用中は利用できません。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

2 番目	3 番目	説明
セットアップの開始		製品の初回使用時に行ったような初期設定の手順を実行します。 6 桁の PIN 番号を入力します。 PIN 番号を変更するには、**PIN の変更** 機能を使用します。 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。
かんたん設定		**Tizen Business Manager**を介し機器を設定します。 **かんたん設定**を使用する前に、**Tizen Business Manager** で機器を登録します。
タッチ コントロール		タッチ操作に関連した機能を設定します。
	タッチ コントロール	タッチ ジェスチャーで装置を操作できないようにします。 • **Samsung SMART Signage** / **接続された入力ソース機器** / **自動** この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
	管理者メニュー ロック	画面を長押したときに管理者設定メニューを表示する **管理者メニュー ロック** を設定します。 **タッチ コントロール** が **オン** に設定されている場合にのみ使用できます。
時刻		**現在時刻設定** または **DST** を設定できます。さまざまな時間に関する設定を行います。
	現在時刻設定	**現在時刻設定** を選択します。**日付** または **時刻** を選択して、次に ⏎ を押します。 数字ボタンを使って数字を入力するか、または上下の矢印ボタンを押してください。左右の矢印キーを押すと、次の入力フィールドに移動します。完了したら、⏎ を押します。 **日付** および **時刻** はリモコンの数字ボタンを使って直接設定できます。
	NTP 設定	サーバーの URL とネットワーク時間のタイムゾーンを設定します。
	DST	DST（夏時間）機能のオンとオフを切り替えます。 **開始日**、**終了日** および **タイム オフセット** は、**DST**が**オン** に設定されている場合にのみ有効になります。
	電源オン遅延	複数の製品を接続する場合に過負荷出力を避けるため各製品のパワーオン時間（0～50 秒の範囲）を調整します。

2 番目	3 番目	説明
入力ソース自動切り替え	**入力ソース自動切り替え**	メインのソース 機器が切断されたときに、事前設定したソースまたは別のソースに切り替えます。
	プライマリ入力復元	プライマリ入力ソースを有効にした場合に、選ばれたプライマリ入力ソースを復元するかを選択します。 **プライマリ入力** が **すべて** に設定されているときは、**プライマリ入力復元** 機能は無効になります。
	プライマリ入力	現在の入力から信号が受信されない場合の切り替え先となるプライマリ ソースを選択します。
	セカンダリ 入力	現在の入力から信号が受信されない場合の切り替え先となるセカンダリ ソースを選択します。 **プライマリ入力** が **すべて** に設定されているときは、**セカンダリ 入力** 機能は無効になります。
	デフォルト入力	新しい入力が切断された場合の切り替え先となるデフォルト入力を選択します。**最終入力** オプションには、ケーブル接続された外部入力のみを指定できます。 **デフォルト入力**オプションを有効にするには、**入力ソース自動切り替え**を**新規入力**に設定する必要があります。
電源制御	**自動電源オン**	この機能によって、接続するとすぐに本製品が自動的にオンになります。電源ボタンを押す必要はありません。
	省電力 (最大)	PC を一定時間使用しないときは、PC モニターの電源をオフにして節電してください。
	スタンバイ制御	信号がないため、スリープ モードにするかどうかを決定します。
	リモート設定	製品の電源を切っても、ネットワーク接続を有効にしておいてください。
	電源ボタン	リモコンの電源ボタン ⏻ は、電源のオンのみ、またはオンとオフの両方を行うように設定できます。

2 番目	3 番目	説明
電力と省電力	**省エネ ソリューション**	明るさ設定を調整することにより電力消費を抑えます。
	バックライトの最適化	周囲の照明レベルに応じて画面の明るさを自動的に調整します。 • **明るさの最小値**: サイネージ画面の明るさを最小に設定します。この機能は、値が **映像** メニューの **バックライト** 設定で設定された値より低い場合にのみ動作します。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
	バックライト スケジュール	パネルの明るさをスケジュールで調整します。100 に近いほど、パネルは明るくなります。
	無信号電源オフ	どのソースからも信号がない場合にデバイスをオフにすることによって電気を節約します。 この機能は、ディスプレイがスタンバイ モードの場合は動作しません。 指定された時刻に本製品の電源が自動的にオフになります。必要に応じて時刻を変更することができます。
	自動電源オフ	ユーザー操作が検出されなくなってから、どのくらいの時間が経過したらディスプレイの電源をオフにするかを選択します。

2 番目	3 番目	説明
外部デバイス マネージャ		サイネージに接続されている外部機器を管理します。
	入力デバイス マネージャ	製品で使用するためキーボードを設定します。キーボードを追加し、設定を行うことができます。 Bluetooth 対応モデル専用です。 • Bluetooth 機器リスト Bluetooth キーボード、マウス、またはゲームパッドと製品を接続します。 • キーボード設定 接続したキーボードの設定を行います。 – キーボード言語 キーボードの言語を設定します。 – キーボードの種類 キーボードのタイプを設定します。 • マウス設定 接続したマウスの設定を行います。 – 第 1 ボタン クリックおよび選択の第 1 ボタンとして使用したいボタンを選択します。 – ポインタ速度 マウス ポインタの速度を設定します。
	機器接続マネージャ	スマートフォンやタブレットなどのネットワーク上のデバイスと本製品との間で、コンテンツを共有できるようにします。 • アクセス通知 スマートフォンやタブレットなどのデバイスの接続時に通知を表示します。パスワードを必要とする Wi-Fi ネットワークを使用している場合、このオプションをオフにすると通知を表示せずに自動的にデバイスに接続します。 • 機器 リスト 接続されているデバイスの表示と管理を行います。

2 番目	3 番目	説明
再生手段		製品を使用する環境に応じて適切な **再生手段** モードを選択してください。 ホーム画面は設定により異なる場合があります。
PIN の変更		6 桁の個人識別番号 (PIN) を変更します。 PIN の 6 桁の数字を選んで **新しい暗証番号を入力してください。** に入力します。同じ 6 桁の数字を **もう一度、暗証番号を入力してください。** にもう一度入力します。 新しい PIN が製品に記憶されます。 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。

2 番目	3 番目	説明
セキュリティ		6 桁の PIN 番号を入力します。 PIN 番号を変更するには、**PIN の変更** 機能を使用します。 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。
	安全ロックをオン	**安全ロックをオン** のオンとオフを切り替えます。**安全ロックをオン** は、リモコンで実行可能な操作を制限します。**安全ロックをオン** をオフにするには、正しい PIN を入力する必要があります。 • **電源オン ボタン** **安全ロックをオン** が有効な場合、この機能をオンにすることで、リモコンの電源ボタンを使用して製品をオンにできます。
	ボタン ロック	このメニューは、製品のボタンをロックしたい場合に有用です。 **ボタン ロック** が **オン** に設定されているときは、リモコンでのみ製品を制御できます。
	画面モニターのロック	MagicINFO サーバーが画像を監視することをブロックします。
	USB 自動再生ロック	接続された USB デバイスに保存されている **MagicInfo** または **MagicInfo Lite** コンテンツを自動的に再生するかどうかを選択します。 コンテンツは MagicInfo Premium application を使用して作成された Published Content で、使用中の USB デバイスに発行されている必要があります。MagicInfo Premium application プログラムは、Web サイトからダウンロードできます。 (http://www.samsung.com/business) USB デバイスに発行すると、Published Content は、接続中の USB デバイスのルート フォルダ内の Contents および Schedules フォルダに保存されます。 **MagicInfo** または **MagicInfo Lite** コンテンツが保存された USB デバイスを接続すると、5 秒間「**USB 自動再生ロック: オン。**」と表示されます。
	モバイル接続ロック	ネットワーク上の他のデバイス(スマートフォンやタブレットなど)を制限して、製品のコンテンツを共有できないようにします。 • **Screen Mirroring スタンバイ** このオプションをオンにすると、あらゆるソースタイプからの接続要求を受信します。

2 番目	3 番目	説明
セキュリティ	リモート管理	外部コマンドを使用して、ネットワークを介した製品へのアクセスを **許可** または **拒否** に設定できます。
	セキュリティで保護されたプロトコル	このデバイスと他のデバイスとの間のプロトコルをセキュリティで保護します。 • **SNMP の設定** SNMP 接続の ID とパスワードを設定します。
	サーバーのセキュリティ ステータス	MagicINFO サーバーの情報を表示できます。 この機能は、MagicINFO または RM サーバーに接続されている場合に有効になります。
	ネットワーク ロック	外部ネットワークへのアクセスをブロックします。アクセスを許可するサーバーがあるネットワークを登録できます。
	USB ロック	外部 USB ポートへの接続をブロックします。
	証明書マネージャ	この機器にインストールされた証明書を管理します。 Enterprise WPA2 (TLS/TTLS/PEAP) 認定モデル限定のサポートです。 • **アプリ証明書** このデバイスにインストールされているアプリの証明書を表示および管理します。 この機器に証明書をインストールするには、該当する証明書が格納された USB フラッシュ ドライブを接続します。 • **次の証明書** この機器にインストールされたネットワーク証明書の表示および管理を行います。
	有線 802.1x 接続	**有線 802.1x 接続** 機能をオンにするには、**オン** に設定します。

2 番目	3 番目	説明
一般情報	Anynet+ (HDMI-CEC)	Anynet+ は、Samsung 製品のリモコンを使用して、接続されているAnynet+ 対応の Samsung 機器を制御できる機能です。Anynet+ システムは、Anynet+ 機能を備える Samsung 製デバイスでのみ使用できます。お持ちの Samsung 製デバイスを見て Anynet+ ロゴがあれば、この機能を備えています。 Anynet+ デバイスは製品のリモコンでのみ制御可能で、製品のボタンでは制御できません。 いくつかの状況では、製品のリモコンが機能しないことがあります。そのような場合は、Anynet+ デバイスを再選択してください。 Anynet+ は、Anynet+ をサポートする AV 機器がスタンバイまたはオン状態のとき機能します。 Anynet+ は合計で 12 台までの AV 機器をサポートします。ただし、同時に接続できる同じタイプのデバイスは 3 台までです。

Anynet+ のトラブルシューティング

問題	可能な解決方法
Anynet+ が機能しない。	• デバイスが Anynet+ デバイスかを確認してください。Anynet+ システムは Anynet+ デバイスのみをサポートします。 • Anynet+ デバイスの電源コードが正しく接続されているか確認してください。 • Anynet+ デバイスのビデオ/オーディオ/HDMI ケーブルの接続を確認してください。 • **Anynet+ (HDMI-CEC)** メニューで **システム** が **オン** に設定されていることを確認します。 • リモコンが Anynet+ に対応しているか確認してください。 • 特定の状況では Anynet+ は動作しません。(初期設定) • HDMI ケーブルを取り外していて再接続したときは、デバイスを再検索するか、製品をオフにして再びオンにしてください。 • 当該の Anynet デバイスの Anynet+ 機能がオンに設定されているか確認してください。
Anynet+ を開始するには	• Anynet+ デバイスが製品に適切に接続されているか、また **システム** メニューで **Anynet+ (HDMI-CEC)** が **オン** に設定されているかを確認します。
Anynet+ を終了するには	• 製品のリモコンの ⇥ ボタンを押して、Anynet+ デバイス以外のデバイスを選択します。
画面に「**Anynet+ デバイスを切断しています...**」とメッセージが表示されます。	• Anynet+ の設定中または表示モードへの切り替え中には、リモコンを使用できません。 • 製品が Anynet+ 設定を完了するか、Anynet+ への切り替えを終了してから、リモコンを使用してください。
Anynet+ デバイスで再生ができない。	• 初期設定中に再生機能を使用することはできません。
接続したデバイスが表示されない。	• そのデバイスが Anynet+ 機能をサポートしているか確認してください。 • HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • **Anynet+ (HDMI-CEC)** メニューで **システム** が **オン** に設定されていることを確認します。 • Anynet+ デバイスを再度検索してください。 • Anynet+ には HDMI 接続が必要です。デバイスと製品が HDMI ケーブルで接続されているか確認してください。 • HDMI ケーブルによっては、Anynet+ 機能をサポートしないことがあります。 • 電源異常または HDMI ケーブルの切断によって接続が途切れた場合は、デバイスのスキャンを繰り返してください。

2 番目	3 番目	説明
一般情報	**HDMI ホット プラグ**	この機能は、HDMI ソース機器をオンにする際の遅延時間を有効にするとき使用します。
	カスタム ロゴ	製品の電源がオンの時に表示されるカスタム ロゴの選択と表示時間の設定ができます。 • **カスタム ロゴ** カスタム ロゴの選択（画像/ビデオ）をしたりカスタム ロゴの表示を停止することができます。 カスタム ロゴを設定するには、外部の USB デバイスからカスタム ロゴをダウンロードする必要があります。 • **ロゴ表示時間** カスタム ロゴが **画像** の場合、**ロゴ表示時間** を設定することができます。 • **ロゴ ファイルのダウンロード** カスタム ロゴを外部 USB デバイスから製品にダウンロードすることができます。 ダウンロードするカスタム ロゴのファイル名はすべて半角の「samsung」として保存する必要があります。 複数の外部 USB 接続がある場合、一番最後に製品に接続されたデバイスからカスタム ロゴのダウンロードを試みる仕様になっています。 カスタム ロゴ ファイルの制約 • サイズが最大 50 MB の画像を使用できます。 – サポートされる画像ファイル：samsung_image.* – サポートされるファイルの拡張子：jpg、jpeg、bmp、png • サイズが最大 150 MB の動画を使用できます。推奨時間は 20 秒未満です。 – サポートされる動画ファイル：samsung_video.* – サポートされるファイルの拡張子：avi、mpg、mpeg、mp4、ts、wmv、asf

2 番目	3 番目	説明
一般情報	ゲーム モード	PlayStation™ や Xbox™ などのゲーム機を接続する場合は、ゲーム モードを選択するとよりリアルなゲーム体験が楽しめます。 ゲーム モード がオンの時に他の外部機器を接続すると、画面の状態が悪くなることがあります。
	DICOM シミュレーション モード	表示モードを調整して、DICOM パート14の GSDF 規格に近い画像を出力します。 DICOM シミュレーションモードを有効にしても、本機器は医用診断装置としては使用できません。
	監督モード	画像処理を最小限に抑え、映画監督の本来の意図を画面に表示します。
	映像を視聴環境に適応させる	周囲の明るさに応じて、リアルタイムに輝度を最適化し、最高の画質を実現します。 この機能がオンの場合、一部の画像設定には対応していません。 この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。
	空のストレージ	新しいコンテンツ用の空き容量を確保するためにファイルを削除します。最近再生したファイルは削除されません。
システムのリセット		すべてのシステム設定をデフォルトにリセットします。

サポート

2 番目	3 番目	説明
ソフトウェア更新		ソフトウェア更新 メニューから製品のソフトウェアを最新バージョンに更新できます。 更新が完了するまで電源をオフにしないように注意してください。ソフトウェア更新が完了すると製品はオフになり、また自動的にオンになります。 ソフトウェアを更新すると、すべてのビデオおよびオーディオの設定はユーザー設定からデフォルトの設定に戻ります。更新後の再設定が簡単にできるように、ユーザーの設定をメモしておくことをお奨めします。
	今すぐ更新	ソフトウェアを最新のバージョンに更新します。 現在のバージョン: 製品にすでにインストールされているソフトウェアのバージョンです。 • USB デバイスによる更新 Samsung の Web サイトから更新パッケージをダウンロードして USB ストレージ デバイスに保存した後、デバイスを製品に設定して製品のソフトウェアを更新します。 更新パッケージを USB デバイスの最上位ディレクトリへ確実に保存してください。そうしなければ、製品が更新パッケージを確認できなくなります。 • ネットワーク経由で更新 この機能は、ネットワークが正しく接続されている場合に実行できます。

2 番目	3 番目	説明
Samsung 連絡先		Samsung の Web サイト、コール センターの電話番号、お客様の製品のモデル番号、ソフトウェア バージョン、オープン ソース ライセンスおよび他の情報を確認できます。 **Samsung 連絡先** に移動して、製品の **モデル コード** と **ソフトウェア バージョン** を確認します。
利用条件およびプライバシー ポリシー		MagicInfo やその他のサービスのプライバシー ポリシーを確認および設定します。 製品がネットワークに接続されていることを確認します。 機種によってメニュー項目が異なる場合があります。 アベイラビリティは地域により異なる場合があります。 この機能は、セットアップ中に「Smart Signage Privacy Notice」が選択されている場合にのみ有効になります。
デバイス ケア		お使いのサイネージの状態を最適化および診断します。お使いの記憶容量の確認とクリーンアップ、問題の診断、またはテクニカルサポートへのリクエストを行うことができます。
すべてリセット		このオプションは、ディスプレイに関するすべての現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

第 8 章
トラブルシューティング ガイド

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせいただく前に行っていただきたいこと

サービスを依頼する前に、右記の手順に従って製品の点検を行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

電源インジケーターは、モデルによってはサポートされない場合があります。

製品のテスト

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品と PC が正しく接続されているにもかかわらず、電源インジケーターが点滅して何も表示されない場合は、製品テストを実施します。

1 PC と製品の両方の電源をオフにします。

2 製品からすべてのケーブルを外します。

3 製品の電源をオンにします。

4 **ケーブルが接続されていません** と表示される場合には、製品は正常に動作しています。

画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

解像度と周波数の確認

サポートされている解像度を超えるモードの場合、「**最適なモードが選択されていません**」というメッセージがしばらく表示されます。

ご使用のモデルの PC の解像度を設定するには、プリセット タイミング モードを参照してください。

症状別　確認事項。

インストールの問題（PC モード）	
画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC の間のケーブルが正しく接続されていることを確認します。
HDMI ケーブルで製品と PC を接続しているときに、画面の四辺に空白部分が発生します。	画面に空白部分が発生するのは、製品側の問題ではありません。
	PC またはグラフィック カードによって画面の空白部分が発生しています。問題を解決するには、グラフィック カードの HDMI または DVI 設定で画面サイズを調整します。
	グラフィック カードの設定メニューに画面サイズを調整するオプションがない場合には、グラフィック カードのドライバを最新バージョンにアップデートします。 （画面設定の調整方法の詳細については、グラフィック カードまたはコンピュータのメーカーにお問い合わせください。）

画面の問題	
電源インジケーターが消灯しています。画面がオンにならない。	電源コードが接続されていることを確認します。
信号なし と画面に表示される。	製品（電源装置を含む）がケーブルで正しく接続されていることを確認します。
	製品に接続されている入力信号デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
	外部機器のタイプによっては、画面が正しく表示されない場合があります。この場合、**HDMI ホット プラグ** 機能を **オン** にして接続してください。
	USB Type-C アダプタ（変換タイプ）には 2.0 変換アダプタを使用することをお勧めします。この場合、変換アダプタを抜いて接続し直してください。問題が解決しない場合には、変換アダプタの製造元にお問い合わせください。
最適なモードが選択されていません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大の解像度および周波数を超えている場合に表示されます。
	標準の信号モード表を参照して、製品の仕様に従って最大の解像度および周波数を設定します。

電源インジケーターは、モデルによってはサポートされない場合があります。

画面の問題	
画面の画像がゆがんで見える。	製品に接続しているケーブルを確認します。
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。
画面が安定せず震えて見える。	PC およびグラフィック カードの解像度と周波数が製品の対応する範囲に設定されていることを確認します。次に、プリセット タイミング モードを参照して、必要に応じて画面の設定を変更します。
画面の画像の左側に影や残像のようなものがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	**設定** → **映像** に移動して、**明るさ** と **コントラスト** の設定を調整します。
画面の色が正しくない。	**設定** → **映像** → **詳細設定** に移動して **色空間の設定** 設定を調整します。
白が正しく白色に見えない。	**設定** → **映像** → **詳細設定** に移動して **ホワイト バランス** 設定を調整します。
画面に画像が表示されず、電源インジケーターが 0.5～1 秒間隔で点滅する。	ディスプレイは節電のためにオフになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。
製品が自動的にオフになる。	PC が製品に接続されている場合、PC の電源状態を確認します。
	電源コードが製品とコンセントに正しく接続されていることを確認します。
	接続されている機器からの信号が検出されない場合、製品は 10 ～ 15 分後に自動的にオフになります。
画面表示が正常でないように見える。	エンコードされたビデオ コンテンツの場合、スポーツやアクション映画などのように動きの速いシーンでは映像が乱れることがあります。
	信号の出力レベルや画質が低い場合、映像が乱れることがあります。これは製品の不良ではありません。
	半径 1 メートル以内に携帯電話があると、アナログ製品やデジタル製品にノイズが発生することがあります。

電源インジケーターは、モデルによってはサポートされない場合があります。

画面の問題	
明るさと色が正常でないように見える。	**設定** → **映像** に移動して、**色の濃さ**、**明るさ**、**シャープネス** などの画面設定を調整します。
	設定 → **システム** に移動して、**電力と省電力** の設定を調整します。
	画面の設定をデフォルトに戻します。(ページ91)
赤、緑、青の色が見えます。	ケーブルの接続を確認します。
	この問題は、製品のパネルが不良な場合に発生する可能性があります。この問題を解決するには、Samsung のサービス センターまでご連絡ください。
表示が不安定でフリーズする。	推奨解像度以外の解像度を使用している場合や信号が不安定の場合、画面がフリーズすることがあります。この問題を解決するには、PC の解像度を推奨解像度に変更します。
画面を全画面表示にできない。	縮小された SD (4:3) のコンテンツ ファイルでは、HD チャンネル画面の両側に黒いバーが表示されることがあります。
	動画のアスペクト比が製品と異なる場合、画面の上下に黒いバーが表示されることがあります。
	画面サイズの設定を製品またはソース機器上で全画面に変更します。

音声の問題(内蔵スピーカー搭載モデル用)	
音声が出ない。	オーディオ ケーブルの接続を確認するか、音量を調整します。
	音量をチェックします。
音量が小さすぎる。	音量を調整します。
	最大レベルにしても音量が小さい場合には、PC のサウンド カードまたはソフトウェアの音量を調整します。

音声の問題（内蔵スピーカー搭載モデル用）	
ビデオの音声が聞こえない。	HDMI ケーブルまたは DP ケーブルを接続している場合、PC の音声出力の設定を確認します。
	設定 → **サウンド** に移動して **サウンド出力** を **内部** に変更します。
	ソース機器を使用している場合 • オーディオ ケーブルが製品の音声入力ポートに正しく接続されていることを確認します。 • ソース機器の音声出力の設定を確認します。 （たとえば、ご使用のモニターが HDMI に接続されている場合、ビデオ出力デバイスの音声オプションを HDMI に変更する必要があります。）
	製品にヘッドフォン ポートがある場合、何も接続されていないことを確認します。
	電源ケーブルを機器に再接続してから機器を再起動します。
スピーカーにノイズがある。	ケーブルの接続を確認します。ビデオ ケーブルが音声入力ポートに接続されていないことを確認します。
	ケーブルを接続した後に信号の強度を確認します。
	信号の出力レベルが低いと音声が乱れることがあります。

リモコンの問題	
リモコンが機能しない。	電池が正しく入れられていることを確認します。
	電池が消耗していないかチェックします。
	停電していないか確認します。
	電源コードが接続されていることを確認します。
	近くで特殊な照明またはネオン サインが点灯していないか確認します。

入力信号装置の問題	
PC の起動時にビープ音が鳴る。	PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

その他の問題	
製品からプラスチックのような匂いがする。	プラスチックの匂いは正常であり、時間が経つと匂わなくなります。
モニターが傾いているように見える。	スタンドを製品から取り外して、取り付け直します。
音声または映像が途切れる。	ケーブルの接続状態を確認し、必要に応じて接続し直します。
	標準ケーブルを使用します。
製品の端に小さな粒子が見える。	この粒子は製品の仕様です。不具合ではありません。
PC の解像度を変更しようとすると、「**定義された解像度は現在はサポートされていません。**」というメッセージが表示される。	「**定義された解像度は現在はサポートされていません。**」というメッセージは、入力ソースの解像度がモニターの最大解像度を超えた場合に表示されます。 この問題を解決するには、PC の解像度をモニターでサポートされている解像度に変更します。
DVI-HDMI ケーブルを接続すると、HDMI モードでスピーカーから音声が聞こえない。	DVI ケーブルからは音声データは送信されません。 音声を出力するには、オーディオ ケーブルを正しい入力ポートに接続します。
YCbCr 出力に対応している HDMI 機器で **HDMI 階調レベル**が正しく機能していない。	この機能は、DVD プレイヤーや STB などのソース機器を HDMI（RGB 信号）ケーブルを使用して製品に接続している場合にのみ使用できます。

その他の問題	
HDMI モードで音声が聞こえない。	画像の色が正しく表示されないことがあります。映像や音声が使用できないことがあります。この現象は、新しい HDMI 規格に対応していないソース機器を製品に接続している場合に起こります。 この問題が起こった場合、HDMI ケーブルとオーディオ ケーブルの両方を接続してください。
	PC のグラフィック カードの種類によっては、音声を含まない HDMI 信号は自動では認識されないことがあります。このような場合、音声入力を手動で選択してください。
HDMI-CEC が機能しない。	HDMI-CEC 機能に対応した複数の外部機器を本製品の HDMI ⊡ ポートに接続して使用するには、すべての外部機器の HDMI-CEC 機能をオフにします。外部機器には、Blu-ray プレーヤーや DVD プレーヤーなどが含まれます。 外部機器を操作するときに HDMI-CEC 機能を有効にしておくと、他の外部機器が自動的に停止する場合があります。 HDMI-CEC の設定を変更する場合、該当機器のユーザー ガイドを参照するか、メーカーに問い合わせてください。
省電力モードでは、入力ソースが **ディスプレイ ポート** の場合、PC の表示設定は保存できません。	**設定** → **システム** → **電源制御** に移動して、**省電力 (最大)** を **オフ** に設定します。または、PC の表示出力を再設定します。機器の電源がオンになることを確認します。
入力ソースが **ディスプレイ ポート** に設定されている場合、PC を起動しても BIOS 画面や起動画面は表示されません。	機器の電源がオンになっているとき、または、入力ソースが **ディスプレイ ポート** 以外のときに PC を起動します。

DisplayPort ポート搭載モデル専用です。

第 9 章
仕様

全般

https://www.galaxymobile.jp/support/

モデル名		QB13C / QB13C-T	QB24C / QB24C-T	QM32C
パネル	サイズ	13 クラス(13.2インチ / 33.7 cm)	24 クラス(23.8 インチ / 60.4 cm)	32 クラス (31.5 インチ / 80.1 cm)
	表示範囲	295.37 mm (H) x 166.49 mm (V)	527.04 mm (H) x 296.46 mm (V)	698.4 mm (H) x 392.85 mm (V)
解像度 (パネル仕様)	最適解像度	1920 x 1080(60 Hz)		
	最大解像度			

モデル名		SH37C	QB43C / QH43C / QM43C	QB50C / QH50C / QM50C
パネル	サイズ	37 クラス (36.9 インチ / 93.9 cm)	43 クラス (42.5 インチ / 107.9 cm)	50 クラス (49.5 インチ / 125.7 cm)
	表示範囲	904.32 mm (H) x 254.34 mm (V)	941.184 mm (H) x 529.416 mm (V)	1095.84 mm (H) x 616.41 mm (V)
解像度 (パネル仕様)	最適解像度	1920 x 540 60 Hz	3840 x 2160(60 Hz)(HDMI) 3840 x 2160(60 Hz)(DisplayPort)	
	最大解像度			

モデル名		QB55C / QH55C / QM55C	QB65C / QH65C / QM65C
パネル	サイズ	55 クラス (54.6 インチ / 138.7 cm)	65 クラス (64.5 インチ / 163.9 cm)
	表示範囲	1209.6 mm (H) x 680.4 mm (V)	1428.48 mm (H) x 803.52 mm (V)
解像度 (パネル仕様)	最適解像度	3840 x 2160(60 Hz)(HDMI) 3840 x 2160(60 Hz)(DisplayPort)	
	最大解像度		

モデル名		QB75C / QH75C / QM75C	QB85C / QM85C
パネル	サイズ	75 クラス (74.5 インチ / 189.3 cm)	85 クラス (84.5 インチ / 214.7 cm)
	表示範囲	1650.24 mm (H) x 928.26 mm (V)	1872.0 mm (H) x 1053.0 mm (V)
解像度 (パネル仕様)	最適解像度	3840 x 2160(60 Hz)(HDMI) 3840 x 2160(60 Hz)(DisplayPort)	
	最大解像度		

モデル名		QH98C / QM98C
パネル	サイズ	98 クラス (97.5 インチ / 247.7 cm)
	表示範囲	2158.848 mm (H) x 1214.352 mm (V)
解像度 (パネル仕様)	最適解像度	3840 x 2160(60 Hz)(HDMI) 3840 x 2160(60 Hz)(DisplayPort)
	最大解像度	

電源		AC100-240V~ 50/60Hz ∗ 標準電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。
環境条件	動作時	温度 : 0 ° C - 40 ° C (32 ° F - 104 ° F) ∗ ハウジングを取り付ける場合は内部温度が 40 °C 以下に維持できるようにしてください。 湿度 : 10% - 80 %、結露しないこと
	保管時	温度 : -20 ° C - 45 ° C (-4 ° F - 113 ° F) 湿度 : 10% - 90%、結露しないこと (対応モデル: QB24C、QB24C-T) 湿度 : 10% - 90%、結露しないこと (対応モデル: QB13C, QB13C-T、QB43C ~ QB85C、QH43C ~ QH98C、QM32C ~ QM98C、SH37C) ∗ 製品パッケージが未開封の場合の値です。

- プラグ & プレイ
  このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。
- この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。
- この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。指定以外の解像度を使用すると、画質が低下することがあります。これを避けるには、お使いの製品について指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。
- 装置仕様の詳細については、Samsung の Web サイトを参照してください。

プリセット タイミング モード

以下の規格の信号モードに含まれる信号が PC から送信されてきた場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源インジケータが点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザーマニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

QB13C / QB24C / QB13C-T / QB24C-T / QM32C

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	−/+
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	−/−
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	−/−
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	−/−
VESA, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
VESA, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	−/−
VESA, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	−/−
VESA, 800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	−/−
VESA, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	−/−
VESA, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+
VESA, 1280 x 800	49.702	59.810	83.500	−/+
VESA, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA, 1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+
VESA, 1440 x 900	55.935	59.887	106.500	−/+
VESA, 1600 x 900	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA, 1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	−/+
VESA, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

QB43C / QH43C / QM43C / QB50C / QH50C / QM50C / QB55C / QH55C / QM55C / QB65C / QH65C / QM65C / QB75C / QH75C / QM75C / QB85C / QM85C / QH98C / QM98C

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)	ポート		
					DP IN	DVI IN	HDMI IN
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	−/+	O	O	O
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	−/−	O	O	O
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	−/−	O	O	O
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	−/−	O	O	O
VESA CVT, 3840 x 2160RB	110.500	49.977	442.000	+/−	O	−	−
VESA CVT, 3840 x 2160RB	133.313	59.997	533.250	+/−	O	−	−
VESA DMT, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−	O	O	O
VESA DMT, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	−/−	O	O	O
VESA DMT, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	−/−	O	O	O
VESA DMT, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+	O	O	O
VESA DMT, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+	O	O	O
VESA DMT, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	−/−	O	O	O
VESA DMT, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	−/−	O	O	O
VESA DMT, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1280 x 800	49.702	59.810	83.500	−/+	O	O	O
VESA DMT, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1440 x 900	55.935	59.887	106.500	−/+	O	O	O
VESA DMT, 1600 x 900RB	60.000	60.000	108.000	+/+	O	O	O
VESA DMT, 1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	−/+	O	O	O

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)	ポート		
					DP IN	DVI IN	HDMI IN
VESA DMT, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+	O	O	O
VESA DMT, 2560 x 1440RB	88.787	59.951	241.500	+/−	O	−	O
CTA-861, 720(1440) x 576i	15.625	50.000	27.000	−/−	−	O	O
CTA-861, 720(1440) x 480i	15.734	59.940	27.000	−/−	−	O	O
CTA-861, 720 x 576	31.250	50.000	27.000	−/−	O	O	O
CTA-861, 720 x 480	31.469	59.940	27.000	−/−	O	O	O
CTA-861, 1280 x 720	37.500	50.000	74.250	+/+	O	O	O
CTA-861, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+	O	O	O
CTA-861, 1920 x 1080i	28.125	50.000	74.250	+/+	−	O	O
CTA-861, 1920 x 1080i	33.750	60.000	74.250	+/+	−	O	O
CTA-861, 1920 x 1080	27.000	24.000	74.250	+/+	−	O	O
CTA-861, 1920 x 1080	28.125	25.000	74.250	+/+	−	O	O
CTA-861, 1920 x 1080	33.750	30.000	74.250	+/+	−	O	O
CTA-861, 1920 x 1080	56.250	50.000	148.500	+/+	O	O	O
CTA-861, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+	O	O	O
CTA-861, 3840 x 2160	54.000	24.000	297.000	+/+	−	−	O
CTA-861, 3840 x 2160	56.250	25.000	297.000	+/+	−	−	O
CTA-861, 3840 x 2160	67.500	30.000	297.000	+/+	O	−	O
CTA-861, 3840 x 2160	112.500	50.000	594.000	+/+	O	−	O
CTA-861, 3840 x 2160	135.000	60.000	594.000	+/+	O	−	O
CTA-861, 4096 x 2160	54.000	24.000	297.000	+/+	−	−	O
CTA-861, 4096 x 2160	67.500	30.000	297.000	+/+	−	−	O
CTA-861, 4096 x 2160	112.500	50.000	594.000	+/+	−	−	O
CTA-861, 4096 x 2160	135.000	60.000	594.000	+/+	−	−	O

SH37C

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	−/+
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	−/−
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	−/−
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	−/−
VESA DMT, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
VESA DMT, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	−/−
VESA DMT, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	−/−
VESA DMT, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA DMT, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA DMT, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA DMT, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	−/−
VESA DMT, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	−/−
VESA DMT, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA DMT, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA DMT, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+
VESA DMT, 1280 x 800	49.702	59.810	83.500	−/+
VESA DMT, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA DMT, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA DMT, 1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+
VESA DMT, 1440 x 900	55.935	59.887	106.500	−/+
VESA DMT, 1600 x 900RB	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA DMT, 1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	−/+
VESA DMT, 1920 x 540	27.917	49.940	67.000	−/+
VESA DMT, 1920 x 540	33.614	59.812	81.750	−/+

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA DMT, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+
CTA-861, 720(1440) x 576i	15.625	50.000	27.000	−/−
CTA-861, 720(1440) x 480i	15.734	59.940	27.000	−/−
CTA-861, 720 x 576	31.250	50.000	27.000	−/−
CTA-861, 720 x 480	31.469	59.940	27.000	−/−
CTA-861, 1280 x 720	37.500	50.000	74.250	+/+
CTA-861, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+
CTA-861, 1920 x 1080i	28.125	50.000	74.250	+/+
CTA-861, 1920 x 1080i	33.750	60.000	74.250	+/+
CTA-861, 1920 x 1080	27.000	24.000	74.250	+/+
CTA-861, 1920 x 1080	28.125	25.000	74.250	+/+
CTA-861, 1920 x 1080	33.750	30.000	74.250	+/+
CTA-861, 1920 x 1080	56.250	50.000	148.500	+/+
CTA-861, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

第 10 章
付録

サムスン製品に関するお問合せ

詳細については、Web サイトからユーザー マニュアルをダウンロードしてください。

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤル

0120-363-905

受付時間: 平日（土・日・祝日を除く） 9:00－17:00

予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

有料サービスに関する責任（お客様の負担）

サービスをご希望の場合、以下の条件に該当するときは、保証内容に関わらず、サービス技術者の出張費をいただくことがあります。

製品に異常がない場合

製品の清掃、調整、説明、再設置など

- サービス技術者が、製品の使用方法の説明、または、製品の分解を必要としないオプション類の調整の依頼を受けた場合。
- 外部環境（インターネット、アンテナ、有線信号など）による異常の場合
- 購入後に初めて製品を設置した後に、製品の再設置や追加のデバイスの接続を行う場合
- 別の場所や別の家に製品を再設置する場合
- 他社製品の使用方法に関する説明をお求めの場合。
- ネットワークまたは他社のプログラムの使用方法に関する説明をお求めの場合
- 製品に対するソフトウェアのインストールやセットアップをお求めの場合
- サービス技術者が製品内部のホコリや異物の除去または清掃を行う場合
- 製品を通信販売やインターネット ショッピングで購入後、追加で設置作業をお求めの場合

お客様の過失によって製品が損傷した場合

お客様の誤った使用または修理による製品の損傷

以下の場合、製品が損傷することがあります。

- 外部から衝撃を加えたり、落としたりした場合
- Samsung の認証を受けていないサプライ品または別売り製品を使用した場合
- Samsung Electronics Co., Ltd. の依託サービス会社や協力会社の技術者以外の者が修理を行った場合
- お客様自身で製品の改造や修理を行った場合
- 規定外の電圧や電源を使用した場合
- ユーザー マニュアルに記載されている ″注意″ を守らなかった場合

その他

- 製品が自然災害で故障した場合。（落雷、火災、地震、洪水被害など）
- 消耗部品をすべて使い切った場合。（バッテリー、トナー、蛍光灯、ヘッド、バイブレータ、ランプ、フィルタ、リボンなど）

製品に異常がないにも関わらずサービスをお求めの場合、別途サービス料金が発生することがあります。まずはユーザー マニュアルをお読みください。

残像の焼き付き防止

残像の焼き付きとは?

パネルが通常動作していれば、残像の焼き付きは発生しません。通常動作とは、ビデオパターンが連続して変化していることを意味します。パネルに静止したパターンを長時間表示すると、液晶を制御するピクセルの電極間にわずかな電圧の差が生じる場合があります。

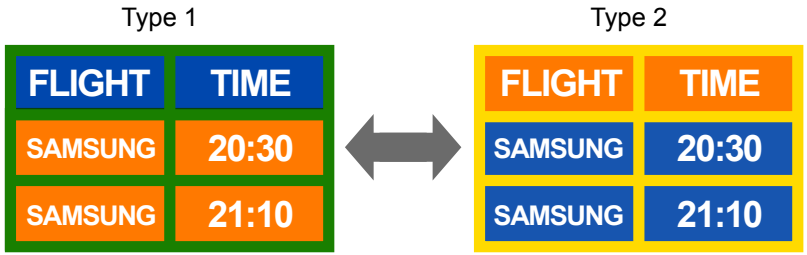
このような電極間の電圧の差は時間の経過と共に拡大し、液晶は薄くなります。このような状態が発生すると、パターンが変化した後も前の画像が画面上に残ることがあります。

本情報は残像の焼き付きを防止するためのアドバイスです。静止画面を長時間表示し続けると、残像の焼き付きが起こることがあります。この問題は保証の対象外です。

推奨される防止策

静止画面を長時間表示し続けると、残像の焼き付きや染みが発生することがあります。製品を長時間使用しない場合は、電源をオフにするか、節電モードまたはスクリーン セーバーを有効にしてください。

- 色を定期的に変更してください。



- 文字色と背景色に対照的な明るさの色を使用することは、避けてください。

対照的な明るさの色の使用は避けてください(白と黒、グレーと黒)。

ライセンス

Dolby, Dolby Atmos, Dolby Audio and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.Manufactured under license from Dolby Laboratories.Confidential unpublished works.
Copyright © 2012-2021 Dolby Laboratories.All rights reserved.

The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

Open Source License Notice

Open Source used in this product can be found on the following webpage (https://opensource.samsung.com).

Covered by Patents at patentlist.hevcadvance.com

本製品は、限定ライセンスで販売されており、以下の 3 つの条件のうちのいずれかを満たす HEVC コンテンツに対してのみ使用できます。(1) 個人使用を目的とする HEVC コンテンツ。(2) 販売目的ではない HEVC コンテンツ。(3) 製品の所有者が作成した HEVC コンテンツ。

第三者が作成した HEVC エンコードのコンテンツを注文または第三者から購入することによって取得した場合は、当該コンテンツの著作権を所有する販売者から使用権限を別途与えられていない限り、当該コンテンツに対して本製品を使用することはできません。

HEVC エンコードのコンテンツに対する本製品の使用は、上記の使用制限の範囲内に限定されるものとします。